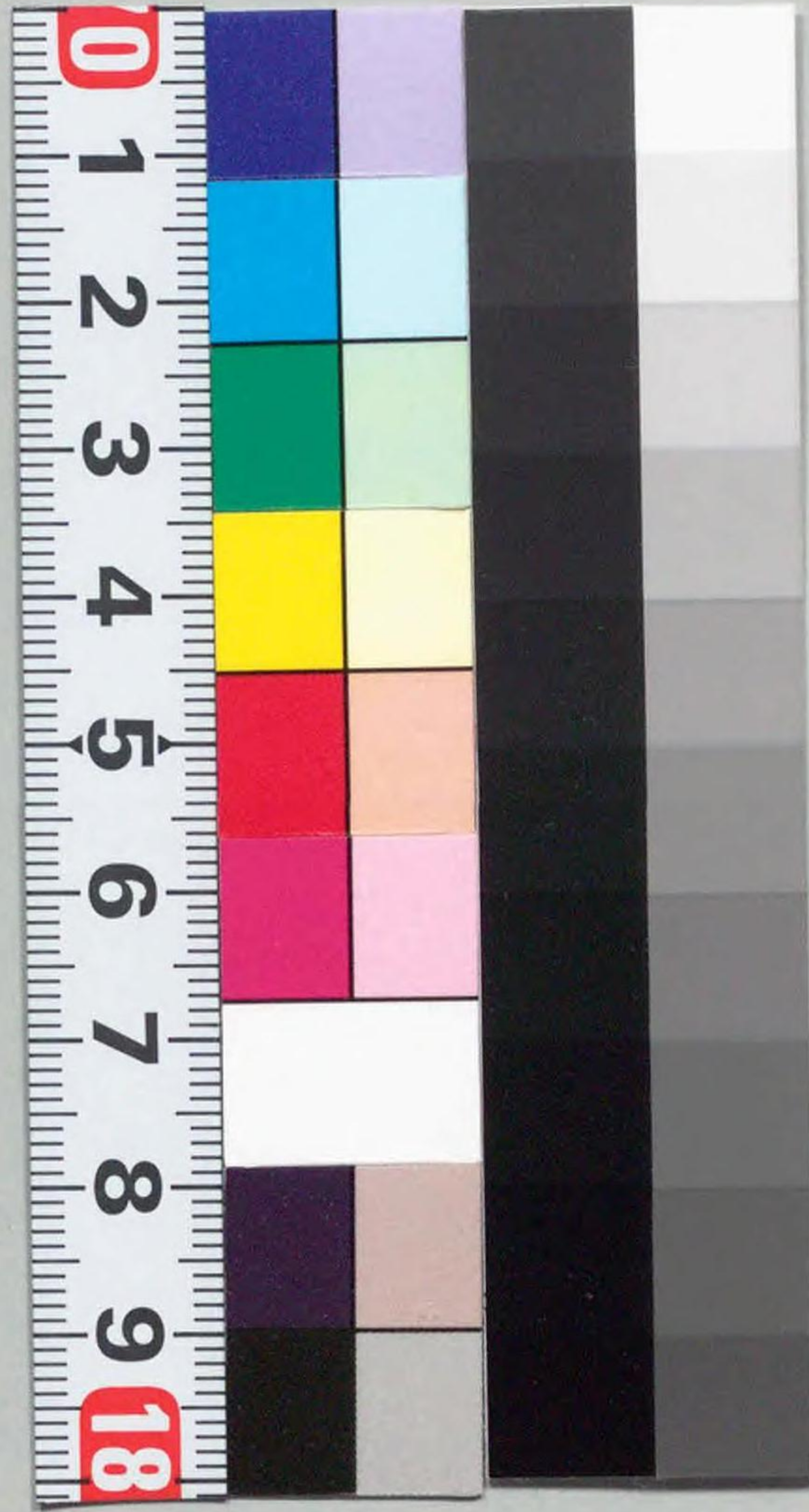


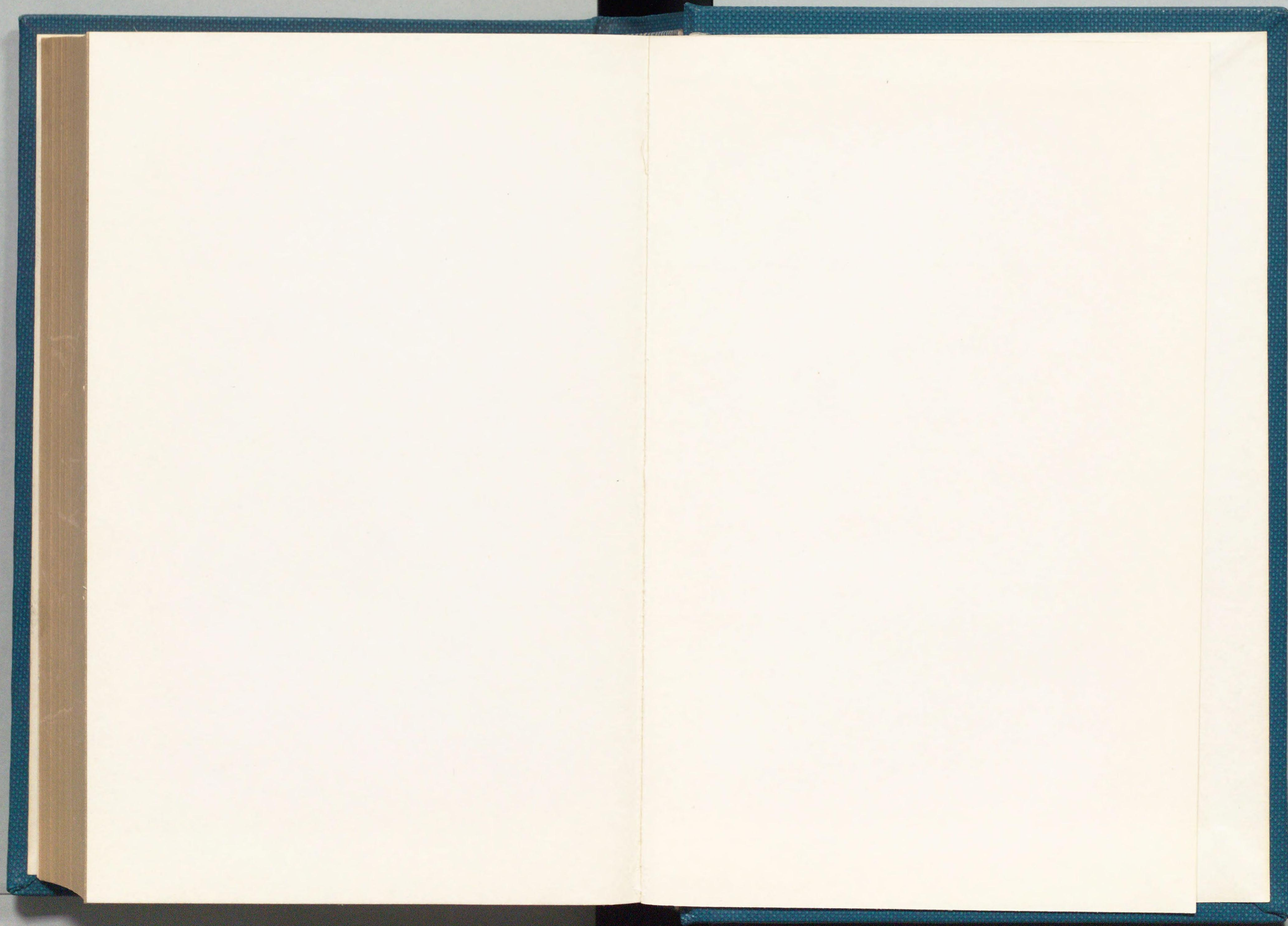
CZ-431-H9



*00792595 *



CZ
431
H9



三九七五

昭和八年三月

蠶絲業關係法規

農林省蠶絲局

蠶絲業關係法規 目次

第一編 蠶絲業法規

一 蠶絲業法關係法規	三
蠶絲業法(法律)	五
蠶絲業法施行期日ノ件(勅令)	一〇
蠶種検査手數料ニ關スル件(勅令)	一〇
蠶種検査手數料ニ關スル件(通牒)	一〇
蠶種検査手數料ニ關スル件(勅令)	一一
蠶絲業法施行規則(農商務省令)	一一
蠶業取締所規程(農商務省令)	四
蠶絲業法施行心得(告示)	四
蠶絲業法施行事務取扱規程(訓令)	四
蠶絲業法施行事務取扱ニ關スル件(通牒)	四
蠶絲業法施行事務ニ關スル件(通牒)	五
蠶絲業法施行事務ニ關スル件(通牒)	五
蠶絲業法施行規則第百二條ノ蠶業試驗場成績報告ニ關スル件(通牒)	五



792595

二

蠶絲業法施行規則第七十四條ノ專任職員ノ資格並同則第百三條ノ成績報告
ニ關スル件(通牒) 六〇

文部省直轄學校ヨリ配付スヘキ蠶種ノ件(通牒) 六一

蠶絲業法施行ニ關スル吏員ノ件(内訓) 六二

蠶絲業法施行ニ關スル吏員設置ノ件(通牒) 六三

蠶病豫防事務ノ爲地方ニ配置シタル技師及技手ノ件(通牒) 六三

蠶絲業法施行規則第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ蠶種
ニ關スル検査ニ從事スル者及蠶種検査ノ管理者ノ資格ニ關スル件(告示) 六三

移輸入蠶種ノ品種名記載例(通牒) 六四

蠶品種名ニ關スル件(通牒) 六七

蠶品種名整理統一ニ關スル件(通牒) 六七

蠶ノ新品種性状報告ニ關スル件(通牒) 六八

地方蠶業試験場配付新品種ノ打合セニ關スル件(通牒) 六九

蠶絲業法施行ニ關スル件(通牒) 七〇

蠶蛆ノ豫防驅除ニ關スル件(通牒) 七〇

昇汞水及格魯兒石灰水ヲ蠶室及蠶具ノ消毒ニ使用スル場合ニ於ケル注意ノ
件(通牒) 七〇

昇汞及鹽酸販賣ニ關スル件 七一

道府縣蠶絲業法施行手續標準 七二

二 蠶絲業組合法關係法規 九一

蠶絲業組合法(法律) 九三

蠶絲業組合法施行期日ノ件(勅令) 一〇三

蠶絲業組合法施行令(勅令) 一〇三

蠶絲業組合法施行規則(農林省令) 一〇五

養蠶實行組合及農事實行組合登記取扱手續(司法省令) 一一三

養蠶實行組合解散ノ場合ノ公示ニ關スル件(通牒) 一一一

養蠶實行組合解散届出報告ニ關スル件(通牒) 一一一

蠶絲業組合ノ役員ノ選任ニ關スル件(通牒) 一一三

三 製絲業法關係法規 一二三

製絲業法(法律) 一二五

製絲業法施行規則(農林省令) 一二六

製絲業法施行ニ關スル件(通牒) 一三〇

製絲業法施行ニ關スル件(通牒) 一三五

製絲業法施行ニ關スル件(通牒) 一三六

製絲業免許方針ニ關スル件 一三七

四 絲價安定融資補償法關係法規 一三九

絲價安定融資補償法(法律)	一四二
絲價安定融資補償法施行期日(勅令)	一四二
絲價安定融資補償法施行規則(農林省令)	一四三
絲價安定融資擔保生絲買收法(法律)	一四三
絲價安定融資擔保生絲買收法施行規則(農林省令)	一四四
絲價安定融資擔保生絲買收法ニ依リ買入レタル生絲ノ讓與ニ關スル件(勅令)	一四五
絲價安定融資損失善後處理法(法律)	一四六
絲價安定融資損失善後處理法施行規則(農林省令)	一四七
絲價委員會官制(勅令)	一四七
絲價安定融資補償審查會官制(勅令)	一四八
買收生絲審查會規則	一四九
生絲需要增進調查會官制(勅令)	一五〇
輸出生絲檢查法並ニ生絲檢查所關係法規	一五一
輸出生絲檢查法(法律)	一五三
輸出生絲檢查法施行期日ノ件(勅令)	一五四
輸出生絲檢查法施行規則(農林省令)	一五四
生絲檢查手數料令(勅令)	一七二

輸出生絲檢查法第二條第二項ノ地指定ノ件(告示)	一七一
生絲檢查所ノ名稱及位置(告示)	一七一
生絲檢查所官制(勅令)	一七二
生絲檢查所檢查及鑑定規則(農林省令)	一七三
生絲檢查所檢查及鑑定手數料規則(農林省令)	一七五
生絲檢查所處務規程(訓令)	一七六
檢查受付時間(橫濱、神戸兩生絲檢查所)	一七七
檢查鑑定依頼書書式(橫濱、神戸兩生絲檢查所)	一七七
生絲整理法講習規定(橫濱生絲檢查所)	一七六
生絲整理法講習規定(神戸生絲檢查所)	一八〇
地方生絲檢查所規程(農商務省令)	一八二
蠶業試驗場及繭檢定所關係法規	一八五
蠶業試驗場官制(勅令)	一八七
蠶業試驗場ノ位置並ニ出張所ノ位置及名稱(告示)	一八八
蠶業試驗場附屬飼育所及附屬桑園ノ位置及名稱(告示)	一八八
蠶業試驗場處務規程(訓令)	一八八
蠶業試驗場處務細則(達)	一八九
蠶業試驗場出張所處務規程(達)	一九三

六

蠶業試驗場桑ノ接穗及苗木配付規程(告示) 一九三

蠶業試驗場蠶種配付規程(告示) 一九四

蠶業試驗場配付蠶種品種名及其ノ組合セ(告示) 一九五

蠶業試驗場煮繭分業沈繰法講習規程(內規) 一九六

蠶業試驗場分析手數料ノ件(勅令) 一九九

蠶業試驗場ニ於テ分析ノ依頼ニ應スル件(告示) 二〇〇

蠶業試驗場ニ分析依頼者心得(告示) 二〇〇

蠶業試驗場依頼分析事務取扱心得(達) 二〇一

道府縣蠶業試驗場規程(農商務省令) 二〇五

道府縣蠶業試驗場規程公布ノ件(通牒) 二〇七

道府縣繭檢定所規程(農林省令) 二〇七

繭檢定規程標準(通牒) 二〇八

繭檢定講習規程 二〇八

七 海外生絲市場調查事務所關係法規 二一五

臨時海外生絲市場調查事務所設置ニ關スル件(勅令) 二一七

海外生絲市場調查事務所長委任事務規程 二一九

海外生絲市場調查事務所ノ名稱及位置(告示) 二一九

海外生絲市場調查事務所ノ名稱及位置(告示) 二二〇

第二編 蠶絲業獎勵規則

一 蠶絲業改良獎勵關係規則 二二三

蠶病豫防費國庫補助規則(農商務省令) 二二五

蠶業取締所設備費ニ對スル國庫補助ノ件(通牒) 二二五

蠶絲業改良獎勵費交付規則(農商務省令) 二二六

繭質改良獎勵費國庫補助ノ件(通牒) 二三一

蠶絲業改良獎勵費國庫補助ニ關スル件(通牒) 二三一

蠶絲業改良獎勵費國庫補助ニ關スル件(通牒) 二三一

蠶絲業改良獎勵費國庫補助ニ關スル件(通牒) 二三一

蠶絲業改良獎勵費交付規則ニ關スル件(通牒) 二三三

稚蠶共同桑園設置獎勵規則(農林省令) 二三四

夏秋蠶稚蠶共同桑園設置獎勵ニ關スル件(通牒) 二三八

稚蠶共同飼育所設置獎勵規則(農林省令) 二三九

稚蠶共同飼育所設置獎勵規則ニ關スル件(通牒) 二四二

共同繭倉庫及共同乾繭裝置助成關係規則 二四三

共同繭倉庫及共同乾繭裝置助成規則(農林省令) 二四五

七

共同繭倉庫及共同乾繭裝置ノ助成ニ關スル件(通牒)	二五三
共同繭倉庫及共同乾繭裝置助成規則第五條ニ依ル申請書ノ様式ニ關スル件(通牒)	二五五
共同繭倉庫及共同乾繭所事業報告ニ關スル件(通牒)	二七七
共同繭倉庫及共同乾繭裝置助成規則中改正ニ關スル件(通牒)	二八九
共同繭倉庫及共同乾繭裝置事業計畫ニ關スル件(通牒)	二九〇
乾繭販賣組合ト製絲販賣組合ニ關スル件(通牒)	二九一
共同繭倉庫ニ製絲事業ヲ認ムルノ件(通牒)	二九一
繭檢定事業助成關係規則	二九三
繭檢定事業助成要項(通牒)	二九四
繭檢定所設備標準(通牒)	三〇二
製絲業共同施設獎勵關係規則	三〇七
製絲業共同施設獎勵規則(農林省令)	三〇九
製絲業共同施設獎勵ニ關スル件(通牒)	三一〇
製絲業共同施設獎勵規則ニ依ル様式ニ關スル件(通牒)	三二二

第三編 主要關係團體定款並ニ諸規程

一 蠶絲業組合法ニ依ル團體	三三一
全國養蠶業組合聯合會會則	三三三
全國蠶種業組合聯合會會則	三三九
全國產業組合製絲組合聯合會會則	三三五
全國製絲業組合聯合會會則	三四〇
橫濱生絲問屋業組合定款	三四六
神戸生絲問屋業組合定款	三五三
橫濱生絲輸出業組合定款	三五九
神戸生絲輸出業組合定款	三六四
日本中央蠶絲會會則	三七〇
日本中央蠶絲會總會議事規程	三七五
日本中央蠶絲會紛議調停並ニ仲裁規程	三七六
日本中央蠶絲會基本財産造成管理規程	三七七
日本中央蠶絲會俸給旅費支給規程	三七八
二 民法ニ依ル團體	三八三
社團又ハ財團法人設立ノ件(農商務省令)	三八五
社團法人帝國蠶絲組合定款	三八五
帝國蠶絲組合出資金徵收ニ關スル要綱	三八九

帝國蠶絲組合出資金取扱細則 三九〇

社團法人大日本蠶絲會定款 三九二

社團法人日本蠶絲學會定款 三九四

三 商法ニ依ル團體 三九九

 帝國蠶絲倉庫株式會社定款 四〇一

 帝國蠶絲倉庫株式會社營業規則 四〇三

 帝國蠶絲株式會社定款 四〇八

四 產業組合法ニ依ル團體 四一三

 有限責任大日本生絲販賣組合聯合會定款 四一五

 生絲取引規約 四三三

 輸出生絲賣買取引規約 四三五

 生絲取引仲裁規則 四三八

 生絲賣込問屋取扱規約 四三一

第四編 關係諸法規

一 官 規 四三七

 農林省官制(勅令) 四三九

 農林部内臨時職員設置制(勅令) 四四〇

 臨時農林省ニ米穀部ヲ設置スルノ件(勅令) 四四八

 臨時農林省ニ經濟更生部ヲ設置スルノ件(勅令) 四四九

 農林省分課規程 四四九

 次官專決事項及局長官房各課長委任事項 四五五

 場所長委任事務規程 四六八

二 產業組合法關係法規 四七一

 產業組合法(法律) 四七三

 產業組合法施行規則(農商務省令) 四九〇

 農業倉庫業法(法律) 四九七

 農業倉庫業法施行規則(農商務省令) 五〇一

 產業組合中央金庫法(法律) 五〇四

 產業組合中央金庫法施行規則(農商務省令) 五〇八

 產業組合及產業組合聯合會取扱心得 五〇九

三 農會法關係法規 五三七

 農會法(法律) 五三九

 農會法施行期日ノ件(勅令) 五四四

 農會法施行規則(農商務省令) 五四四

四 重要物産同業組合法關係法規 五五一

 重要物産同業組合法(法律) 五五三

 重要物産同業組合法施行規則(農商務省令) 五五六

 重要物産同業組合法第十條ノ四第三項ノ規定ニ依ル重要輸出品ノ種類(告示) 五六三

 重要物産同業組合及同聯合會ノ取扱ニ關スル件(通牒) 五六三

 同業組合準則(達) 五六三

五 工場法關係法規 五七五

 工場法(法律) 五七七

 工場法施行令(勅令) 五七九

 工場法施行規則(農商務省令) 五八二

 工場附屬寄宿舎規則(內務省令) 五九二

 工場危害豫防及衛生規則(內務省令) 六〇六

 工業勞働者最低年齡法(法律) 六〇九

 工業勞働者最低年齡法施行規則(內務省令) 六一四

 勞働者募集取締令(內務省令) 六一五

六 工業組合法關係法規 六二五

 工業組合法(法律) 六二五

 重要輸出品工業組合法施行期日ノ件(勅令) 六三四

 重要輸出品工業組合法中改正法律施行期日ノ件(勅令) 六三四

 工業組合法施行規則(商工省令) 六三四

 工業組合法第一條第二項ノ規定ニ依ル重要工產品指定告示(告示) 六三九

 工業組合法第九條第二項ノ規定ニ依ル重要輸出品指定告示(告示) 六四〇

七 輸出組合法關係法規 六四一

 輸出組合法(法律) 六四三

 輸出組合法施行期日ノ件(勅令) 六五〇

 輸出組合法中改正法律施行期日ノ件(勅令) 六五〇

 輸出組合法施行規則(商工省令) 六五〇

 輸出組合法ノ規定ニ依ル重要輸出品指定告示(告示) 六五四

八 商業組合法關係法規 六五七

 商業組合法(法律) 六五九

 商業組合法施行期日ノ件(勅令) 六六六

 商業組合法施行規則(商工省令) 六六六

九 其ノ他關係法規 六七二

 間接國稅犯則者處分法(法律) 六七三

 間接國稅犯則者處分法施行規則(勅令) 六七五

法人ニ於テ租税ニ關シ事犯アリタル場合ニ關スル法律(法律)	一四
道府縣手数料令(勅令)	六七六
重要物産ノ検査手数料ニ關スル件(農商務省令)	六七七
重要物産ノ検査ニ關スル取扱方ノ件(通牒)	六七七
預金部普通地方資金融通規則(大藏省令)	六七九
預金部普通地方資金融通規則實施取扱規程(通牒)	六八六

附 錄

製絲業法中改正法律(法律)	六九一
---------------	-----

第一編 蠶絲業法規

一 蠶絲業法關係法規

第一編 蠶絲業法規

蠶絲業法

明治四十四年三月法律第四十七號
改正大正六年七月法律第十六號
改正昭和四年三月法律第十八號
改正昭和六年三月法律第二十五號

- 第一條 本法ニ於テ蠶絲業者ト稱スルハ養蠶、蠶種製造、生絲製造、眞綿製造、殺蛹乾繭又ハ蠶種、繭、生絲、屑物類ノ賣買、仲立若ハ保管ヲ業トスル者ヲ謂フ
- 第二條 本法ニ於テ蠶種製造者ト稱スルハ他人ニ讓渡スノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造スル者ヲ謂フ
- 第三條 本法ニ於テ蠶病ト稱スルハ微粒子病、軟化病、硬化病、膿病及蠶蛆病ヲ謂フ
- 第四條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ病蠶及斃蠶ノ病原微生物並蠶蛆及其ノ蛹、蠶ヲ滅殺シ其ノ他蠶病豫防ノ爲必要ナル施設ヲ爲スヘシ
主務大臣ハ學術研究ノ爲蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニ對シ前項ノ規定ヲ適用セサルコトヲ得
- 第五條 蠶種製造者タラムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受クヘシ
- 第六條 蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶室及蠶具ノ消毒ヲ行フヘシ

蠶絲業法

第七條 蠶種製造者ハ原蠶種ヨリ産出シタル繭ヲ用ウルニ非サレハ蠶種ヲ製造スルコトヲ得ス（大正六年法律第十六號本條改正）

第八條 削除（大正六年法律第十六號本條削除）

第九條 蠶種製造者ハ現ニ普通蠶種ノ蠶兒ノ掃立又ハ其ノ飼育ヲ爲ス建物内ニ於テ蠶種製造用蠶兒ノ掃立ヨリ蠶種ノ製造ヲ終ル迄ノ作業ヲ爲スコトヲ得ス（昭和四年法律第十八號第二項削除）

第十條 蠶種製造者原蠶種ヲ製造セントスルトキハ一蛾別ニ産卵セシムベシ（昭和四年法律第十八號本條改正）

第十一條 蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶種ノ製造ニ用フル繭ノ検査ヲ受クベシ
蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ母蛾ニ付蠶種ノ検査ヲ受クベシ
前項ノ検査ハ普通蠶種ニ在リテハ掃立口毎ノ歩合検査トス

蠶種製造者ハ歩合検査ニ合格セザル普通蠶種ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ再検査ヲ受クルコトヲ得（昭和四年法律第十八號本條改正）

第十一條ノ二 蠶種業組合、同業組合、同業組合聯合會又ハ蠶種製造者ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ前條ノ検査ニ代ヘ組

合員、所屬組合ノ組合員又ハ自己ノ製造スル蠶種ニ關シ
検査ヲ行フコトヲ得(昭和六年法律第二十五號本項改正)
前項ノ検査ニ關スル方法ハ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ
(昭和四年法律第十八號本條追加)

第十二條 主務大臣ハ第十一條ノ規定ニ拘ラス學校、講習
所、試験場等ニ於テ製造シタル蠶種及第十七條ノ検査ニ
合格シタル蠶種ヲ原蠶種又ハ普通蠶種ト指定スルコトヲ
得(大正六年法律第十六號及昭和四年法律第十八號本條
改正)

第十三條 地方長官ハ第十一條及第十七條ノ検査ニ合格シ
タル蠶種ニハ證印ヲ押捺シ其ノ検査ニ合格セサル蠶種ハ
之ヲ燒棄スヘシ但シ第十一條ノ歩合検査ニ合格セサル蠶
種ニ付テハ地方長官ノ定ムル期間内ニ同條第四項ノ規定
ニ依ル検査ノ請求ナキトキハ其ノ期間ヲ經過シタル後之
ヲ燒棄スヘシ(大正六年法律第十六號及昭和四年法律第
十八號本項改正)

第十一條ノ二ノ規定ニ依リ蠶種ニ關スル検査ヲ行フ者ハ
其ノ検査ニ合格シタル蠶種ニハ證印ヲ押捺シ其ノ検査ニ
合格セザル蠶種ハ之ヲ燒棄スベシ(昭和四年法律第十八
號本項追加)

第十四條 検査合格ノ證印ナキ蠶種及其ノ蠶兒ハ之ヲ護渡

其ノ護渡讓受又ハ原蠶種ノ種類ヲ制限スルコトヲ得
主務大臣ハ地方特別ノ狀況ニ依リ地方長官ヲシテ前項ノ
制限ヲナサシムルコトヲ得

第十九條 主務大臣又ハ地方長官ハ桑苗ノ仕立、繭ノ乾燥、
蠶絲類ノ検査若ハ賣買又ハ桑苗、蠶種若ハ繭ノ賣買若ハ
取引市場ニ關シ取締上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得但
シ地方長官ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス(大正
六年法律第十六號及昭和四年法律第十八號本條改正)

第二十條 蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ關シ取締上必要ナル事項
ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム(大正六年法律第十六號本條改正)

第二十一條 削除(大正六年法律第十六號本條削除)
第二十二條 府縣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第十一條及第十
七條ノ検査其ノ他蠶病豫防ノ爲必要ナル吏員ヲ置クヘシ
(大正六年法律第十六號本條改正)

第二十三條 削除(大正六年法律第十六號本條削除)
第二十四條 第五條、第七條、第九條乃至第十一條、第十
七條及第三十八條乃至第四十一條ノ規定ハ府縣ニ之ヲ適
用セス(大正六年法律第十六號本條改正)

第二十五條 地方長官必要ト認ムルトキハ野蠶ノ飼育、採
種又ハ野蠶生繭ノ取扱ヲ業トスル者ニ第四條第一項ノ規
定ヲ準用スルコトヲ得

シ又ハ飼育スルコトヲ得ス但シ第十二條ノ規定ニ依リ指
定セラレタル蠶種及其ノ蠶兒ハ此ノ限ニ在ラス(大正六
年法律第十六號本條改正)

第十五條 地方長官ハ錯誤ニ依リ又ハ不法ニ押捺セラレタ
ル検査合格ノ證印ヲ發見シタルトキハ遲滯ナク之ヲ抹消
スヘシ

第十六條 蠶種製造者ニ非サル者ハ蠶種ヲ製造スルコトヲ
得ス

學術研究ノ爲ニスル場合ニ於テハ主務大臣ノ許可ヲ受ケ
第十四條及前項ノ規定ニ拘ラス蠶種ノ製造又ハ蠶兒ノ飼
育ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依
リ本法中蠶種製造者ニ關スル規定ノ全部又ハ一部ヲ準用
スルコトヲ得(大正六年法律第十六號本條改正)

第十七條 本法ヲ施行セサル地又ハ外國ニ於テ製造シタル
蠶種ヲ移入又ハ輸入シタル者ハ其ノ蠶種ニ對シ母蛾又ハ
卵ニ付検査ヲ受クヘシ但シ前條第二項ノ規定ニ依リ許可
ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

移入又ハ輸入前官署公署ノ證明ヲ得タル蠶種ニ對シテハ
前項ノ検査ニ代ヘ其ノ證明ニ付検査ヲ爲スコトヲ得(大
正六年法律第十六號本條改正)

第十八條 主務大臣必要ト認ムルトキハ原蠶種ノ製造者ハ

第二十六條 第十一條及第十七條ノ検査其ノ他蠶病豫防ニ
關シ必要ナル費用ハ府縣ノ負擔トス但シ國庫ハ其ノ半額
以內ヲ補助スルコトヲ得(大正六年法律第十六號本條改
正)

第二十七條 府縣ハ第十一條第四項ノ検査ヲ受ケタル蠶種
ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ検査手数料ヲ徵收スル
コトヲ得(大正六年法律第十六號及昭和四年法律第十八
號本條改正)

第二十八條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ設
置ニ付テハ重要物産同業組合法第三條及第四條ノ規定ヲ
準用ス

第二十九條乃至第三十四條 削除(昭和六年法律第二十五
號各條削除)

第三十五條 當該官吏吏員ハ蠶病若ハ桑ノ病蟲害ノ豫防、
繭ノ乾燥又ハ蠶絲類ノ検査若ハ賣買ニ關シ蠶種、繭、桑
苗又ハ蠶絲類ノ取扱ヲ爲ス者ノ店舗、倉庫、製造場、飼
育場、検査場、乾燥場、圃場等ニ臨檢シ物品及帳簿其ノ
他ノ書類ヲ調査シ又ハ必要ナル分量ニ限り無償ニテ物品
ヲ收去スルコトヲ得(大正六年法律第十六號及昭和四年
法律第十八號本項改正)

主務大臣又ハ地方長官本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令

ニ違反スル所爲アリト認ムルトキハ當該官吏吏員ヲシテ前項ニ掲ケタル場所ニ臨檢シ被疑者若ハ參考人ヲ尋問シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件、帳簿、書類ヲ搜索シ若ハ之カ差押ヲ爲サシムルコトヲ得（昭和四年法律第十八號本項改正）

臨檢、尋問、搜索又ハ差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス

第三十五條ノ二 行政官廳ハ蠶種業組合、同業組合、同業組合聯合會又ハ蠶種製造者ガ第十一條ノ二ノ規定ニ依リ行フ検査ニ關シ検査ノ補正ヲ爲サシメ合格ノ決定ヲ取消シ證印ノ抹消ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得（昭和四年法律第十八號本條追加昭和六年法律第二十五號本條改正）

第三十六條 當該官吏吏員又ハ蠶種業組合、同業組合若ハ同業組合聯合會ノ検査員ハ自己、親族又ハ同居者ニ對シ第十一條、第十一條ノ二及第十七條ノ検査ヲ爲スコトヲ得ス（昭和四年法律第十八號及同六年法律第二十五號本條改正）

第三十七條 蠶絲業者ノ所爲ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ地方長官ハ其ノ業務ヲ停止シ若ハ制限シ又ハ其ノ

二 第四條第一項又ハ第六條ノ規定ニ違反シタル者
三 第七條ノ規定ニ違反シタル者（大正六年法律第十六號本號改正）

第四十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ貳百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
一 第九條ノ規定ニ違反シタル者（大正六年法律第十六號本號改正）
二 第十六條第一項ノ規定ニ違反シタル者

第四十一條 第三十七條ノ二、第三十八條、第三十九條第一號第三號又ハ前條第二號ノ犯罪ニ係ル蠶種、蠶兒又ハ繭ハ之ヲ沒收シ既ニ讓渡シタル場合ニ於テハ其ノ價額ヲ追徵ス（大正六年法律第十六號及昭和四年法律第十八號本項改正）

前項ノ蠶種又ハ蠶兒犯人以外ノ者ニ屬スルトキハ行政官廳ノ處分ヲ以テ之ヲ沒收スルコトヲ得
第四十二條 第三十五條ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ケタル者又ハ臨檢ノ際當該官吏吏員ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲ササル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十三條 蠶絲業者未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者

免許ヲ取消スコトヲ得

前項ノ處分ニ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得其ノ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十七條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス（昭和四年法律第十八號本條追加）
一 第十一條ノ二第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル方

法ニ違反シテ検査ヲ行ヒタル者
二 第十三條第二項ノ規定ニ違反シテ蠶種ヲ燒棄セザル者

第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
一 詐欺ノ所爲ヲ以テ第十一條、第十一條ノ二又ハ第七條ノ検査ヲ受ケタル者（昭和四年法律第十八號本條改正）

二 第十四條ノ規定ニ違反シタル者（大正六年法律第十六號本號改正）
第三十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ參百圓以下ノ罰金ニ處ス
一 免許ヲ受ケスシテ他人ニ讓渡スノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造シタル者

ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第四十四條 蠶絲業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス但シ相當ノ注意ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス
第四十六條 本中府縣ニ關スル規定ハ北海道ニ於テハ北海道地方費ニ之ヲ準用ス
附 則（明治四十四年法律第四十七號）

第四十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
蠶病豫防法ハ之ヲ廢止ス
第四十八條 本法ハ命令ヲ以テ指定スル地域ニ之ヲ施行セス（昭和四年法律第十八號本項改正）
本法ヲ施行セサル地域カ本法ヲ施行スル地域ト爲リタル際ニ於ケル必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年法律第十八號本項追加）

第四十九條 蠶病豫防法ニ依ル検査合格ノ證印ハ之ヲ本法ニ依ル検査合格ノ證印ト看做ス
第五十條 蠶病豫防法ニ依リ検査ニ合格シタル原種ハ之ヲ

蠶絲業法關係法規

特別蠶種ト看做ス

第五十一條 本法施行前製造シタル自家用蠶種ノ蠶兒ハ本法施行後ト雖之ヲ飼育スルコトヲ得

第五十二條 本法施行ノ際蠶種ノ冷蔵ヲ業トスル者ハ本法施行後一年ヲ限り免許ヲ受ケスシテ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

附 則 (大正六年法律第十六號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

從前ノ規定ニ依ル特別蠶種ハ之ヲ原蠶種ト看做ス

附 則 (昭和四年法律第十八號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則 (昭和六年法律第二十五號)

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

蠶絲業法施行期日ノ件

(昭和四年十二月二十四日勅令第三百六十四號)

昭和四年法律第十八號ハ昭和五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和六年七月八日勅令第七十三號)

昭和六年法律第二十五號中第十一條ノ二第一項、第三十五條ノ二及第三十六條ノ改正規定ハ蠶絲業組合法施行ノ日ヨ

蠶絲業法改正ノ結果原蠶種ノ検査及普通蠶種ノ歩合検査ニ關スル手数料ハ之ヲ廢止シタルモ普通蠶種ノ再検査ニ關スル手数料ハ地方財政ノ現狀ニ鑑ミ已ムヲ得サルモノト認め之ヲ徵收ノ途ヲ設ケ置カレ候處今回蠶病豫防費國庫補助規則ヲ改正セラレ國庫補助金額ヲ增加交付可相成管ニ有之候ニ就テハ右手数料ハ已ムヲ得サル場合ヲ除クノ外ハ斯業獎勵ノ爲可成之ヲ徵收セサル様致度依命此段及通牒候也

蠶種検査手数料ニ關スル件

昭和四年十二月二十四日勅令第三百六十五號

蠶絲業法第二十七條ノ規定ニ依ル蠶種検査手数料ハ平附ニ在リテハ蠶種一枚ニ付、散卵ニ在リテハ産卵用紙布一枚ニ付四錢以内トス

附 則

本令ハ昭和四年法律第十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

蠶絲業法施行規則

大正六年十二月十四日農商務省令第三十三號
改正 大正八年四月農商務省令第九號
改正 大正十一年四月農商務省令第七號
改正 大正十五年五月農務省令第十一號
全部 昭和四年十二月農務省令第二十九號
改正 昭和六年七月農務省令第十八號

蠶絲業法施行期日ノ件 蠶種検査手数料ニ關スル件

リ之ヲ施行ス

蠶種検査手数料ニ關スル件

大正六年十二月十一日勅令第二百二十七號

第一條 蠶絲業法第二十七條ノ規定ニ依ル蠶種検査手数料左ノ如シ

- 一 同條第一項ノ規定ニ依ルモノ 一枚又ハ一容器ニ付 十五錢
- 二 同條第二項ノ規定ニ依ルモノ 框製又ハ袋製 一枚又ハ一容器ニ付 五錢以内 平附又ハ散卵 一枚又ハ一容器ニ付 四錢以内

第二條 前條ノ手数料ハ原蠶種ニ在リテハ母蛾ノ検査ヲ、普通蠶種ニ在リテハ卵又ハ母蛾ノ検査ヲ行ヒタル府縣又ハ北海道地方費ニ於テ之ヲ徵收スヘシ

附 則

本令ハ大正六年法律第十六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正七年一月十五日ヨリ施行)

明治四十四年勅令第二百十四號ハ之ヲ廢止ス

蠶種検査手数料ニ關スル件

大正七年六月十七日附農第 八〇二六號農務局長通牒

第一條 蠶絲業法第五條ノ規定ニ依リ蠶種製造ノ免許ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

- 一 氏名又ハ名稱及住所
- 二 蠶種製造ノ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ氏名及住所
- 三 蠶種製造場所及蠶兒飼育場所
- 四 蠶種製造又ハ蠶兒飼育ノ用ニ供スル建物ノ棟數並ニ蠶室ノ數及其ノ平面積
- 五 掃立蟻量及蠶種製造額ノ概定數

地方長官蠶種製造ノ免許ヲ爲シタルトキハ蠶種製造ノ免許證ヲ交付スベシ

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ蠶種製造ノ免許ヲ受ケルコトヲ得ズ

- 一 一年間ノ蠶種製造額概定數十萬蛾ニ滿タザル者
- 二 掃立蟻量及蠶種製造額ノ概定數ニ相當スル蠶室ノ設備ナキ者
- 三 蠶絲業ニ關スル知識經驗ナキ者但シ蠶種製造ノ管理者ヲ置ク者ヲ除ク
- 四 蠶絲業法第三十八條又ハ第三十九條ノ規定ニ依リ處罰ヲ受ケタル後一年ヲ經過セザル者
- 五 蠶種製造ノ免許ヲ取消サレタル後一年ヲ經過セザル者

蠶絲業法施行規則

者

第三條 蠶種製造者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ地方長官ハ蠶種製造ノ免許ヲ取消スコトヲ得

一 正當ノ事由ナクシテ一年間蠶種ノ製造ヲ爲サズ若ハ

一年間ノ蠶種製造額十萬蛾ニ滿タザルトキ又ハ前條第

二號ニ該當スルニ至リタルトキ

二 蠶絲業ニ關スル知識經驗ナキ者蠶種製造ノ管理者ヲ

置カザルニ至リタルトキ

三 蠶絲業法第三十八條又ハ第三十九條ノ規定ニ依リ處

罰ヲ受ケタルトキ

第四條 蠶種製造ノ管理者ハ蠶絲業ニ關スル知識經驗アル

者ニシテ第二條第四號及第五號ニ該當セザルモノタルコ

トヲ要ス

蠶種製造ノ管理者ハ同時ニ二人以上ノ蠶種製造者ノ蠶種

製造ノ管理者タルコトヲ得ズ

蠶種製造者ハ蠶種製造ノ管理者タルコトヲ得ズ

地方長官蠶種製造者又ハ蠶種製造ノ管理者ガ業務ヲ管理

シ難シト認ムルトキハ管理者ノ設置、増員又ハ變更ヲ命

ズルコトヲ得

第五條 蠶種製造者ハ蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方

長官ノ定ムル所ニ依リ毎年左ノ事項ヲ地方長官ニ届出ヅ

ズベシ但シ死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戸主又ハ家

族ヨリ之ヲ届出ヅベシ

第八條 蠶種製造者ノ相續人被相續人ノ業務ヲ承繼セント

スルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クベシ但シ被相續人ノ死

亡後十五日以内ニ許可ノ申請ヲ爲シタルトキハ之ニ對ス

ル處分アル迄被相續人ノ業務ヲ繼續スルコトヲ得

第九條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者蠶蛆又ハ其ノ

蛹若ハ蠅ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ壓殺シ、熱殺シ又

ハ水殺スベシ

第十條 蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者病患アリト認

ムル蠶兒、蠶蛹、蠶蛾又ハ其ノ屍體ヲ發見シタルトキハ

直ニ之ヲ燒棄シ又ハ熱湯、「フオルマリン」若ハ石灰水中

ニ投入シ、死籠繭又ハ薄皮繭ヲ發見シタルトキハ直ニ之

ヲ乾燥シ又ハ熱湯中ニ投入シテ其ノ病原體ヲ滅殺スベシ

第十一條 蠶兒ノ飼育ヲ爲ス者ハ多數ノ病蠶ヲ生ジ蠶病蔓

延ノ虞アル場合ニ於テハ健蠶ヲ他ニ移シ病蠶及籠蠶ハ前

條ニ規定スル方法ニ依リ之ヲ處理シ其ノ蠶室及蠶具ハ第

十五條ニ規定スル方法ニ依リ之ヲ消毒スベシ

第十二條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ生繭ヲ集散シ又ハ保存ス

ル場所ノ床又ハ其ノ場所ノ底部ニ蠶蛆及其ノ蛹又ハ蠅ノ

散逸ヲ防グニ足ル設備ヲ爲シ且其ノ場所ノ周圍ニ高サ六

蠶絲業法施行規則

センチメートル以上ノ障板ヲ設クベシ但シ蠶蛆及其ノ蛹

ノ散逸ヲ防グニ足ル構造ノ場所ニ於テ生繭ヲ集散シ若ハ

保存シ又ハ蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防グニ足ル構造ノ容器

ニ生繭ヲ保存スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ障板ト生繭トガ接觸スル場合ニ於テハ障板ノ高サ

ハ接觸部ノ上端ヨリ測リテ六センチメートル以上アルコ

トヲ要ス

地方長官必要ト認ムルトキハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニ對シ

生繭ヲ集散シ又ハ保存スル室ノ床下ニ蠶蛆及其ノ蛹ノ散

逸ヲ防グニ足ル設備ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ生繭ヲ集散シ又ハ保存スル室ノ床

下ニ蠶蛆蛹ノ潜伏ノ虞アル場合ニ於テハ床下掃除ヲ行ヒ

之カ驅除ヲ爲スベシ但シ床下ニ蠶蛆蛹ノ飛散ヲ防グニ足

ル設備アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

ベシ

一 蠶種製造場所及蠶兒飼育場所

二 原蠶種製造額豫定數

三 普通蠶種製造額豫定數

第六條 生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ生繭取扱場所所在地ヲ管轄

スル地方長官ノ定ムル所ニ依リ左ノ事項ヲ地方長官ニ届

出ヅベシ

一 氏名又ハ名稱、住所及蠶絲業ニ關スル業種

二 生繭取扱場所

三 生繭取扱豫定期間

四 生繭取扱豫定數量

生繭ノ取扱ヲ爲ス者自ラ生繭取扱場所ヲ管理セザルトキ

ハ自己ニ代ルベキ管理者ヲ置キ其ノ氏名及住所ヲ地方長

官ニ届出ヅベシ

前二項ノ規定ハ養蠶者、蠶種製造者及自家用ノ眞綿、生

絲等ヲ製造スル爲生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニ付テハ之ヲ適用

セズ

第七條 蠶種製造者又ハ前條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル

者死亡シ若ハ業務ヲ廢止シ又ハ第一條ノ規定ニ依リ提出

シタル願書ノ記載事項若ハ前條ノ規定ニ依リ届出デタル

事項ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク地方長官ニ之ヲ届出

ニ依リ蠶室ヲ、第一號乃至第四號ノ一ノ方法ニ依リ蠶具ヲ消毒スベシ但シ新築ノ蠶室又ハ新調ノ蠶具ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 「フオルマリン」撒布消毒
- 二 蒸汽消毒
- 三 蟻酸「アルデヒド」瓦斯消毒
- 四 昇汞水消毒
- 五 「クロール」石灰水消毒

第十六條 蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ノ掃立ヲ終リタルトキハ蠶兒飼育場所所在地ヲ管轄スル地方長官ノ定ムル所ニ依リ左ノ事項ヲ記載シタル掃立届ヲ地方長官ニ提出スベシ

- 一 蠶兒飼育場所
- 二 化性、品種名及原蠶種製造者ノ氏名又ハ名稱
- 三 掃立月日
- 四 蛾數又ハ卵量及蟻量
- 五 掃立口ノ記號

第十七條 蠶種製造者ハ蠶種製造用蠶兒ノ掃立ヲ終リタルトキハ掃立口毎ニ掃立口ノ記號ヲ附シ蠶種ノ製造ヲ終ル迄蠶兒、繭、蛾及卵ニ付其ノ屬スル掃立口ヲ明ニスベシ合併、分割其ノ他ノ事由ニ因リ掃立口ニ變更アリタルト

四 讓渡數量(掃立口ヲ分割シテ讓渡シタル場合ニ於テハ全部ニ對スル割合)

- 五 讓渡前及後ノ蠶兒飼育場所
- 六 讓受人ノ氏名又ハ名稱及住所
- 七 讓渡月日

第二十一條 蠶種製造者蠶絲業法第十一條第一項ノ繭ノ検査ヲ受ケントスルトキハ蠶種製造用蠶兒ノ上簇ヲ終リタル後遲滞ナク左ノ事項ヲ記載シタル繭検査請求書ヲ蠶兒飼育場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ但シ第二十二條第二項但書ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テハ繭ノ検査ヲ受ケントスル場所ヲ附記シ其ノ場所ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

- 一 蠶兒飼育場所
- 二 化性、品種名及掃立口ノ記號
- 三 上簇ノ始期及終期
- 四 收購豫定月日

第二十二條 蠶絲業法第十一條第一項ノ繭ノ検査ハ蠶兒飼育場所ニ於テ之ヲ行フ但シ地方長官特別ノ事由アリト認ムルトキハ蠶兒飼育場所以外ノ場所ニ於テ之ヲ行フコトヲ得

前項ノ検査ヲ受ケントスル繭ハ其ノ検査ヲ終ル迄之ヲ蠶

キ亦同ジ

第十八條 化性、品種名、記號又ハ製造者ノ異ナル原蠶種ヨリ産出シタル蠶兒、繭、蛾及卵竝ニ蠶兒飼育場所又ハ掃立月日ノ異ナル蠶兒、繭、蛾及卵ハ掃立口ヲ異ニスベシ地方長官必要ト認ムルトキハ原蠶種ノ記號、原蠶種ノ製造者、蠶兒飼育場所若ハ掃立月日ノ異ナル蠶兒、繭、蛾及卵ノ掃立口ヲ合併シ又ハ上簇月日若ハ産卵月日ノ異ナル繭、蛾及卵、孵化期ノ變化ヲ生ズベキ卵若ハ交雜ニ依リ産出シタル卵ノ掃立口ヲ分割スルコトヲ得

第十九條 蠶種製造者ハ蠶種ノ製造ヲ終ル迄之ニ用ヒタル原蠶種ノ臺紙又ハ容器ヲ保存スベシ

第二十條 蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ヲ蠶種製造者ニ讓渡シタルトキハ遲滞ナク左ノ事項ヲ蠶兒飼育場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ届出ヅベシ

- 一 化性、品種名及原蠶種製造者ノ氏名又ハ名稱
- 二 掃立月日
- 三 掃立口ノ記號

兒飼育場所以外ニ搬出スルコトヲ得ズ但シ天災其ノ他ノ不可抗力ノ場合又ハ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十三條 蠶絲業法第十一條第一項ノ繭ノ検査ハ掃立口毎ニ之ヲ行ヒ當該品種固有ノ繭色及繭形ヲ有シ且其ノ齊一ナルモノヲ合格トシ然ラザルモノヲ不合格トス

検査ヲ行ヒタル繭ヲ産出シタル原蠶種ノ臺紙又ハ容器ニハ様式第一號ニ依ル繭検査済印ヲ押捺ス

検査ニ合格シタル繭ニ對シテハ掃立口毎ニ様式第二號ニ依ル繭検査合格證ヲ交付ス

第二十四條 蠶種製造者蠶絲業法第十一條第一項ノ繭ノ検査ニ合格シタル繭ヲ讓渡シタルトキハ掃立口全部ノ讓渡ノ場合ニ於テハ繭検査合格證ヲ返納シ、一部ノ讓渡ノ場合ニ於テハ繭検査合格證ノ裏書ヲ申請スベシ

前項ノ場合ニ於テ讓受人蠶種製造者ナルトキハ其ノ讓受ケタル繭ニ付種繭證明書ヲ交付ヲ繭検査合格證ヲ交付シタル地方長官ニ申請スベシ此ノ場合ニ於テハ様式第三號ニ依ル種繭證明書ヲ交付ス

前二項ノ規定ハ前項ノ種繭證明書アル種繭ノ讓渡及讓受ノ場合ニ付之ヲ準用ス

第二十五條 蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ノ掃立後繭ノ検査

前ニ於テ蠶種ノ製造ヲ廢止シタルトキハ其ノ廢止シタル蠶兒又ハ繭ニ付第十六條各號ニ掲グル事項ヲ記載シタル屆書ヲ遲滞ナク蠶兒飼育場所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ但シ第二十條ノ手續ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十六條

蠶種ノ臺紙ハ縦三五・四センチメートル横二二・四センチメートルノ厚紙ヲ用フベシ

検査合格證印ノ押捺アル蠶種ノ臺紙又ハ容器ハ之ヲ再用品ルコトヲ得ズ

第二十七條

蠶種製造者原蠶種ヲ製造セントスルトキハ框製、袋製其ノ他ノ一蛾別製ト爲スベシ

框製ニ在リテハ其ノ臺紙ヲ二十八區ニ區割シ一母蛾ヲシテ一區ニ産卵セシメ母蛾ト其ノ區トニ同一ノ符號ヲ附シ一母蛾毎ニ隔離シテ一枚分ノ母蛾ヲ一容器ニ納ムベシ袋製ニ在リテハ紙若ハ布製ノ袋ニ一母蛾ヲシテ産卵セシメ其ノ他ノ一蛾別製ニ在リテハ紙布片ニ一蛾別ニ産卵セシメ二十八蛾分以内ヲ一容器ニ納ム、母蛾ト卵トヲ分離スル場合ニ於テハ母蛾ト其ノ卵ノ袋又ハ紙布片トニ同一ノ符號ヲ附シ一母蛾毎ニ隔離シテ一容器分ノ母蛾ヲ一容器ニ納ムベシ

前二項ノ母蛾ノ容器ニハ蠶種ノ記號及番號竝ニ蛾數ヲ記

雜ニ依リ製造シタル蠶種ニハ雌蛾及雄蛾ノ屬スル掃立口ノ記號ヲ併用スベシ

蠶種ノ番號ハ記號別ニ蠶種ノ臺紙、産卵用紙布又ハ容器毎ニ之ヲ附スベシ

第三十條 蠶種製造者ハ蠶種ノ検査前左ノ事項ヲ様式第四號ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ノ表面ニ記載スベシ但シ蠶種ノ検査後卵ヲ容器ニ納ムルモノニ在リテハ検査合格證印ノ押捺前之ヲ爲スベシ

一 化性、品種名、越年不越年ノ別、記號及番號

二 蠶種製造者ノ氏名又ハ名稱、住所及蠶種製造場所

三 繭色

四 系統

五 産卵月日

六 框製以外ノ一蛾別製ニ在リテハ産卵蛾數、平附ニ在リテハ臺紙ノ重量、卵量及其ノ秤量月日、散卵ニ在リテハ卵量及其ノ秤量月日

蠶種ヲ移入シ又ハ輸入シタル者ハ蠶絲業法第十七條ノ検査前左ノ事項ヲ様式第四號ニ依リ其ノ臺紙又ハ容器ニ記載スベシ

一 化性及品種名

二 移入シ又ハ輸入シタル者ノ氏名又ハ名稱及住所

載スベシ

第二十八條 蠶種製造者普通蠶種ヲ製造セントスルトキハ平附又ハ散卵ト爲スベシ

平附ニ在リテハ臺紙一枚毎ニ七十蛾以内ヲ産卵セシメ一枚分ノ母蛾ヲ一容器ニ納ムベシ但シ再検査ニ供セザル蠶種ニ在リテハ二枚以上ノ臺紙ニ臺紙一枚ニ付七十蛾以内ノ割合ヲ以テ産卵セシメ又ハ一掃立口ノ母蛾ヲ混同シテ容器ニ納ムルコトヲ得

散卵ニ在リテハ産卵用紙布一枚毎ニ三十蛾以上百蛾以内ヲ産卵セシメ一枚分ノ母蛾ヲ一容器ニ納ム蠶種ノ検査後散卵ト爲スベシ但シ再検査ニ供セザル蠶種ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

散卵ハ之ヲ容器ニ納ムベシ一容器ニ納ムベキ散卵ノ量ハ三十グラム、二十グラム又ハ十グラムタルコトヲ要ス

第二項但書又ハ第三項但書ノ場合ニ於テハ百蛾以内ノ母蛾ヲ一容器ニ納ムベシ

前條第四項ノ規定ハ第二項及第三項ノ母蛾ノ容器ニ付之ヲ準用ス

第二十九條 蠶種製造者蠶種ノ製造ヲ終リタルトキハ其ノ蠶種ニ記號及番號ヲ附スベシ

蠶種ノ記號ハ卵ノ屬スル掃立口ノ記號ヲ用フベシ但シ交

三 蠶種製造地

四 繭色

五 一蛾別製ニ在リテハ産卵蛾數、平附又ハ散卵ニ在リテハ卵量

第三十一條 蠶種ノ化性及品種名ハ其ノ蠶種ノ製造ニ用ヒタル繭ヲ産出シタル原蠶種ノ化性及品種名ヲ用フベシ但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

交雜ニ依リ製造シタル蠶種ノ化性ハ雌蛾ヲ産出シタル原蠶種ノ化性ヲ用ヒ、品種名ハ雌蛾及雄蛾ヲ産出シタル原蠶種ノ品種名ヲ併用シ交雜ノ二字ヲ冠スベシ

地方長官必要ト認ムルトキハ蠶種ノ化性又ハ品種名ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第三十二條 蠶種製造者又ハ蠶種ノ賣買ニ從事スル者ハ第

三十條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載シタル文字ノ訂正、増加若ハ抹消ヲ爲シ、蠶種ノ區、袋若ハ紙布片ノ填補ヲ爲シ又ハ散卵ノ容器ニ卵ノ増加ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第六十一條ノ規定ニ該當スル場合及蠶種製造者第四十六條若ハ第六十三條ノ規定ニ依リ原蠶種ノ區、袋若ハ紙布片ノ填補ヲ爲シ又ハ蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方長官ノ承認ヲ受ケ文字ノ訂正、増加若ハ抹消ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

蠶絲業法關係法規

地方長官前項但書ノ規定ニ依リ文字ノ訂正、増加又ハ抹消ヲ承認シタルトキハ様式第五號ニ依ル變更證印ヲ押捺スベシ

第三十三條 蠶種製造者ノ製造スベキ原蠶種ハ純粹種又ハ固定種タルコトヲ要ス但シ地方長官必要ト認ムルトキハ交雜普通蠶種ヲ製造スル爲交雜ニ依ル原蠶種ノ製造ヲ許可スルコトヲ得

第三十四條 蠶種製造者蠶絲業法第十一條第二項ノ規定ニ依リ原蠶種ノ母蛾ニ付蠶種ノ検査ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル原蠶種検査請求書ヲ地方長官ニ、母蛾及蠶種ヲ所轄蠶業取締所ニ提出スベシ

一 蠶種製造場所

二 化性、品種名及記號

三 産卵月日

四 製造方法別ニ依ル製造額

第三十五條 蠶種製造者蠶絲業法第十一條第二項及第三項ノ規定ニ依リ普通蠶種ノ母蛾ニ付蠶種ノ検査(歩合検査)ヲ受ケントスルトキハ前條各號ニ掲グル事項及製造方法別ニ依ル母蛾ノ數竝ニ第二十八條第二項但書又ハ同條第三項但書ノ規定ニ該當スル蠶種ニ在リテハ其ノ旨ヲ記載シタル普通蠶種歩合検査請求書ヲ地方長官ニ、母蛾及蠶

左ノ事項ヲ記載シタル移入又ハ輸入蠶種検査請求書ヲ地方長官ニ、母蛾アルモノハ母蛾及蠶種ヲ母蛾ナキモノハ蠶種ヲ所轄蠶業取締所ニ提出スベシ

一 製造地

二 化性及品種名

三 原蠶種又ハ普通蠶種ト爲サントスル數量、母蛾アルモノハ其ノ母蛾ノ數

第三十九條 蠶種製造者ハ母蛾ニ熱又ハ藥液ヲ加ヘ其ノ他斃死ヲ速ナラシムル方法ヲ用フルコトヲ得ズ但シ不越年蠶種ニシテ已ムヲ得ザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

地方長官前項ノ規定ニ違反スル方法ノ用ヒラレタルモノ、故意若ハ過失ニ因リ微粒子ノ檢出困難ト爲リタルモノ又ハ母蛾ノ亡失、取替若ハ混合ノ疑アルモノニ對シ蠶種ノ検査ヲ拒ムコトヲ得

第四十條 蠶絲業法第十一條第二項ノ規定ニ依リ原蠶種ノ母蛾ニ付行フ蠶種ノ検査ハ一蛾毎ニ顯微鏡ヲ以テ之ヲ行ヒ微粒子ヲ發見セザル蛾ノ産卵シタル區、袋又ハ紙布片ヲ合格トシ微粒子ヲ發見シタル蛾ノ産卵シタルモノヲ不合格トス

検査ニ不合格ト爲リタル區、袋又ハ紙布片ニハ様式第六號ニ依ル有毒印ヲ押捺ス

蠶絲業法施行規則

種ヲ所轄蠶業取締所ニ提出スベシ

第三十六條 蠶種製造者蠶絲業法第十一條第四項ノ再検査ヲ受ケントスルトキハ再検査ヲ受ケントスル部分ニ付左ノ事項ヲ記載シタル普通蠶種再検査請求書ヲ地方長官ニ提出スベシ

一 化性、品種名、記號及番號

二 製造方法別ニ依ル請求數量及母蛾ノ數

蠶種製造者ハ前條ノ普通蠶種歩合検査請求書ニ再検査ヲ受ケントスル部分ニ付前項各號ノ事項ヲ附記シ豫メ之ガ請求ヲ爲スコトヲ得

左ニ掲グル普通蠶種ニ付テハ再検査ノ請求ヲ爲スコトヲ得ズ

一 第二十八條第二項但書又ハ同條第三項但書ノ規定ニ該當スルモノ

二 臺紙又ハ産卵用紙布ニ十蛾未滿ヲ産卵セシメタルモノ

第三十七條 蠶絲業法第十一條第一項ノ繭ノ検査ニ合格シタル繭繭ヨリ製造シタル蠶種ニ非ザレハ前三條ノ規定ニ依リ検査ノ請求ヲ爲スコトヲ得ズ但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十八條 移入又ハ輸入蠶種ノ検査ヲ受ケントスル者ハ

母蛾ノ亡失シ又ハ混合シタル區、袋又ハ紙布片ニハ様式第七號ニ依ル缺蛾印ヲ押捺ス

検査ニ合格シタル蠶種ニハ其ノ臺紙又ハ容器ニ様式第八號ニ依ル原蠶種検査合格證印ヲ押捺ス但シ有毒印又ハ缺蛾印ヲ押捺シタル區、袋又ハ紙布片ハ之ヲ除去ス

第四十一條 蠶絲業法第十一條第二項及第三項ノ規定ニ依リ普通蠶種ノ母蛾ニ付行フ蠶種ノ検査(歩合検査)ハ一掃立口ノ母蛾ノ數千蛾以上ノモノニ在リテハ十蛾又ハ其ノ端數毎ニ一蛾ノ割合ヲ以テ母蛾ヲ、百蛾以上千蛾未滿ノモノニ在リテハ百蛾ヲ、百蛾未滿ノモノニ在リテハ全部ノ母蛾ヲ採リ一蛾毎ニ顯微鏡ヲ以テ之ヲ行ヒ微粒子ヲ發見シタル母蛾ノ數検査蛾數ノ百分ノ一未滿ナルトキハ其ノ掃立口全部ノ蠶種ヲ合格トシ百分ノ一以上ナルトキハ之ヲ不合格トス

検査ニ合格シタル蠶種ニハ其ノ臺紙又ハ容器ニ様式第九號ニ依ル普通蠶種検査合格證印ヲ押捺ス但シ検査後卵ヲ容器ニ納ムルモノニ在リテハ様式第十號ニ依ル検査合格證明書ヲ交付ス

検査ニ不合格ト爲リタル蠶種ニ付テハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知ス

第四十二條 蠶絲業法第十一條第四項ノ再検査ハ臺紙又ハ

産卵用紙布一枚毎二十蛾以上ノ母蛾ヲ採リ之ヲ十等分シ其ノ一分毎ニ顯微鏡ヲ以テ之ヲ行ヒ微粒子ヲ發見セザルモノヲ合格トシ之ヲ發見シタルモノヲ不合格トス

検査ニ合格シタル蠶種ニハ其ノ臺紙又ハ容器ニ様式第一一號ニ依ル普通蠶種再検査合格證印ヲ押捺ス但シ検査後卵ヲ容器ニ納ムルモノニ在リテハ様式第十號ニ依ル再検査合格證印書ヲ交付ス

第四十三條 蠶種製造者第四十一條第二項但書又ハ前條第二項但書ノ規定ニ該當スル蠶種ヲ容器ニ納メタルトキハ検査合格證明書又ハ再検査合格證明書ヲ添ヘ之ヲ所轄蠶業取締所ニ提出シ検査合格證印ノ押捺ヲ受クベシ

第四十四條 蠶絲業法第十七條第一項ノ検査ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ行フ

一 原蠶種ト爲スモノノ検査

(イ) 母蛾ニ付検査ヲ行フ場合ニ於テハ一母蛾毎ニ卵ト對照スルコトヲ得ルモノニ付テハ第四十條ノ規定ニ準ジ検査、合格又ハ不合格ノ決定及蠶種ノ處分ヲ行ヒ、之ヲ對照スルコト能ハザルモノニ付テハ全部ノ母蛾ニ付顯微鏡ヲ以テ検査ヲ行ヒ微粒子ヲ發見セザル場合ニ於テハ全部ノ蠶種ヲ合格トシ微粒子ヲ發見シタル場合ニ於テハ全部ノ蠶種ヲ不合格トス

譲受クルコトヲ得ズ

第四十六條 蠶業取締所ニ付蠶種ノ検査ヲ受ケタル者其ノ原蠶種ノ區、袋又ハ紙布片ヲ填補セントスルトキハ其ノ蠶業取締所ニ於テ之ヲ行ヒ框製蠶種ノ填補區ニハ様式第十六號ニ依ル繼印ノ押捺ヲ受クベシ

全部ノ區、袋又ハ紙布片ヲ填補ニ用ヒタル爲不用ト爲リタル臺紙又ハ容器ノ検査合格證印ハ其ノ抹消ヲ受クベシ

第一項ノ規定ニ依リ區、袋又ハ紙布片ヲ填補セントスルトキハ検査ニ合格シタル同一記號ノ蠶種ノ區、袋又ハ紙布片ヲ用フベシ

第四十七條 蠶業取締所ニ付蠶種ノ検査ヲ受ケタル者其ノ検査合格證印アル蠶種ヲ散卵ト爲シタルトキ又ハ已ムヲ得ザル事由ニ因リ其ノ容器ヲ變更シ若ハ開封シタルトキハ其ノ蠶業取締所ニ付容器ニ検査合格證印ノ押捺、封緘證印ノ押捺又ハ封緘證紙ノ貼附ヲ受クルコトヲ得

(ロ) 卵ニ付検査ヲ行フ場合ニ於テハ一枚又ハ一容器毎ニ百粒以上ノ卵ヲ採リ之ヲ十等分シ其ノ一分毎ニ顯微鏡ヲ以テ検査ヲ行ヒ微粒子ヲ發見セザルモノヲ合格トシ之ヲ發見シタルモノヲ不合格トス

二 普通蠶種ト爲スモノノ検査

(イ) 母蛾ニ付検査ヲ行フ場合ニ於テハ第四十一條第一項ノ規定ニ準ジ検査及合格又ハ不合格ノ決定ヲ行フ

(ロ) 卵ニ付検査ヲ行フ場合ニ於テハ前號(ロ)ノ規定ニ準ジ検査及合格又ハ不合格ノ決定ヲ行フ

検査ニ合格シタル蠶種(蠶絲業法第十七條第二項ノ検査ニ合格シタルモノヲ含ム)ニハ其ノ臺紙又ハ容器ニ様式第十二號ニ依ル移入又ハ輸入原蠶種検査合格證印又ハ様式第十三號ニ依ル移入又ハ輸入普通蠶種検査合格證印ヲ押捺ス

第四十五條 前五條又ハ第六十二條ノ規定ニ依リ検査合格證印ヲ容器ニ押捺シタル場合ニ於テハ様式第十四號ニ依ル封緘證印ヲ押捺シ又ハ様式第十五號ニ依ル封緘證紙ヲ貼附ス

容器ニ封緘證印又ハ封緘證紙ナキ蠶種ハ之ヲ讓渡シ又ハ貼附ヲ拒ムコトヲ得容器ノ變更又ハ開封ニ付已ムヲ得ザル事由ナシト認ムルトキ亦同ジ

第四十八條 蠶業取締所ノ押捺シタル検査合格證印アル蠶種ヲ分割シテ讓渡サントスル者ハ其ノ蠶業取締所ニ付左ノ手續ヲ爲スベシ

一 框製又ハ平附蠶種ニ在リテハ其ノ臺紙ノ裏面ニ截斷セントスル部分ヲ區劃シ各部ニ第三十條第一項又ハ第二項各號ニ掲グル事項並ニ分割者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載シ検査合格證印ノ押捺ヲ受クベシ

二 框製以外ノ一蛾別製又ハ散卵蠶種ニ在リテハ蠶業取締所ニ於テ之ヲ分割シ各容器ノ表面ニ様式第四號ニ依リ第三十條第一項又ハ第二項各號ニ掲グル事項並ニ分割者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載シ其ノ容器ニ検査合格證印ノ押捺及封緘證印ノ押捺又ハ封緘證紙ノ貼附ヲ受ケ且不用ト爲リタル容器ノ検査合格證印ハ其ノ抹消ヲ受クベシ

第四十九條 第四十六條第二項、第四十七條第二項又ハ前條第二號ノ規定ニ依リ検査合格證印ノ抹消ヲ爲ス場合ニ於テハ様式第十七號ニ依ル消印ヲ押捺ス

第五十條 蠶種業組合、蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合又ハ同業組合聯合會ニシテ蠶絲業法第十一條ノ繭ノ検査

及蠶種ノ検査ニ代ヘ其ノ組合員又ハ所屬組合ノ組合員ノ製造スル蠶種ニ關シ繭及蠶種ノ検査ヲ行ハントスルモノハ農林大臣ノ許可ヲ受クベシ(昭和六年省令第十八號本項改正)

蠶種製造者ニシテ蠶絲業法第十一條ノ繭ノ検査及蠶種ノ検査ニ代ヘ自己ノ製造スル蠶種ニ關シ繭及蠶種ノ検査ヲ行ハントスルモノ亦前項ニ同ジ

第五十一條 蠶種業組合、蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合又ハ同業組合聯合會ニシテ蠶絲業法第十一條ノ蠶種ノ検査ニ代ヘ其ノ組合員又ハ所屬組合ノ組合員ノ製造スル自家用原蠶種ニ關シ蠶種ノ検査ヲ行ハントスルモノハ其ノ地區ヲ管轄スル地方長官ノ許可ヲ受クベシ(昭和六年省令第十八號本項改正)

蠶種製造者ニシテ蠶絲業法第十一條ノ蠶種ノ検査ニ代ヘ自己ノ製造スル自家用原蠶種ニ關シ蠶種ノ検査ヲ行ハントスルモノハ蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル地方長官ノ許可ヲ受クベシ

前二項ノ許可ヲ受ケテ行ヒタル検査ニ合格シタル蠶種ハ之ヲ讓渡スコトヲ得ズ但シ特別ノ事由ニ因リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第五十二條 左ノ各號ノ條件ヲ具備スル蠶種製造者ニ非ザ

一 スモノノ數、蠶種製造場所數、蠶兒飼育場所數並ニ原蠶種及普通蠶種ノ製造額概定數

二 繭及蠶種ノ検査ニ關スル規程

三 蠶種ノ検査場所並ニ検査ノ用ニ供スル建物ノ種類及平面積

四 蠶種ノ検査ニ關スル設備

五 繭及蠶種ノ検査ニ從事スル者ノ數

六 蠶種検査ノ管理者ノ氏名及履歷ノ要領

七 繭及蠶種ノ検査ニ關スル收支豫算

八 第五十條第二項ノ許可ヲ受ケントスル蠶種製造者ハ前項

第四號乃至第七號ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

一 氏名又ハ名稱及住所

二 履歷ノ要領

三 蠶種製造場所及蠶兒飼育場所

四 最近三年間ニ於ケル各年ノ原蠶種及普通蠶種ノ製造額

五 最近三年間ニ於ケル各年ノ普通蠶種ノ歩合検査成績前二項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第五十四條 第五十一條第一項ノ許可ヲ受ケントスル蠶種

蠶絲業法施行規則

レバ第五十條第二項ノ許可ヲ受クルコトヲ得ズ

一 最近三年間ニ於ケル各年ノ蠶種製造額三十萬噸以上タルコト

二 最近三年間ニ於ケル各年ノ普通蠶種歩合検査ノ合格歩合(検査合格額ノ検査總額ニ對スル割合)百分ノ九十五以上タルコト

三 適當ナル検査設備ヲ有スルコト

四 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在リテハ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後二年ヲ經過シタルコト

五 蠶絲業法又ハ同法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ處罰ヲ受ケ又ハ免許ヲ取消サレタル者ニ在リテハ處罰ヲ受ケ又ハ免許ヲ取消サレタル後三年ヲ經過シタルコト

前項第三號ノ條件ヲ具備スル者ニ非ザレバ第五十條第一項又ハ前條ノ許可ヲ受クルコトヲ得ズ

第五十三條 第五十條第一項ノ許可ヲ受ケントスル蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ(昭和六年省令第十八號本項改正)

一 名稱及事務所

二 組合員又ハ所屬組合ノ組合員ニシテ蠶種ノ製造ヲ爲スモノノ數及原蠶種ノ製造額概定數

三 検査ニ關スル規程

四 原蠶種ノ検査額概定數

五 検査場所並ニ検査ノ用ニ供スル建物ノ種類及平面積

六 検査ニ關スル設備

七 検査ニ從事スル者ノ數

八 蠶種検査ノ管理者ノ氏名及履歷ノ要領

九 検査ニ關スル收支豫算

第五十一條第二項ノ許可ヲ受ケントスル蠶種製造者ハ前項第四號乃至第七號ニ掲グル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ地方長官ニ提出スベシ

一 氏名又ハ名稱及住所

二 履歷ノ要領

前二項ノ書類ノ外地方長官ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第五十五條 第五十條ノ許可ヲ受ケタル者第五十三條第一

項第三號、第四號又ハ第五號ニ掲グル事項ヲ變更セント
 スルトキハ農林大臣ノ許可ヲ、第五十一條ノ許可ヲ受ケ
 タル者前條第一項第三號、第五號又ハ第六號ニ掲グル事
 項ヲ變更セントスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クベシ
 第五十六條 第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケントス
 ル者ハ検査ニ關スル方法ヲ定メ第五十三條又ハ第五十四
 條ノ申請書ノ提出ト同時ニ其ノ認可ヲ申請スベシ
 検査ニ關スル方法ヲ變更セントスルトキハ農林大臣又ハ
 地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第五十七條 前條ノ検査ニ關スル方法ハ蠶業取締所ノ行フ
 モノト同等以上タルコトヲ要ス

第五十八條 農林大臣必要ト認ムルトキハ第五十條又ハ第
 五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ蠶種ニ關スル検査ニ
 従事スル者及蠶種検査ノ管理者ノ資格ヲ定ムルコトアル
 ベシ

前項ノ資格ヲ定メタルトキハ之ヲ告示ス

蠶種検査ノ管理者ハ同時ニ他ノ蠶種業組合、同業組合、
 同業組合聯合會又ハ蠶種製造者ノ蠶種検査ノ管理者タル
 コトヲ得ズ(昭和六年省令第十八號本項改正)

第五十九條 第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ハ検査場所毎ニ
 毎年検査開始ヨリ少クトモ十日前ニ左ノ事項ヲ農林大臣

爲シタルトキハ様式第五號ニ依ル變更證明ヲ押捺スベシ
 (昭和六年省令第十八號本項改正)

第五十條第二項又ハ第五十一條第二項ノ許可ヲ受ケタル
 蠶種製造者第三十條第一項ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ
 容器ニ記載シタル文字ノ訂正、増加又ハ抹消ヲ爲シタル
 トキハ様式第五號ニ依ル變更證明ヲ押捺スベシ

第六十二條 第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者
 蠶種ノ検査ヲ行ヒタルトキハ原蠶種ニ在リテハ合格シタ
 ル蠶種ノ臺紙又ハ容器ニハ様式第八號ニ依ル原蠶種検査
 合格證明ヲ、不合格ト爲リタル區、袋又ハ紙布片ニハ様
 式第六號ニ依ル有毒印ヲ、母蛾ノ亡失シ又ハ混合シタル
 區、袋又ハ紙布片ニハ様式第七號ニ依ル缺蟻印ヲ押捺シ、
 普通蠶種ニ在リテハ歩合検査又ハ再検査ニ合格シタル蠶
 種ノ臺紙又ハ容器ニハ様式第九號ニ依ル普通蠶種検査合
 格證明又ハ様式第十一號ニ依ル普通蠶種再検査合格證明
 ヲ押捺スベシ

前項ノ有毒印又ハ缺蟻印ヲ押捺シタル區、袋又ハ紙布片
 ハ之ヲ除去スベシ

第六十三條 第五十條第一項又ハ第五十一條第一項ノ許可
 ヲ受ケタル蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ニ
 付蠶種ノ検査ヲ受ケタル者其ノ原蠶種ノ區、袋又ハ紙布

ニ届出ツベシ
 一 検査場所
 二 検査ノ開始及終了ノ豫定月日
 三 繭、原蠶種及普通蠶種ノ検査額豫定數
 第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ地方長官ノ定ムル所ニ
 依リ検査ノ開始及終了ノ豫定月日並ニ原蠶種ノ検査額豫
 定數ヲ地方長官ニ届出ツベシ

第六十條 蠶種製造者第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ
 繭ノ検査ニ合格シタル種繭ヲ讓渡ス場合ニ於テハ其ノ檢
 査ヲ行ヒタル者ノ作成シタル種繭證明書ヲ讓受人ニ交付
 スベシ但シ蠶種製造者ニ非ザル者ニ讓渡ス場合ハ此ノ限
 ニ在ラズ

前項ノ種繭證明書ハ様式第三號ニ依リ之ヲ作成スベシ
 第六十一條 第五十條第一項又ハ第五十一條第一項ノ許可
 ヲ受ケタル蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ニ
 付蠶種ノ検査ヲ受ケタル者ハ其ノ蠶種業組合、同業組合
 又ハ同業組合聯合會ノ承認ヲ受ケ第三十條第一項ノ規定
 ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載シタル文字ノ訂正、増
 加又ハ抹消ヲ爲スコトヲ得(昭和六年省令第十八號本項
 改正)

蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會前項ノ承認ヲ

片ヲ填補セントスルトキハ蠶種業組合、同業組合又ハ同
 業組合聯合會ノ定ムル所ニ依リ其ノ検査場所ニ於テ之ヲ
 行ヒ框製蠶種ノ填補區ニハ様式第十六號ニ依ル蠶種ノ押
 捺ヲ受クベシ(昭和六年省令第十八號本項改正)

第五十條第二項又ハ第五十一條第二項ノ許可ヲ受ケタル
 蠶種製造者自ラ検査ヲ行ヒタル原蠶種ノ區、袋又ハ紙布
 片ヲ填補セントスルトキハ検査場所ニ於テ之ヲ行ヒ框製
 蠶種ノ填補區ニハ様式第十六號ニ依ル蠶種ノ押捺スベ
 シ

第四十六條第二項及第三項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ付之
 ヲ準用ス

第六十四條 第五十條第一項又ハ第五十一條第一項ノ許可
 ヲ受ケタル蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ニ
 付蠶種ノ検査ヲ受ケタル者其ノ検査合格證明アル蠶種ヲ
 散卵ト爲シタルトキ又ハ已ムヲ得ザル事由ニ因リ其ノ容
 器ヲ變更シ若ハ開封シタルトキハ蠶種業組合、同業組合
 又ハ同業組合聯合會ノ定ムル所ニ依リ容器ニ検査合格證
 印ノ押捺、封緘證明ノ押捺又ハ封緘證明ノ貼附ヲ受クル
 コトヲ得但シ同業組合又ハ同業組合聯合會ハ卵ノ取替若
 ハ混合ノ疑アリト認ムルトキ又ハ容器ノ變更若ハ開封ニ
 付已ムヲ得ザル事由ナシト認ムルトキハ其ノ手續ヲ拒ム

コトヲ得(昭和六年省令第十八號本項改正)

第五十條第二項又ハ第五十一條第二項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者其ノ検査合格證印アル蠶種ヲ散卵ト爲シタルトキ又ハ已ムヲ得ザル事由ニ因リ其ノ容器ヲ變更シ若ハ開封シタルトキハ自ラ容器ニ検査合格證印ノ押捺、封緘證印ノ押捺又ハ封緘證紙ノ貼附ヲ爲スコトヲ得

第四十七條第二項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ付之ヲ準用ス
第六十五條 第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺シタル検査合格證印アル蠶種ヲ分割シテ讓渡サントスル者ハ其ノ検査合格證印ヲ押捺シタル者ニ付第四十八條ノ規定ニ準ジ手續ヲ爲スベシ

第六十六條 第四十九條ノ規定ハ前三條ノ規定ニ依リ不用ト爲リタル裏紙又ハ容器ノ検査合格證印ノ抹消ヲ爲ス場合ニ付之ヲ準用ス

第六十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ農林大臣ニ、第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ地方長官ニ遲滞ナク其ノ旨ヲ届出ヅベシ但シ第一號ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戸主又ハ家族ヨリ其ノ旨ヲ届出ヅベシ

一 許可ヲ受ケタル者死亡シタルトキ
二 許可ヲ受ケタル者蠶種ニ關スル検査ヲ廢止シタルト

省令第十八號本項改正)

- 一 蠶兒飼育場所
- 二 化性、品種名及掃立口ノ記號
- 三 收繭數量
- 四 検査ニ合格シタル種繭ノ數量
- 五 検査月日

第七十條 第五十條ノ許可ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ農林大臣ハ其ノ許可ヲ取消スコトアルベシ
一 其ノ行フ検査ニ關シ蠶絲業法又ハ同法ニ基キテ發スル命令又ハ處分ニ違反シタルトキ

二 適當ナル検査設備ヲ缺クニ至リタルトキ
三 正當ノ事由ナクシテ其ノ検査ヲ行ハザルトキ
四 第五十條第二項ノ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ引續キ三年以上各年ノ蠶種製造額三十萬蛾ニ滿タザルトキ

第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者前項第一號、第二號又ハ第三號ニ該當スルトキハ地方長官ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第七十一條 法人、組合其ノ他ノ團體ハ其ノ團體員又ハ他人ノ爲ニ検査合格證印アル普通蠶種ニ付微粒子ノ顯微鏡検査ヲ爲スコトヲ得ズ

キ

三 許可ヲ受ケタル者其ノ氏名、名稱、住所又ハ事務所ヲ變更シタルトキ

四 蠶種ニ關スル検査ニ從事スル者ノ數又ハ蠶種検査ノ管理者ニ變更アリタルトキ

蠶種検査ノ管理者ノ變更届ニハ新ニ管理者ト爲リタル者ノ履歴ノ要領ヲ記載スベシ

第六十八條 第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ハ毎年四月三十日迄ニ左ノ事項ヲ記載シタル前年ノ検査成績ヲ農林大臣ニ報告スベシ

一 繭ノ検査ヲ行ヒタル掃立口ノ數及其ノ繭ノ數量並ニ検査ニ合格シタル掃立口ノ數及其ノ種繭ノ數量

二 蠶種ノ検査ヲ行ヒタル原蠶種及普通蠶種ノ製造方法別數量及其ノ検査合格數量

第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ毎年其ノ検査成績ヲ地方長官ニ報告スベシ

第六十九條 第五十條第一項ノ許可ヲ受ケタル蠶種業組合、同業組合又ハ同業組合聯合會ニ付繭ノ検査ヲ受ケタル者及同條第二項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者ハ繭ノ検査終了後蠶兒飼育場所所在地ヲ管轄スル地方長官ノ定ムル所ニ依リ左ノ事項ヲ地方長官ニ届出ヅベシ(昭和六年

第七十二條 學術研究ノ爲蠶種ノ製造及其ノ蠶兒ノ飼育ヲ爲サントスル者ハ農林大臣ノ許可ヲ受クベシ

學術研究ノ爲蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニシテ蠶絲業法第四條第一項ノ適用ヲ免レントスルモノ亦前項ニ同ジ

第一項ノ許可ヲ受ケタル者ニハ第十二條及第十三條ノ規定ヲ準用ス

國ノ學校、試験場等又ハ府縣ノ蠶業試験場ハ前三項ノ規定ニ拘ラズ學術研究ノ爲蠶種ノ製造及其ノ蠶兒ノ飼育ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ蠶絲業法第四條第一項ノ規定ノ適用ヲ免除ス

第七十三條 前條第一項又ハ第二項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

- 一 氏名又ハ名稱及住所
- 二 研究ノ目的、期間及方法
- 三 研究ニ從事スル者及之ヲ主管スル者ノ氏名及履歴ノ要領
- 四 前條第二項ノ許可ヲ受ケントスル者ニ在リテハ其ノ適用ヲ免レントスル範圍

學校、講習所又ハ試験場等ニ在リテハ直接研究ノ任ニ當

職員ヲ以テ前項第三號ノ研究ニ從事スル者ト、校長、所長、場長又ハ之ニ準ズヘキ者ヲ以テ其ノ主管者ト看做ス

第七十四條 道府縣、市、市町村學校組合、町村學校組合、公益法人又ハ蠶絲業ニ關スル同業組合ノ設置スル學校、講習所又ハ試驗場等ニシテ蠶絲業ニ關スル知識經驗アル專任職員三人以上ヲ有シ蠶量五十グラム以上ヲ飼育スルニ適當ナル蠶室、蠶具、桑園其ノ他ノ設備ヲ有スル者ハ

第七十二條第一項ノ許可ヲ受ケテ製造シタル蠶種ヲ農林大臣ノ許可ヲ受ケテ配付スルコトヲ得

農林大臣必要ト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依リ配付スル蠶種ノ數量ヲ制限スルコトヲ得

第七十五條 前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

- 一 蠶室、蠶具、桑園其ノ他ノ設備
- 二 蠶種ノ製造、検査及配付ニ關スル規程
- 三 配付セントスル原蠶種又ハ普通蠶種ノ數量
- 四 蠶種ヲ配付セントスル期間
- 五 專任職員ノ氏名及履歷ノ要領

第七十六條 第七十三條第一項各號又ハ前條各號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク農林大臣ニ之ヲ届出ヅベシ

普通蠶種

- 一 國ノ學校、試驗場等又ハ府縣ノ蠶業試驗場ニ於テ製絲繭生産用トシテ配付スルモノ
- 二 道府縣、市、市町村學校組合、町村學校組合、公益法人又ハ蠶絲業ニ關スル同業組合ノ設置スル學校、講習所又ハ試驗場等ニ於テ第七十四條ノ許可ヲ受ケ製絲繭生産用トシテ配付スルモノ
- 三 第四十四條第三項ノ規定ニ依リ移入又ハ輸入普通蠶種検査合格證印ヲ捺捺シタルモノ
- 第八十條 府縣ノ蠶業試驗場又ハ第七十四條ノ許可ヲ受ケタル者ハ原蠶種トシテ配付スル蠶種ニハ様式第十八號ニ依ル原蠶種印ヲ、普通蠶種トシテ配付スル蠶種ニハ様式第十九號ニ依ル普通蠶種印ヲ捺捺スベシ
- 第八十一條 死籠繭ヲ除クノ外化蛹セザル生繭ハ之ヲ賣買スルコトヲ得ズ但シ其ノ生繭ヲ搬出セズ又ハ搬出セシメザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第八十二條 他人ニ讓渡ス目的ヲ以テ桑苗ヲ生産スル者ハ桑苗ノ生産場所所在地ヲ管轄スル地方長官ノ定ムル所ニ依リ毎年左ノ事項ヲ地方長官ニ届出ヅベシ桑苗圃二アール以上ヲ有スル者亦同ジ
- 一 氏名又ハ名稱及住所

蠶絲業法施行規則

第七十二條第一項、第二項又ハ第七十四條ノ許可ヲ受ケタル者死亡シ又ハ學術ノ研究若ハ蠶種ノ配付ヲ廢止シタルトキハ遲滞ナク農林大臣ニ之ヲ届出ヅベシ但シ死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戸主又ハ家族ヨリ之ヲ届出ヅベシ

第七十七條 農林大臣必要ト認ムルトキハ第七十二條第一項、第二項又ハ第七十四條ノ許可ヲ取消スコトアルベシ

第七十八條 第七十四條ノ許可ヲ受ケタル學校、講習所又ハ試驗場等ニ於テ配付スル蠶種ノ製造及検査ノ方法ハ原蠶種ト爲スモノニ在リテハ本則中原蠶種ニ關スル規定ニ、普通蠶種ト爲スモノニ在リテハ本則中普通蠶種ニ關スル規定ニ準據スベシ

第七十九條 蠶絲業法第十二條ノ規定ニ依リ原蠶種及普通蠶種ヲ指定スルコト左ノ如シ

- 一 國ノ學校、試驗場等又ハ府縣ノ蠶業試驗場ニ於テ蠶種製造用トシテ配付スルモノ
- 二 道府縣ノ學校、講習所又ハ試驗場等ニ於テ第七十四條ノ許可ヲ受ケ蠶種製造用トシテ配付スルモノ
- 三 第四十四條第三項ノ規定ニ依リ移入又ハ輸入原蠶種検査合格證印ヲ捺捺シタルモノ

桑苗ノ生産場所

- 三 桑苗ノ品種別生産豫定數
- 四 任立法別苗圃ノ面積
- 第七條ノ規定ハ前項ノ届出ヲ爲シタル者死亡シ若ハ業務ヲ廢止シ又ハ前項ノ規定ニ依リ届出デタル事項ニ變更アリタル場合ニ付之ヲ準用ス
- 第八十三條 他人ニ讓渡ス目的ヲ以テ桑苗ヲ生産スル者又ハ桑苗圃二アール以上ヲ有スル者ハ桑苗ノ生産場所ニ在ル桑苗ノ葉ヲ摘採シ又ハ摘採セシムルコトヲ得ズ
- 第八十四條 害菌若ハ害虫ノ附著セル桑苗、著シク發育ノ不良ナル桑苗又ハ前條ノ規定ニ違反シテ葉ヲ摘採シタル桑苗ハ之ヲ讓渡スコトヲ得ズ但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第八十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ願書ニ履歷書及最近ノ撮影ニ係ル本人ノ寫眞二葉ヲ添へ住所地ヲ管轄スル地方長官ニ提出シ其ノ免許ヲ受クベシ
- 一 蠶種若ハ生繭ノ賣買若ハ仲立ヲ業トスル者又ハ其ノ從業者ニシテ自ら蠶種又ハ生繭ノ賣買又ハ仲立ヲ爲セントスルモノ

蠶絲業法關係法規

二 蠶種製造者ノ從業者ニシテ蠶種ノ行商ヲ爲サントスルモノ
 三 生絲製造者又ハ其ノ從業者ニシテ生絲製造工場以外ニ於テ自ラ生繭ノ買入ヲ爲サントスルモノ
 地方長官前項ノ免許ヲ爲シタルトキハ様式第二十號ニ依ル免許證ヲ交付スベシ
 第一項ノ免許ノ期間ハ三年以内トス但シ其ノ期間ハ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得
 第八十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ前條ノ免許ヲ受クルコトヲ得ズ
 一 蠶種又ハ繭ノ鑑定及取扱ニ關スル知識經驗ナキ者
 二 蠶絲業法又ハ同法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ處罰ヲ受ケタル後一年ヲ經過セザル者
 三 前二號ノ外地方長官ニ於テ不適當ト認ムル者
 地方長官必要ト認ムルトキハ前項第一號ノ知識經驗ニ付試験ヲ行フコトヲ得

前條ノ免許ヲ受ケタル者蠶絲業法又ハ同法ニ基キテ發スル命令又ハ處分ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害スル虞アリト認ムルトキハ地方長官ハ業務ヲ停止シ若ハ制限シ又ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得
 第八十七條 蠶種製造者其ノ製造シタル蠶種ノ行商ヲ爲サ

ントスルトキ又ハ桑苗ノ生産若ハ賣買ヲ業トスル者桑苗ノ行商ヲ爲サントスルトキハ様式第二十一號ニ依ル鑑札ヲ携帶スベシ桑苗ノ生産又ハ賣買ヲ業トスル者ノ從業者ニシテ桑苗ノ行商ヲ爲サントスルトキ亦同ジ
 前項ノ鑑札ハ住所地ヲ管轄スル地方長官之ヲ交付ス
 第八十八條 蠶種製造者又ハ第六條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者ハ蠶兒飼育場所、蠶種製造場所又ハ生繭ノ取扱場所ニ様式第二十二號ニ依ル標札ヲ掲グベシ
 第八十二條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者ハ桑苗ノ生産場所ニ様式第二十三號ニ依ル標柱ヲ建ツベシ
 第八十九條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ地區ハ道府縣ノ區域ニ依ルベシ但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラズ
 第九十條 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ設置ニ付テハ重要物産同業組合施行規則第三條乃至第十一條ノ規定ヲ準用シ同則第四十一條第一項、第二項及第四項ノ規定ヲ適用セズ但シ發起人ハ同業組合ノ代表者タルコトヲ要ス
 前項ノ發起人ノ數ハ五名以上タルコトヲ要セズ
 蠶絲業者ヲ以テ組織スル同業組合聯合會ノ定款ニハ地區及營業ノ種類ヲ記載スベシ

第九十一條 蠶絲業同業組合中央會設置ノ發起人ハ之ヲ組織スベキ同業組合聯合會及同業組合ノ代表者ニシテ其ノ數ハ十名以上タルコトヲ要ス

第九十二條 蠶絲業同業組合中央會ノ議員ノ定數及配當ハ農林大臣之ヲ告示ス

前項ノ告示アリタルトキハ一月以内ニ議員ヲ選舉シ之ト同時ニ同數ノ補缺議員ヲ選舉スベシ
 蠶絲業同業組合中央會ハ其ノ定款ニ於テ議員タルベキ者ノ資格ヲ定ムルコトヲ得

第九十三條 議員及補缺議員ノ選舉ハ同業組合聯合會又ハ同業組合ノ總會若ハ組合會ニ於テ投票ニ依リ之ヲ行フベシ

議員ニ缺員ヲ生ジタルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ補缺議員ヲ以テ之ヲ補充ス

議員若ハ補缺議員ノ任期滿了シタルトキ又ハ之ニ缺員ヲ生ジタルトキハ直ニ其ノ選舉ヲ行フベシ但シ任期滿了ノ場合ニハ其ノ前ニ、補缺議員缺員ノ場合ニハ其ノ後ニ於ケル最近ノ總會又ハ組合會ニ於テ之ガ選舉ヲ行フコトヲ得

選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トシ得票ノ數相同ジキトキハ年齢ニ依リ年齢相同ジキトキハ抽

蠶絲業法施行規則

籤ニ依リ之ヲ定ムベシ

第九十四條 選舉ヲ終リタルトキハ組長ハ選舉錄ヲ作り且當選者ニ當選ノ告知ヲ爲スベシ

前項ノ告知ヲ受ケタル者ハ七日以内ニ其ノ當選ノ諾否ヲ組長ニ届出ヅベシ

當選者當選ヲ承諾シタルトキハ組長ハ直ニ當選證書ヲ交付シ其ノ氏名ヲ地區内ニ公告スベシ但シ前條第三項但書ノ規定ニ依リ議員ノ任期滿了前ニ選舉ヲ行ヒタル場合ニ於テハ任期滿了後ニ於テ其ノ當選證書ヲ交付スベシ

前項ノ承諾アリタルトキハ選舉錄ノ贈本ヲ添へ之ヲ農林大臣ニ報告シ且其ノ氏名ヲ蠶絲業同業組合中央會ニ通知スベシ

第九十五條 當選ノ確定前議員ノ當選者其ノ當選ヲ辭シ又ハ議員タルベキ資格ヲ失ヒタルトキハ補缺議員ニ當選シタル者ヲ以テ議員ノ當選者トシ更ニ補缺議員ノ選舉ヲ行フベシ

第九十六條 蠶絲業同業組合中央會ノ議員、其ノ補缺議員及特別議員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ三年トス
 第九十三條第二項ノ規定ニ依リ補充シタル議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

議員ノ定數ニ異動ヲ生ジタル爲新ニ選出セラレタル議員

及其ノ補缺議員ハ他ノ議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス
農林大臣必要ト認ムルトキハ特別議員ノ任期ヲ伸縮スル
コトヲ得

第九十七條 蠶絲業同業組合中央會ニハ左ノ役員ヲ置クベ
シ

- 會長 一名
 - 副會長 若干名
 - 評議員 若干名
- 前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ他ノ役員ヲ置クコ
トヲ得

第九十八條 會長、副會長ハ議員及特別議員中ヨリ議員及
特別議員ニ於テ之ヲ選舉シ、評議員ハ議員ニ於テ其ノ三
分ノ二、特別議員ニ於テ其ノ三分ノ一ヲ五選シ農林大臣
ニ報告スベシ但シ必要アルトキハ會長及副會長ニ限リ議
員及特別議員ニ非ザル者ヨリ之ヲ選舉スルコトヲ得

第九十九條 會長ハ會務ヲ總理シ會ヲ代表ス
副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス
副會長ハ定款ノ定ムル所ニ依リ會長ノ擔任スル事務ノ一
分ヲ分掌スルコトヲ得

評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ及會務執行ノ狀況ヲ監査ス
評議員ハ他ノ役員ヲ兼ヌルコトヲ得ズ

第一百三條 府縣ノ蠶業試驗場又ハ第七十二條第一項若ハ第

七十四條ノ許可ヲ受ケタル學校、講習所又ハ試驗場等ハ
毎年四月三十日迄ニ前年ノ成績ヲ農林大臣ニ報告スベシ

第一百四條 地方長官ハ毎年五月三十一日迄ニ前年度ノ蠶業
取締事務成績ヲ農林大臣ニ報告スベシ

第一百五條 地方長官蠶絲業法及本則ノ施行ニ關スル規定ヲ
定メタルトキハ農林大臣ニ之ヲ報告スベシ之ヲ變更シタ
ルトキ亦同ジ

第一百六條 道府縣ハ蠶絲業法施行ニ關スル事務ヲ處理セシ
ムル爲蠶業取締所ヲ設クベシ

第一百七條 本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ蠶絲業
同業組合中央會ヨリ提出スルモノヲ除キ地方長官ヲ經由
スベシ

第一百八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又
ハ科料ニ處ス

- 一 第六條第一項、第二項、第十八條第四項、第二十條、
第二十二條第二項、第二十六條第二項、第三十一條第
一項、第二項、第三十二條第一項、第三十九條第一
項、第四十五條第二項、第四十六條、第四十七條第二
項、第四十八條、第五十一條第三項、第五十五條、第
五十九條、第六十條、第六十一條第二項、第三項、第

第一百條 重要物産同業組合法施行規則第三條第二項、第四
條乃至第六條、第八條乃至第十四條、第十六條乃至第二
十一條、第二十二條第二項、第四項、第二十三條乃至第
二十八條、第三十一條乃至第三十九條ノ規定ハ蠶絲業同
業組合中央會ニ付之ヲ準用ス但シ此ノ規定中地方長官ト
アルハ之ヲ農林大臣トス

第一百一條 蠶絲業法第三十五條第一項ノ規定ニ依リ物品ヲ
收去セントスルトキハ當該蠶種、繭、桑苗又ハ蠶絲類ノ
取扱ヲ爲ス者、其ノ從業者、同居者若ハ隣佑ニシテ成年
ニ達シタルモノノ立會ヲ以テ之ヲ爲スベシ

收去シタル物品ハ之ヲ容器ニ納メ又ハ結束ヲ爲シ之ニ封
緘ヲ施シ其ノ品名、物品ヲ收去セラレタル者ノ氏名又ハ
名稱並ニ收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏及立
會人之ニ署名捺印スベシ立會人署名捺印セズ又ハ署名捺
印スルコト能ハザルトキハ其ノ旨ヲ附記スベシ

第一百二條 蠶絲業法第三十五條第二項ノ規定ニ依リ當該官
吏吏員臨檢、搜索、尋問又ハ差押ヲ爲サントスルトキハ
様式第二十四號ニ依ル證票ヲ携帯スベシ

臨檢、搜索、尋問及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分
法施行規則第二條乃至第五條、第八條及第十二條ノ規定
ヲ準用ス

第六十二條、第六十三條第一項、第二項、第六十五條、

第七十一條、第八十一條、第八十三條第一項、第八十

四條又ハ第八十五條第一項ノ規定ニ違反シタル者

二 第三十條ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載ス
ベキ事項ニ付虛偽ノ記載ヲ爲シタル者

三 第三十一條第三項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

四 第六十三條第三項ノ規定ニ依リ準用セララルル第四十

六條第二項若ハ第三項ノ規定又ハ第六十四條第三項ノ

規定ニ依リ準用セララルル第四十七條第二項ノ規定ニ違

反シタル者

左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ科料ニ處ス、

一 第七條、第十六條、第十八條第三項、第十九條、第

二十四條、第二十五條、第六十七條、第六十八條、第

六十九條、第八十二條第一項、第八十七條第一項又ハ

第八十八條ノ規定ニ違反シタル者

二 第八十二條第二項ノ規定ニ依リ準用セララルル第七條

ノ規定ニ違反シタル者

第一百九條 蠶絲業法第四十八條第一項ノ規定ニ依リ地域ヲ
指定スルコト左ノ如シ

小笠原島
千 島

蠶絲業法關係法規

第一百十條 本則中府縣ノ蠶業試驗場トアルハ北海道ニ在リテハ北海道農事試驗場トス

附則

第一百一十條 本令ハ昭和四年法律第十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一百一十二條 從前ノ規定ニ依リ下付シタル蠶種製造ノ免許證ハ本令ニ依リ之ヲ交付シタルモノト看做ス

第一百一十三條 本令施行ノ際現ニ蠶種製造者タルモノ及其ノ相續人ニシテ引續キ業務ヲ承繼スルモノハ一年間ノ蠶種製造額十萬蛾ニ滿タザルノ故ヲ以テ其ノ蠶種製造ノ免許ヲ取消サルルコトナシ

第一百四十四條 本令施行ノ際現ニ蠶種製造ノ管理者タルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第一百五十五條 從前ノ規定ニ依リ學術研究ノ爲蠶種ノ製造、其ノ蠶兒ノ飼育及製造蠶種ノ配付又ハ蠶絲業法第四條第一項ノ適用免除ニ付引受ケタル許可ハ本令施行後ト雖仍其ノ效力ヲ有ス

第一百十六條 蠶種ノ臺紙ノ大サ、蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載スベキ事項、其ノ記載ノ方法及一容器ニ納ムベキ散卵ノ量ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ一年間仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

ヲ受ケタル者及其ノ相續人ニシテ引續キ其ノ業務ヲ承繼スルモノニ付之ヲ準用ス

附則(昭和六年七月十日農林省令第十八號附則)

本令ハ蠶絲業組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

様式

第一號



直徑一・五糎
肉色朱

蠶絲業法施行規則

三四

第一百七十七條 從前ノ規定ニ依リ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ押捺シタル検査證印又ハ封緘印ハ之ヲ本令ニ依リ押捺シタル検査合格證印又ハ封緘證印ト看做ス

第一百十八條 本令施行ノ際現ニ第八十五條第一項各號ノ一ニ該當スル者ハ同條ノ規定ニ拘ラズ本令施行ノ日ヨリ四月以内ハ仍從前ノ例ニ依リ其ノ業務ニ從事スルコトヲ得

第一百十九條 蠶絲業法第十四條ノ規定ハ本令施行前沖繩縣、伊豆七島、釧路國、根室國及北見國禮文郡ニ於テ製造シタル蠶種及其ノ蠶兒ヲ同地域内ニ於テ讓渡シ又ハ飼育スル場合ニ付テハ之ヲ適用セズ

第一百二十條 本令施行前前條ノ地域内ニ於テ蠶種製造用トシテ製造シタル蠶種ハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ同地域内ニ限リ蠶種製造ノ爲之ヲ用フルコトヲ得

第一百二十一條 本令施行ノ際現ニ第一百十九條ノ地域内ニ於テ蠶種ノ製造ヲ業トスル者本令施行ノ日ヨリ二月以内ニ蠶絲業法第五條ノ規定ニ依リ蠶種製造ノ免許ヲ出願シタルトキハ之ニ對スル處分アル迄仍從前ノ例ニ依リ其ノ業務ヲ營ムコトヲ得

第一百二十二條 第一號ノ規定ハ前項ノ出願ヲ爲シタル者ニ付テハ之ヲ適用セズ

第一百二十三條ノ規定ハ第一項ノ出願ヲ爲シ蠶種製造ノ免許

第二號

第 號	繭検査合格證
住 所	
氏 名(名稱)	
一	蠶兒飼育場所
二	掃立口ノ記號
三	化性、品種名及系統
四	繭色
五	繭形
六	種繭數量
七	一立ノ重量及顆數
八	上簇月日
年 月 日	右繭検査ニ合格シタルコトヲ證ス
	道府縣團

縱一〇糎
横一五糎

第五號

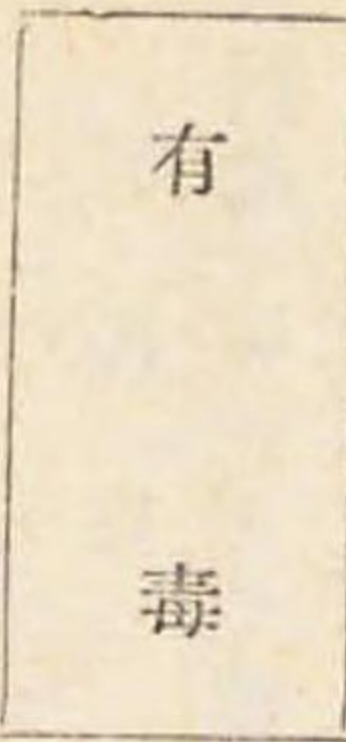


直徑一・五糧
肉色朱

備考

第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ在リテハ「道府縣」トアル箇所ニ當該蠶種業組合、同業組合、同業組合聯合會又ハ蠶種製造者ノ名稱又ハ氏名ヲ表ハシ肉色ハ青ヲ用フルコト

第六號



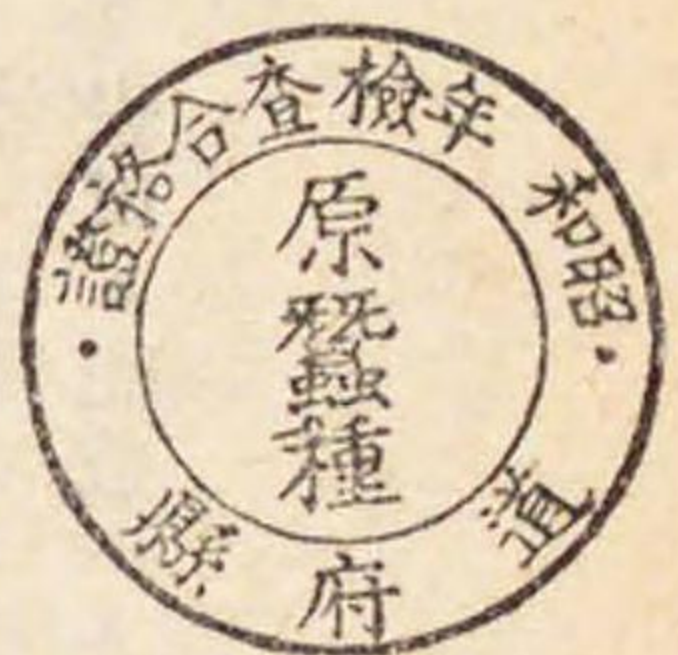
縱一糧
横〇・七糧
肉色黒

第七號



直徑一糧
肉色黒

第八號

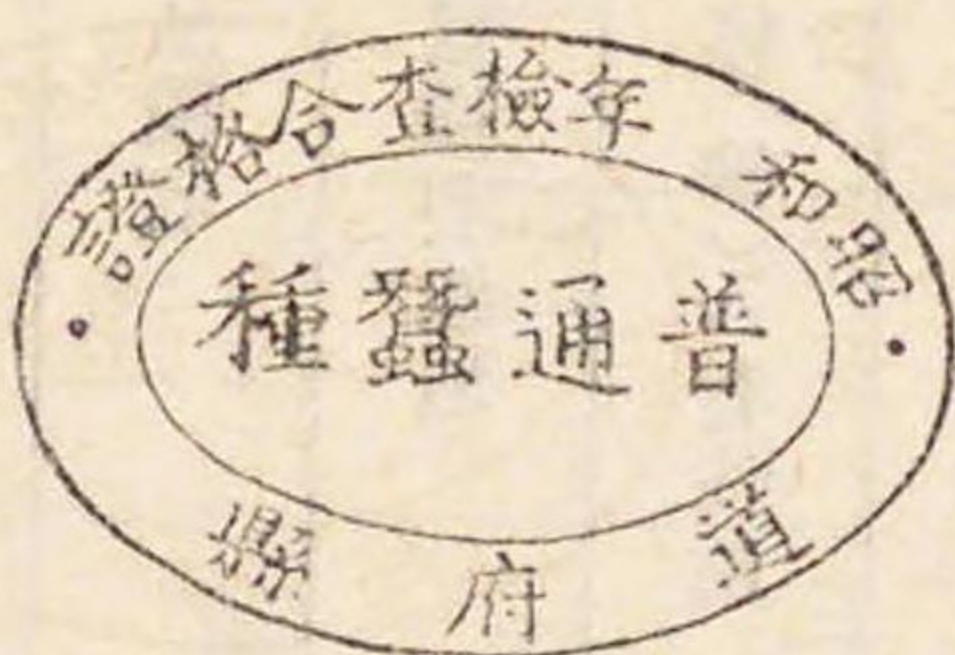


外圓
直徑二・五糧
肉色朱

備考

様式第五號備考ハ第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ付之ヲ準用ス

第九號



外圓
長徑二・五糧
短徑二糧
肉色朱

備考

様式第五號備考ハ第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ付之ヲ準用ス

第十號

第十號

第 號

散卵普通蠶種検査(散卵普通蠶種再検査)合格證明書

住所 氏 名(名稱)

- 一 蠶種製造場所
- 二 記號及番號
- 三 化性、品種名及系統
- 四 越年不越年ノ別
- 五 繭色
- 六 枚數
- 七 卵量

右散卵普通蠶種検査(散卵普通蠶種再検査)ニ合格シタルコトヲ證明ス

年 月 日

道府 縣團

縱一〇糧

横一五糧

第十一號



外圓
長徑二・五糧
短徑二糧
肉色朱

備考

様式第五號備考ハ第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ付之ヲ準用ス

第十二號



外圓
直徑二・五糧
肉色朱

第十三號



外圓 長徑二・五糧
短徑二糧
肉色朱

第十四號



直徑一・五糧
肉色朱

備考

樣式第五號備考ハ第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ付之ヲ準用ス

第十五號



模樣面 縱一・五糧
橫三糧
色合紅

備考

樣式第五號ノ備考ハ第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ使用スルモノニ付之ヲ準用ス但シ色合ハ青ヲ用フルコト

第十六號



長徑一糧
短徑〇・七糧
肉色朱

備考

第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ在リテハ肉色ハ青ヲ用フルコト

第十七號



縱二糧
橫一・五糧
肉色黑

備考

樣式第五號備考ハ第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ付之ヲ準用ス但シ肉色ハ黑ヲ用フルコト

第十八號

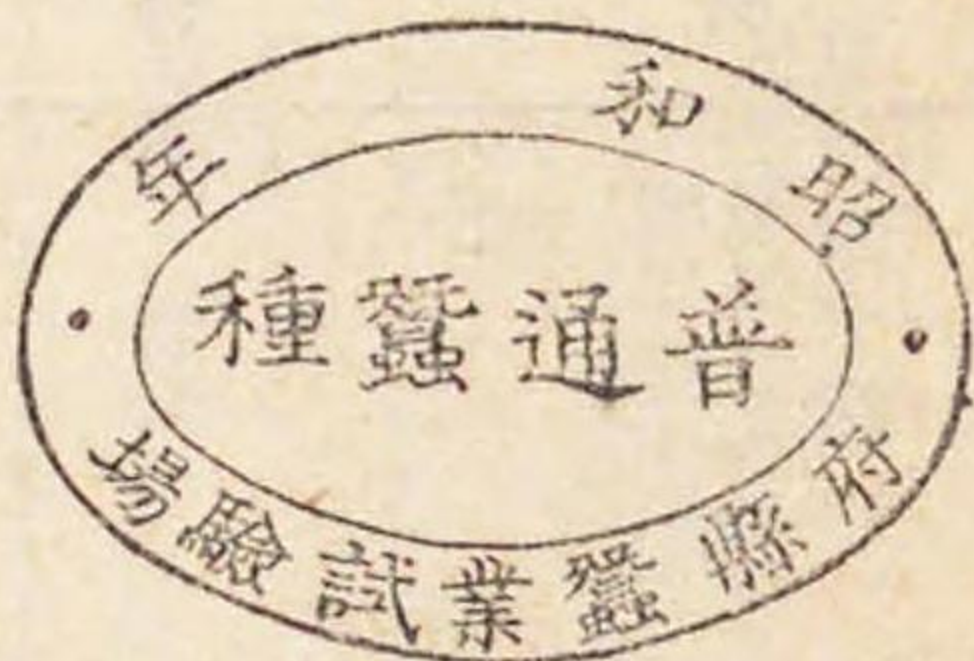


外圓 直徑二・五糧
肉色朱

備考

第七十四條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ在リテハ「府縣蠶業試驗場」トアル箇所ニ之ヲ押捺スル者ノ名稱ヲ表ハスコト

第十九號



外圓 長徑二・五糧
短徑二糧
肉色朱

備考

樣式第十八號備考ハ第七十四條ノ許可ヲ受ケタル者ノ押捺スルモノニ付之ヲ準用ス

第二十號

第 號	免 許 證	業 種
免許期間自 年 月 日	住 所	(右 雇 主 住 所 氏 名 (名 稱))
	縣 道 府 印	年 月 日 生

縱九
橫七

備考

- 一 業種ハ免許ヲ受ケタル業種例ヘバ「蠶種賣買」、「蠶種行商」、「生繭買入」等ト記載スルコト
- 二 免許證ノ裏面ニハ寫眞ヲ貼附スルコト

(從業者)

第 號	桑苗行商從業者之證
年 月 日	縣 道 府 印

縱九
橫六

住 所	住 所
氏 名	右 雇 主 住 所 氏 名 (名 稱)
年 月 日 生	

第二十一號

(業主)

第 號	蠶種行商(桑苗行商)之證
年 月 日	縣 道 府 印

縱九
橫六

住 所	住 所
氏 名	年 月 日 生

第二十二號

住 所	蠶兒飼育場所 (蠶種製造場所) (生繭取扱場所)
氏 名 (名 稱)	

縱四〇
橫一〇

住 所	所在 面積
氏 名 (名 稱)	

幅一〇
高サ地上ヨリ一二〇

第二十三號

第 號	蠶業取締官吏(吏員)證票
農 林 省 道 府 縣 印	

縱九
橫七

官 職	官 職
氏 名	

備考 所在ハ市町村、大字、字及地番ヲ記載スルコト

蠶業取締所規程

明治四十四年十月十六日農商務省令第三十一號
改正 大正元年十二月同第二十五號
改正 大正九年八月同第十八號

第一條 地方長官蠶業取締所ヲ設置セムトスルトキハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 蠶業取締所又ハ其ノ支所ハ道府縣内須要ノ地ニ之ヲ設ク但シ必要アル時期ニ限り其ノ出張所ヲ設クルコトヲ得

蠶業取締所、支所及出張所ノ管轄區域及開閉月日ハ地方長官之ヲ定ム

第三條 蠶業取締所ノ産業職員左ノ如シ

- 所長
 - 技師
 - 主事
 - 技手
 - 主事補
- 所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ但シ主事又ハ技手ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第四條 地方長官ハ蠶業取締所處務規程ヲ定ムヘシ

第五條 地方長官ハ蠶業取締所、支所又ハ出張所ノ位置、

上ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル攝氏二十四度以上ノ液ニ投入シ六十時間以上之ヲ放置スルコト

三 石灰水ヲ用フル場合ニ於テハ百分中十分ノ生石灰ヲ含有スル液ニ投入シ百十五時間以上之ヲ放置スルコト

四 乾燥ヲ行フ場合ニ於テハ攝氏七十二度以上ノ火熱又ハ蒸汽熱ヲ用ヒ生繭重量百ニ對シ四十以內ニ至ラシムルコト

第三條 蠶絲業法施行規則第十二條第一項ノ規定ニ依リテ爲ス蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防グニ足ル設備トシテハ少クトモ目張ヲ爲シ又ハ澁紙其ノ他緻密ナル目ノ敷物ヲ敷クベシ

第四條 蠶絲業法施行規則第十五條ノ規定ニ依ル蠶室及蠶具ノ消毒方法左ノ如シ

- 一 「フオルマリン」撒布消毒
 - 蠶室ニ在リテハ其ノ周圍ヲ密閉シ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ室ノ内面十平方メートルニ對シ百分中一分以上ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル液四百六十立方センチメートルノ量ヲ用ヒ噴霧器ニテ天井、四圍及床板ニ撒布シ撒布後十五時間以上室ヲ密閉シ置クベシ但シ充分ニ密閉シ難キ室、撒布面ノ粗雜ナル室又ハ室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上ニ保タシメ難

蠶業取締所規程 蠶絲業法施行心得

管轄區域、開閉月日、所長又ハ支所長ノ命免ヲ公示スヘシ

附 則
本令ハ蠶絲業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（明治四十五年一月一日ヨリ施行）

蠶絲業法施行心得

改正 大正七年一月十二日農商務省告示第十五號
改正 昭和五年二月農林省告示第六十七號

第一條 蠶絲業法施行規則第九條ノ規定ニ依リ蠶蛆又ハ其ノ蛹若ハ蠶ヲ熱殺シ又ハ水殺スル方法左ノ如シ

- 一 熱殺ハ熱湯中ニ浸漬シ、攝氏百度以上ノ蒸汽ニ接觸セシメ、攝氏七十二度以上ノ乾熱ニ十分間以上接觸セシメ又ハ燒棄スルコト
- 二 水殺ハ水中ニ蠶蛆ハ七十時間以上、其ノ蛹ハ百二十時間以上浸漬スルコト

第二條 蠶絲業法施行規則第十條ノ規定ニ依リ蠶兒、蠶蛹、蠶蛾、其ノ屍體、死籠繭又ハ薄皮繭ヲ處理スル方法左ノ如シ

- 一 熱湯ヲ用フル場合ニ於テハ其ノ中ニ一時間以上浸漬シ又ハ五分間以上煮沸スルコト
- 二 「フオルマリン」ヲ用フル場合ニ於テハ百分中一分以

キ室ニ在リテハ其ノ液ノ量ヲ適宜増加スベシ

蠶具ニ在リテハ攝氏二十四度以上ノ室内ニ於テ百分中一分以上ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル液ヲ蠶網、蠶筵及蠶箔ノ類ハ一枚毎ニ、蠶架ノ類ハ一箇毎ニ表裏全面ノ潤フ迄撒布シ順次堆積シ菰又ハ筵等ヲ以テ之ヲ覆ヒ十五時間以上放置スベシ

二 蒸汽消毒

桶又ハ箱等ニ蠶具ヲ容レ之ニ蒸汽ヲ通ジ三十分間以上攝氏百度以上ノ溫度ヲ保タシムベシ但シ蠶具ニ百分中一分ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル液ヲ撒布シタルトキハ二十分間以上、千分中五分ノ蟻酸「アルデヒド」ヲ含有スル液ヲ撒布シタルトキハ三十分間以上攝氏六十度以上ノ溫度ヲ保タシムルヲ以テ足ル

三 蟻酸「アルデヒド」瓦斯消毒

室内ノ溫度ヲ攝氏二十四度以上、濕度ヲ七十五「パーセント」以上ト爲シ室ノ立方積二十七立方メートルニ付蠶箔二百枚以下及厚筵四百枚（皆川筵ハ二枚、蠶網ハ五枚ヲ以テ厚筵一枚ト看做ス）以下ヲ納メ二百二十グラム以上ノ瓦斯ヲ發散セシメ六時間以上室ヲ密閉シ置クベシ

前項ノ場合ニ於テ蠶具ヲ重積スルトキハ厚筵ハ二枚、

蠶絲業法關係法規

四 昇永水消毒
皆川庭ハ四枚、蠶網ハ十枚ヲ以テ限度トスベシ

蠶室ニ在リテハ千分中五分ノ昇永及十分ノ鹽酸又ハ五分ノ食鹽ヲ含有スル液ヲ雜巾ノ類ニ含マシメテ天井、四圍及床板ヲ擦拭シ又ハ噴霧器若ハ如露等ヲ以テ撒布シ全面ヲ充分潤ハシメ三十分間以上之ヲ放置スベシ
蠶網、蠶庭及蠶箔ノ類ニ在リテハ千分中二分ノ昇永及十分ノ鹽酸又ハ二分ノ食鹽ヲ含有スル液ニ之ヲ浸漬シ三十分間以上濕潤ノ状態ニ置クベシ
蠶架其ノ他浸漬シ難キ蠶具ニ在リテハ蠶室消毒ノ方法ニ準ズベシ

五 「クロール」石灰水消毒

百分中五分ノ「クロール」石灰ヲ加ヘタル水ヲ數時間放置シタル後其ノ上澄液ヲ用ヒ蠶室ノ昇永水消毒ノ方法ニ準ジ消毒ヲ行フベシ但シ「クロール」石灰ハ百分中二十五分以上ノ有效鹽素ヲ含有スルモノタルコトヲ要ス

第五條 蠶絲業法施行規則ニ依ル繭色ハ黃、金黃、綠、白、筐及紅ノ六種ノ區別ニ依ルベシ
蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載スベキ繭色ハ其ノ蠶種ヨリ産出スル繭ニ依ルベシ

第六條 蠶量、卵量及臺紙ノ重量ハグラムヲ單位トシ單位未滿ノ數ハ之ヲ四拾五入スベシ
繭ノ數量ハキログラムヲ單位トスベシ但シ一リツトル以下ノ繭ノ數量ハグラムヲ單位トスベシ

第七條 蠶絲業法施行規則ニ依ル品種名ハ漢字又ハ平假名ニ依リ之ヲ記載スベシ但シ慣用ノ文字アルモノハ之ニ依リ記載スベシ

移入シ又ハ輸入シタル蠶種ノ品種名ハ原品種名ヲ翻譯スルコトヲ得ルモノニ在リテハ其ノ譯語ヲ漢字ニ依リ、原品種名ヲ翻譯スルコト能ハザルモノニ在リテハ原品種名ヲ片假名ニ依リ記載スベシ但シ原品種名ニ漢字又ハA、B、C 其ノ他ノ符號ヲ用フルモノニ在リテハ其ノ儘之ヲ記載スベシ

第八條 蠶絲業法施行規則ニ依ル系統ハ左ノ例ニ依リ之ヲ記載スベシ

- 一 純粹種ニ在リテハ日本種、支那種、歐羅巴種
- 二 固定種ニシテ系統ノ明カナルモノニ在リテハ日支固定種、支支固定種、支歐固定種、日支歐固定種等、其ノ明カナラザルモノニ在リテハ日本種系固定種、支那種系固定種、歐羅巴種系固定種
- 三 交雜種ニ在リテハ日日交雜種、支支交雜種、日支交

雜種、支歐交雜種等
第九條 蠶絲業法施行規則第六十八條第一項ノ規定ニ依リ報告スベキ検査成績ハ別記様式ニ依リ之ヲ作成スベシ
第十條 蠶絲業法施行規則第八十四條ノ害菌トハ紫紋羽病菌、白紋羽病菌及根朽病菌ヲ、害蟲トハ桑介殼蟲ヲ、著シク發育ノ不良ナル桑苗トハ著シク根根不良ナルモノ及實生苗ニ在リテハ幹長二十五センチメートル、其ノ他ノ苗ニ在リテハ幹長六十センチメートルニ達セザルモノヲ謂フ

(別記)

様式

第一表 繭検査成績

	掃立口數		繭數	
	合格	不合格	合格	不合格
純粹種				
固定種				
交雜種				
合計				

第二表 蠶種検査成績
第一號 原蠶種

蠶絲業法施行心得

合計	純粹種			固定種			交雜種		
	越年	不越年	計	越年	不越年	計	越年	不越年	計

備考

本表ハ框製、袋製其ノ他ノ一蛾別製ノ製造方法別ニ之ヲ作成スベシ

第二號 普通蠶種
(甲) 歩合検査

合計	掃立口數		蠶種數	
	合格	不合格	合格	不合格

蠶絲業法關係法規

備考

- 一 蠶種數量ノ欄ニハ卵量及蛾數ヲ併記スベシ
- 二 本表ハ平附及散卵ノ製造方法別ニ之ヲ作成スベシ

(乙) 再検査

合計	交雜種	固定種	純粹種	合格	不合格	計
				蛾瓦	蛾瓦	蛾瓦

備考

(甲) 表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス

蠶絲業法施行事務取扱規程

大正六年十二月二十七日農商務省訓令第二十一號
 改正 大正十年四月同第七號
 改正 昭和五年三月農林省訓令第三號

第一條 蠶絲業法施行ニ關スル事務ニシテ他ノ地方長官ノ事務ニ關係ヲ有スル場合ニ於テハ適當ナル方法ヲ以テ相互ニ協定又ハ通知ヲ爲スベシ

俵形、橢圓形、卵形、紡錘形、球形等ノ區別ニ依リ且縊目ノ深淺、形ノ大小又ハ長短等ヲ記載スベシ

第四條 原蠶種ノ母蛾ニ付顯微鏡検査ヲ行フ場合ニ於テハ一蛾毎ニ二枚ノ標本ヲ調製セシメ二人ノ吏員ヲシテ各一枚ヲ鏡檢セシムベシ

第五條 原蠶種ト爲サントスル移入又ハ輸入蠶種ニシテ一蛾毎ニ卵ト對照スルコト能ハザルモノノ母蛾ニ付顯微鏡検査ヲ行フ場合ニ於テハ一蛾毎ニ一鏡面ヲ鏡檢セシムベシ

第六條 母蛾又ハ卵ニ付顯微鏡検査ヲ行フ場合ニ於テ微粒子ヲ發見セザルモノト決定スルニハ一鏡面毎ニ五視野以上ヲ鏡檢セシムベシ

第七條 再検査ヲ行フ場合ニ於テ臺紙又ハ産卵用紙布一枚ニ付新ニ十蛾以上ノ母蛾ヲ採ルコト能ハザルトキハ蠶絲業法施行規則第四十二條ノ適用ニ付テハ其ノ蠶種ノ母蛾ニシテ歩合検査ニ用ヒタルモノヲ加フルコトヲ得此ノ場合ニ於テ歩合検査ニ用ヒタル母蛾ニ微粒子ヲ發見シタルモノアルトキハ必ズ之ヲ加ヘ不合格トシテ取扱フベシ

第八條 蠶絲業法施行規則第四十四條第三項ノ移入又ハ輸入原蠶種検査合格證印ヲ押捺スベキ蠶種ハ交雜種タラザルコトヲ要ス

蠶絲業法施行事務取扱規程

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ蠶絲業法施行規則第二條乃至第四條ノ適用ニ付テハ之ヲ蠶絲業ニ關スル知識經驗アル者トシテ取扱フベシ

一 實業専門學校若ハ之ト同等以上ノ學校又ハ元農商務省蠶業講習所本科ノ卒業生ニシテ養蠶ニ關スル學科目及實習ヲ修メタルモノ

二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ一年以上蠶種製造ノ實務ニ從事シタルモノ

(イ) 尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年若ハ高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年ノ實業學校又ハ之ト同等以上ノ實業學校ノ卒業生ニシテ養蠶ニ關スル學科(養蠶科又ハ蠶業科等)ヲ修メタルモノ

(ロ) 元農商務省蠶業講習所ノ養蠶別科、東京高等蠶絲學校ノ養蠶實科又ハ京都高等蠶業學校ノ蠶業實科(大正十三年以前ノ別科ヲ含ム)ヲ卒業シタル者

三 地方長官ノ適當ト認ムル學校、試驗場又ハ講習所等ニ於テ一年以上ノ期間ニ依リ養蠶ニ關スル學科目及實習ヲ修メタル者ニシテ二年以上蠶種製造ノ實務ニ從事シタルモノ

第三條 滿検査合格證又ハ種滿證明書ニ記載スベキ繭形ハ

第九條 蠶絲業法施行規則第四百四條ノ規定ニ依リ報告スベキ蠶業取締事務成績ハ別記様式ニ依リ之ヲ作成スベシ但シ沖繩縣ヲ除クノ外昭和四年度分ニ限り従前ノ例ニ依リ之ヲ作成スベシ

第十條 蠶絲業法第三十七條第一項ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク其ノ顛末ヲ報告スベシ

第十一條 蠶業取締所ニハ蠶種製造者臺帳、生繭取扱者臺帳、蠶種賣買仲立行商免許臺帳、生繭賣買仲立買入免許臺帳、繭検査臺帳、原蠶種検査臺帳、普通蠶種歩合検査臺帳、普通蠶種再検査臺帳、移輸入蠶種検査臺帳、桑苗生産者臺帳、蠶種行商者臺帳及桑苗行商者臺帳ヲ備ヘ置クベシ

(別記) 様式

第一表 蠶種製造者數

原蠶種製造者	實數	春蠶期	夏秋蠶期
普通蠶種製造者	實數		
實數			

蠶絲業法關係法規

第二表 自家用原蠶種ノ検査ヲ爲ス者ノ數

蠶絲業法施行規則第五十一條第一項ノ許可ヲ受ケタル者	同業組合聯合會
	同業組合
同則第五十一條第二項ノ許可ヲ受ケタル者	

第三表 原蠶種掃立數量

合計	交雜種	固定種	純粹種	道府縣	蠶種製移入及	蠶場製造者製蠶輸入原其ノ他	蠶種	蠶量
				蠶場製造者製蠶				

備考

蛾數明カナラザルモノニ在リテハ推定ニ依リ之ヲ記載スベシ

第四表 繭検査成績

合計	交雜種	固定種	純粹種	掃立口數	繭數
				合格	

五〇

第五表 蠶種検査成績

合計	交雜種	固定種	純粹種	合格	不合格	其ノ他	計

第一號 原蠶種

備考

本表ハ框製、袋製其ノ他ノ一蛾別製ノ製造方法別ニ之ヲ作成スベシ

第二號 普通蠶種

(甲) 歩合検査

合計	交雜種	固定種	純粹種	掃立口數	蠶種數量
				合格	

備考

一 蠶種數量ノ欄ニハ卵量及蛾數ヲ併記スベシ
二 本表ハ平附及散卵ノ製造方法別ニ之ヲ作成スベシ

(乙) 再検査

蠶絲業法施行事務取扱規程

備考

(甲) 表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス
(丙) 越年不越年別

合計	交雜種	固定種	純粹種	合格	不合格	計
				越年		

合計	交雜種	固定種	純粹種	合格	不合格	計	附散卵

五一

蠶絲業法關係法規

備考

本表ハ歩合検査及再検査ヲ通ジタル成績ヲ記載シ歩合検査ニ於テ不合格トナリタルモノニシテ再検査ヲ受ケザルモノハ之ヲ不合格中ニ記載スベシ

(丁) 春蠶用夏秋蠶用別

合計	純粹種		固定種		交雜種		合計	平		附		散		卵
	春蠶用	夏秋蠶用	春蠶用	夏秋蠶用	春蠶用	夏秋蠶用		合格	不合格	合格	不合格	合格	不合格	

備考

(丙) 表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス

(戊) 白繭種黃繭種別

合計	純粹種		固定種		交雜種		合計	白繭種		黃繭種	
	春蠶用	夏秋蠶用	春蠶用	夏秋蠶用	春蠶用	夏秋蠶用		合格	不合格	合格	不合格

第七表 移入又ハ輸入蠶種検査成績

第一號 原蠶種

(甲) 検査ヲ請求シタルモノノ品種名及數量

合計	品種名	製造地	數量	
			合格	不合格

備考

數量欄ニハ蛾數明カナルモノニ在リテハ蛾數ヲ、蛾數明カナルモノニ在リテハ卵量ヲ、蛾數卵量共ニ明カナラザルモノニ在リテハ推定ニ依リ蛾數ヲ記載スベシ

(乙) 母蛾又ハ卵ニ付行フ検査

合計	製造地	母蛾ニ付行フ検査		卵ニ付行フ検査	
		合格	不合格	合格	不合格

蠶絲業法施行事務取扱規程

備考

一 白繭種トハ白色又ハ笹色ノ繭ヲ營ム蠶ノ種類ヲ謂ヒ黃繭種トハ黄色、金黄色、紅色又ハ綠色ノ繭ヲ營ム蠶ノ種類ヲ謂フ

二 (丙) 表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス

第六表 蠶種ノ移入者及輸入者ノ數

實數	普通蠶種	原蠶種	移入者		輸入者	
			合格	不合格	合格	不合格

備考

(甲) 表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス

(丙) 官署又ハ公署ノ證明ニ付行フ検査

合計	製造地	合格		不合格		計
		合格	不合格	合格	不合格	

備考

(甲) 表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス

第二號 普通蠶種

(甲) 検査ヲ請求シタルモノノ品種名及數量

合計	品種名	製造地	數量	
			合格	不合格

備考

數量欄ニハ卵量明カナルモノニ在リテハ卵量ヲ、卵

蠶絲業法關係法規

量明カナラザルモノニ在リテハ蛾數ヲ、卵量蛾數共ニ明カナラザルモノニ在リテハ推定ニ依リ卵量ヲ記載スベシ

(乙) 母蛾又ハ卵ニ付行フ検査

製造地	母蛾ニ付行フ検査		卵ニ付行フ検査	
	合格	不合格	合格	不合格
	第 互	第 互	第 互	第 互
合計				

備考 (甲)表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス

(丙) 官署又ハ公署ノ證明ニ付行フ検査

製造地	合格		不合格	
	第 互	第 互	第 互	第 互
合計				

備考 (甲)表備考ハ本表ニ付之ヲ準用ス

第八表 検査合格原蠶種品別數量

(移入シ又ハ輸入シタルモノヲ含ム)

品 種 名	系 統	數 量
		第 互

備考

本表ハ一化性、二化性及多化性別ニ之ヲ作成スベシ

第九表 生繭取扱者及取扱場所數

取扱場所	業 種 別					
	生絲製造	眞綿製造	殺蛹乾繭	生繭賣買	生繭仲立	生繭保管
取扱者						
合計						

備考

二以上ノ業種ヲ兼ヌル者ニ在リテハ其ノ主タル業種ノ欄ニ記載スベシ

第十表 蠶種ノ行商ヲ爲ス者及蠶種ノ賣買又ハ仲立ヲ爲ス者ノ數

蠶種ノ行商ヲ爲ス者	業 主	從 業 者	計

第十二表 桑苗ノ行商ヲ爲ス者ノ數

生産者	面 積
實生	アール
接木	アール
代出	アール
取木	アール
其ノ他	アール
計	アール

第十三表 桑苗生産者數及仕立法別苗圃面積

(蠶絲業法施行規則第八十二條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタルモノ)

第十四表 蠶業取締所ノ吏員數

蠶業取締吏員	農 林		地 方 農 林		地 方 農 林	
	常 時	臨 時	主 事	技 師	主 事	技 師
蠶種検査吏員						
延實數						
延實數						

第十一表 生繭ノ賣買又ハ仲立ヲ爲ス者及生繭ノ買入ヲ爲ス者ノ數

生繭ノ賣買又ハ仲立ヲ爲ス者	業 主		從 業 者		計
	業 主	從 業 者	業 主	從 業 者	
合計					

蠶種ノ行商ヲ爲ス者	業 主		從 業 者		計
	業 主	從 業 者	業 主	從 業 者	
合計					

蠶絲業法施行規則第八十五條ノ規定ニ依リ免許ヲ受ケタル者

同則第八十七條ノ規定ニ依リ鑑札ノ交付ヲ受ケタル者

蠶絲業法施行事務取扱ニ關スル件

昭和五年三月二十七日附蠶
局第九一號蠶絲局長通牒

三月二十七日附蠶第九〇一號ヲ以テ大正七年農第一、二、九號内訓蠶絲業法施行事務ニ關スル件廢止相成候旨及通牒候處右ハ大正六年農商務省訓令第二十一號蠶絲業法施行事務取扱規程及前記内訓中重要ナル事項ト認メラルモノヲ昭和五年農林省訓令第三號蠶絲業法施行事務取扱規程ニ一括制定セラレタル結果ニ有之候條同規程ニ規定セザル事務ニ關シテハ左記ニ依リ御取扱相成様致度此段及通牒候也

記

第一 蠶絲業法施行規則第八條ノ許可ハ相續人カ同則第二條各號ノ一ニ該當セサル場合ニ之ヲ爲スコト但シ同則施行ノ際現ニ蠶種製造者タルモノノ相續人カ引續キ業務ヲ承繼セムトスル場合ニ於テハ一年間ノ蠶種製造額概定數十萬蛾以上タルコトヲ要セス
第二 蠶絲業法施行規則第十八條第二項ノ規定ニ依ル掃立口ノ合併又ハ分割ハ蠶種ノ素質改良ニ效果アリト認ムル場合及検査ノ迅速且確實ヲ期スル爲必要アリト認ムル場合ニ限り之ヲ爲スコト

第三 蠶絲業法施行規則第二十二條第二項但書ノ許可ハ検査ノ進捗ヲ圖ル爲又ハ種繭ノ保護若ハ蠶種ノ製造ノ爲必要ニシテ且弊害ナシト認ムル場合ニ之ヲ爲スコト
第四 蠶絲業法施行規則第二十四條第一項及第三項ノ規定ニ依リ繭検査合格證又ハ種繭證明書ノ裏書ヲ爲ス場合ハ讓渡シタル種繭ノ數量及年月日、讓受人ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スルコト
第五 蠶絲業法施行規則第三十一條第一項但書ノ許可ヲ爲シ又ハ同條第三項ノ變更ヲ命セムトスル場合ニ於テハ蠶業試驗場其ノ他適當ナル機關ニ於テ其ノ品種ニ付必要ナル調査ヲ行ハシムルコト但シ明カニ其ノ性狀ヲ認識スルコトヲ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第六 蠶絲業法施行規則第三十七條但書ノ許可ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ之ヲ爲スコト
一 蠶絲業法施行規則第五十條第一項ノ許可ヲ受ケタル同業組合又ハ同業組合聯合會繭ノ検査ヲ行ヒタル後蠶種ノ検査ヲ廢止シ又ハ天災其ノ他不可抗力ノ事由ニ因リ蠶種ノ検査ヲ行フコトヲ得サルニ至リタル爲其ノ組合員又ハ所屬組合ノ組合員ヨリ蠶種検査ノ申請アリタルトキ
二 蠶絲業法施行規則第五十條第一項ノ許可ヲ受ケタル

同業組合又ハ同業組合聯合會ノ組合員又ハ所屬組合ノ組合員當該同業組合又ハ同業組合聯合會ニ付繭ノ検査ヲ受ケタル後天災其ノ他不可抗力ノ事由ニ因リ蠶種ノ製造ヲ行フコトヲ得サルニ至リタル爲繭ノ検査ヲ行フコトヲ得サルニ至リタル爲繭ノ検査ニ合格シタル種繭ヨリ製造シタル蠶種ニ付蠶種検査ノ申請アリタルトキ
三 蠶絲業法施行規則第五十條第二項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者繭ノ検査ヲ行ヒタル後天災其ノ他不可抗力ノ事由ニ因リ蠶種ノ検査ヲ行フコトヲ得サルニ至リタル爲繭ノ検査ヲ行フコトヲ得サルニ至リタル爲繭ノ検査ニ合格シタル種繭ヨリ製造シタル蠶種ニ付蠶種検査ヲ申請シタルトキ
四 蠶絲業法施行規則第五十條第二項ノ許可ヲ受ケタル蠶種製造者繭ノ検査ヲ行ヒタル後天災其ノ他不可抗力ノ事由ニ因リ蠶種ノ製造又ハ蠶種ノ検査ヲ行フコトヲ得サルニ至リタル爲繭ノ検査ニ合格シタル種繭ヲ蠶種製造者ニ讓渡シタル場合ニ於テ讓受人ヨリ其ノ讓受ケタル種繭ヨリ製造シタル蠶種ニ付蠶種検査ノ申請アリタルトキ
第七 蠶絲業法施行規則第五十一條ノ許可ヲ爲シタルト

蠶絲業法施行事務取扱ニ關スル件

蠶絲業法關係法規

(乙) 普通蠶種

品 種 名	化 性	越 年、 不 越 年ノ別	系 統	繭 色	製 造 數 量	
					合 格	不 合 格
合 計					五 號	五 號

第三號 蠶種配付成績

品 種 名	化 性	越 年、 不 越 年ノ別	配 付 數 量	
			原 蠶 種	普 通 蠶 種
合 計			五 號	五 號

蠶絲業法施行規則第七十四條ノ
專任職員ノ資格並同則第三百三條
ノ成績報告ニ關スル件

昭和五年三月三十一日附蠶
局第九四號蠶絲局長通牒
從來ノ蠶絲業法施行規則第七十四條ノ專任職員ノ資格ニ關
シテハ曩ニ廢止セラレタル大正七年農第一、二一九號內訓

蠶絲業法施行事務ニ關スル件第八條ノ規定ニ依リ取扱致居
候處今後ニ於テモ右ト同様ニ取扱致度尙同則第七十二條及
第七十四條ノ許可ヲ受ケタル者ノ同則第三百三條ノ規定ニ依
リ報告スヘキ成績ハ別途及通牒候蠶業試驗場成績報告ノ様
式ニ依ラシムル様致度候條可然御取計相成度此段及通牒候
也
追而昭和四年度ノ成績ハ從前ノ例ニ依リ作成スル様致度

尙同則第七十二條ノ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ様式中
第一號及第二號ノミニ付之ヲ作成シ且昭和五年度ノ成績
ヨリ報告セシムル様致度申添候

文部省直轄學校ヨリ配付スヘキ
蠶種ノ件

大正七年三月九日附農第二六七
二號文部大臣宛農商務大臣通牒
貴省直轄農蠶ニ關スル學校ニシテ學術研究ノ爲蠶種ノ製造
配付ヲ爲サトスル場合又ハ蠶絲業法第四條第一項ノ費用
ヲ免レムトスル場合ニハ從來許可ノ手續ヲ要シ候處今回蠶

絲業法ノ改正ニ伴ヒ同法施行規則ヲ改正シ總テ之ヲ要セサ
ルコトニ相定メ又其ノ配付蠶種ハ同法施行規則第七十一條
ノ規定ニ依リ之ヲ原蠶種又ハ普通蠶種ト指定致シ候ニ就テ
ハ之カ製造及檢査ノ方法ハ原蠶種ト爲スヘキモノニ在リテ
ハ同法施行規則中原蠶種ニ關スル規定ニ、普通蠶種ト爲ス
ヘキモノニ在リテハ普通蠶種ニ關スル規定ニ準據セシメ且
之ニ押捺スヘキ證印ハ原蠶種ハ様式第十九號、普通蠶種ハ
様式第二十號ニ準セシメラレ候様訓令相成尙配付蠶種ニ關
シ前年ニ於ケル事項ヲ左記様式ニ依リ毎年三月三十一日迄
ニ本大臣ニ報告セシメラレ度此段及通牒候也

大正 年配付蠶種ニ關スル成績表

化 性	品 種 名	系 統	繭 色	掃 立 蠶 數	掃 立 蠶 量	所 要 繭 額		製 造 額	
						繭 其 他 計	原 蠶 種 計	普 通 蠶 種 計	原 蠶 種 計
計				蠶	蠶	合	合	合	合

備考

一 移入又ハ輸入蠶種ニシテ蛾數ヲ知リ難キモノハ卵量ニ依リ推定シタル蛾數ヲ用ウヘシ
蠶絲業法施行規則第七十四條ノ專任職員ノ資格並同則第三百三條ノ
成績報告ニ關スル件 文部省直轄學校ヨリ配付スヘキ蠶種ノ件

- 二 一蛾別飼育ヲ爲シタルモノニシテ蟻量ヲ知り蟻キモノハ蛾數ニ依リ推定シタル蟻量ヲ用ウヘシ
- 三 普通蠶種ハ枚數ト蛾數トヲ併記スヘシ
- 四 所要繭額及蠶種製造額ハ掃立蟻量ニ依ルモノト購入種繭ニ依ルモノトニ分チ別行ニ記載スヘシ

蠶絲業法施行ニ關スル吏員ノ件

明治四十四年十一月十四日農第一六七三六號內訓
改正 大正九年八月農第一一四九九號內訓

- 第一 地方待遇職員令第五條第四號ニ依ル職員ハ左ノ資格ヲ有スル者ヨリ任用スヘシ
 - 一 地方長官ノ相當ト認ムル學校、講習所、製造所又ハ試驗場等ニ於テ一年以上ノ期間ニ依リ蠶體病理、蠶體生理、蠶體解剖、養蠶法ノ學科、養蠶及蠶病検査ノ實習ヲ修得シ其ノ證書ヲ有スル者
 - 二 蠶種検査員、蠶病豫防吏員又ハ蠶業取締吏員ノ職ニ在リタル者
- 第二 蠶絲業法第二十二條ノ規定ニ依リ設置シタル吏員ニシテ産業職員ノ待遇ヲ受ケサル者ハ蠶業取締吏員及蠶種検査吏員トス
- 第三 蠶業取締吏員ニハ臨檢、検査及原蠶種ノ検査其ノ他ノ事務ヲ執ラシメ蠶種検査吏員ニハ專ラ普通蠶種ノ検査ノミニ從事セシムヘシ但シ顯微鏡検査ニ熟練ナル蠶種検査員ヲ待遇官吏ニ優遇スルノ途ヲ設ケタルモノニシテ蠶業取締所ノ職員ヲ悉ク第三條ノ産業職員ニ改メシムルノ趣旨ニハ無之尤モ地方待遇職員令ニ依ル資格ヲ有シ常置ノ要アル者ハ經費ノ許ス限リ産業職員ト爲スハ至當ノコトト被考候ヘ共經費其ノ他ノ關係モ可有之ニ付蠶絲業法第二十二條ノ規定ニ依リ検査及蠶病豫防ノ事務ニ從事セシムヘキ吏員ハ右産業職員ノ外蠶業取締所ニ所屬セシムル趣旨ニ有之候條御承知相成度此段及通牒候也

蠶絲業法施行ニ關スル吏員設置ノ件

大正九年八月十七日附農局
第一三二七號農務局長通牒

- 今般蠶業取締所規程中改正相成候處右ハ從來ノ蠶業取締吏及通牒候也
- 蠶絲業法施行規則第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ蠶種ニ關スル検査ニ從事スル者及蠶種検査ノ管理者ノ資格ニ關スル件
- 昭和五年一月十一日農林省告示第五號

員ヲ待遇官吏ニ優遇スルノ途ヲ設ケタルモノニシテ蠶業取締所ノ職員ヲ悉ク第三條ノ産業職員ニ改メシムルノ趣旨ニハ無之尤モ地方待遇職員令ニ依ル資格ヲ有シ常置ノ要アル者ハ經費ノ許ス限リ産業職員ト爲スハ至當ノコトト被考候ヘ共經費其ノ他ノ關係モ可有之ニ付蠶絲業法第二十二條ノ規定ニ依リ検査及蠶病豫防ノ事務ニ從事セシムヘキ吏員ハ右産業職員ノ外蠶業取締所ニ所屬セシムル趣旨ニ有之候條御承知相成度此段及通牒候也

追テ蠶絲業法施行ノ吏員ニ關スル内訓ハ不日改正セラルル筈ニ有之爲念申添候

蠶病豫防事務ノ爲地方ニ配置シタル技師及技手ノ件

大正九年八月十九日附農局
第一三五五號農務局長通牒

從來蠶病豫防事務ノ爲地方ニ配置セラレタル技師又ハ技手ハ蠶業取締所規程改正ノ結果産業技師又ハ産業技手ト爲スニ非サレハ蠶業取締所長ト爲スヲ得サルヤノ件ニ付問合セノ向モ有之候處右國庫支辨ノ官吏ハ當然蠶業取締所長又ハ其ノ職員ト爲スヲ得ル義ニ有之候條御承知相成度爲念此段

- 蠶絲業法 蠶絲業法 蠶病豫防事務 蠶絲業法施行規則第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ蠶種ニ關スル検査ニ從事スル者及蠶種検査ノ管理者ノ資格ニ關スル件
- 蠶絲業法 蠶絲業法 蠶病豫防事務 蠶絲業法施行規則第五十條又ハ第五十一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ蠶種ニ關スル検査ニ從事スル者及蠶種検査ノ管理者ノ資格ニ關スル件

蠶絲業法關係法規

- (イ) 前號(イ)乃至(ニ)ニ該當スル者
 (ロ) 明治四十一年農商務省令第一號蠶病豫防吏員檢定試驗規則ニ依リ試驗ヲ受ケ其ノ合格證書ヲ有スル者
 (ハ) 高等小學校卒業又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者
 ニシテ道府縣ノ蠶業取締所又ハ蠶業試驗場等ニ於テ三月以上ノ期間ニ依リ蠶體病理、蠶體生理、養蠶法及顯微鏡使用法ノ學科目竝ニ蠶種検査ノ實習ヲ修メ其ノ試驗ニ合格シタルモノ
 (ニ) 蠶病豫防吏員又ハ蠶種検査吏員ノ職ニ在リタル者
 三 蠶種検査ノ管理者
 第一號(イ)ニ該當スル者

移輸入蠶種ノ品種名記載例

大正七年三月二十八日農
 第一九一三號次官名通牒

第一 純粹種

支那	原產地	現ニ品種名トシテ用キラルル文字	品種名トシテ記載スヘキ文字
支那	Bianco cinese	白繭(伊)	支 白
	Chinese bianco	白繭(伊)	支 白
	Chinois doré	漢口紅繭(伊)	支 金黃繭(佛)

伊太利	品種名	漢字
伊太利	Chinese oro	支金黃繭(伊)
	Chinese oro puro	純支金黃繭(伊)
	Chinese bianco puro	純支白繭(伊)
	Chinese roseo	支紅繭(伊)
	Chinois doré sphérique	支球形金黃繭(佛)
	Giallo roseo Han-kow	漢口紅繭(伊)
	Han-kow roseo	漢口紅繭(伊)
	Abruzzo	アブルツツオ
	Ascoli	アスコリ
	Ascoli Piceno	アスコリピチェー
	Bione	ビオーネ
	Blanc pur Novi	純ノヴィ白繭
	Blanc italien	伊白繭
	Brianza	ブリアンツア
	Fossombrone	フォッソンムブローネ
Giallo Abruzzo	アブルツツオ黃繭	
Giallo Ascoli	アスコリ黃繭	
Giallo Biore	ビオーネ黃繭	
Giallo Marche	マルケ黃繭	
Giallo Milanese	ミラン黃繭	

佛蘭西	原產地	現ニ品種名トシテ用キラルル文字	品種名トシテ記載スヘキ文字
佛蘭西	Giallo Perugia	ペルジヤ黃繭	伊 黃繭
	Giallo indigeno	純伊黃繭	伊 黃繭
	Giallo puro indigeno	純伊黃繭	伊 黃繭
	Gran Sasso	グラン・サッソ	イストリア
	Gubbio	グッビオ	イストリア
	Istria	イストリア	イストリア
	Jaune Ascoli	アスコリ黃繭	アスコリ黃繭
	Jaune Fermo	フェルモ黃繭	フェルモ黃繭
	Majella	マジェラ	マジェラ
	Marche	マルケ	マルケ
	Messina	メッシーナ	メッシーナ
	Novi	ノヴィ	ノヴィ
	Raconigi	ラッコニジ	ラッコニジ
	Sericico roseo a baco moro	暗色蠶球形紅繭	暗色蠶球形紅繭
	Toscana	トスカ	トスカ
佛蘭西	Alpes	アルプ	アルプ
	Blanc pur	純白繭	佛 純白繭
	Blanc pur indigène	純白繭	佛 純白繭
	Oévennes	セヴェンヌ	セヴェンヌ
	Cogolin Var	コゴラン・ヴァール	コゴラン・ヴァール

西 班牙	土 耳 古	其 他	漢字	
西 班牙	土 耳 古	其 他	Corse	コル
			Drome	ドロム
			Giallo Pirenei	ピレネー黃繭
			Giallo Yaro	ヴァール黃繭
			Jaune pur spécial	佛特別純黃繭
			Jaune sphérique	佛球形黃繭
			Papillons noirs	黒蝶
			Pyrenées	ピレネー
			Robinet, Sina	ロビネー・シナ
			Rolland	ローラン
			Roussillon	ルーシヨン
			St. Julien	サン・ジュリアン
			Var	ヴァール
			Sierra Morena	シエラ・モレナ
			Spain	スペイン
土 耳 古	土 耳 古	其 他	Bagdad	バグダ
			Brousse	ブルグ
			Giallo Asiatico	亞細亞黃繭
其 他	其 他	其 他	Giallo O	亞細亞黃繭
			S	亞細亞黃繭

移輸入蠶種ノ品種名記載例

第二 交雜種

現ニ品種名トシテ用キラルル文字	品種名トシテ記載スヘキ文字
Croisement japonais à fem. jaune	日本白繭交雜種 日本白繭種ト交雜 巴黃繭種ト交雜 シタルモノ
Incrocio chinese bianco Croisement chinois à fem. blanc Croisement chinois à fem. jaune	支那白繭交雜種 支那白繭種ト交雜 巴黃繭種ト交雜 シタルモノ
Incrocio chinese oro No. 201 Bigiallo Bigiallo oro Bigiallo sferico Bigiallo sferico extra No. 303 Incrocio chinese oro Incrocio chinese Bigiallo oro Bigiallo Dorato Bijanne chinois doré à fem. doré Bijanne chinois doré à fem. jaune	ロシア 支那金黃繭種ト交雜 羅巴黃繭種ト交雜 雜シタルモノ

Poligiallo Poligiallo extra Poligiallo extra No. 55 Pibianco	ポリジアロ 支那紅繭種ト交雜 巴黃繭種ト交雜 巴黃繭種ト交雜 シタルモノ 白繭同志交雜種 (二種ノ白繭種ヲ交雜シタルモノ)
伊 太 利 佛 蘭 西 譯 語	黃 白 紅 金 純 特 球 支 那 暗 色 繭
Giallo Bianco Rosso Oro Puro Speciale Sferico Chinese Baco moro	Jaune Blanc Rose Or Doré Pur Spécial Sphérique Chinois Ver noir

備考
蠶ノ品種名トシテ現ニA、B、Cノ如キ「アルフワベ」トシテ用ウルモノアルトキハ其ノ儘之ヲ用キ得ルコト

蠶品種名ニ關スル件

大正八年五月二十七日附
農局第三六三號通牒

當省蠶業試驗場ニ於テ選出セル蠶ノ品種ニハ他ト甄別シ易カラシメムカ爲從來國蠶何號ナル品種名ヲ附シ之ヲ配付シツツアルハ普ク一般ノ熟知セル等ニ有之候處近來蠶業試驗場配付以外ノ品種ニシテ國蠶ナル文字ヲ冠シタルモノ有之候趣斯クテハ蠶業試驗場ノ配付蠶種ト紛ラハシク優良種ノ普及上支障尠ナカラスト認メ候條萬一貴管下ニ右様品種名ノ蠶種有之候場合ニハ蠶絲業法施行規則第三十二條第二項ニ依リ品種名ノ變更ヲ命シ國蠶ナル文字ヲ削除セシメラル様致度此段及通牒候也

追テ大正七年度ニ於テ蠶業試驗場ヨリ地方原蠶種製造所其ノ他ヘ配付セル原蠶種品種名及囊ニ配付セシコトアルモノ今ハ之ヲ中止セルモノノ品種名左記ノ通ニ候ニ付爲念申添候也

大正七年度配付原蠶種品種名

- 一 化 性
- (日本種) 國蠶日一號 國蠶日四號
 - (支那種) 國蠶支三號 國蠶支四號

蠶品種名ニ關スル件

(歐羅巴種)

- 國蠶支五號 國蠶支七號
- 國蠶支八號 國蠶支九號
- 國蠶支十一號 國蠶支十二號
- 國蠶歐一號 國蠶歐三號
- 國蠶歐五號 國蠶歐六號
- 國蠶歐七號 國蠶歐九號
- 國蠶歐十號

二 化 性

- (日本種) 國蠶日一〇二號 國蠶日一〇四號
- 國蠶日一〇五號 國蠶日一〇六號
- 國蠶日一〇七號 國蠶日一〇八號

(支那種)

囊ニ配付セシコトアルモノ今ハ之ヲ中止セルモノノ品種名

一 化 性

- (日本種) 國蠶日二號 國蠶日三號
- 國蠶日五號 國蠶日六號
- 國蠶支一號 國蠶支二號
- 國蠶支六號
- (歐羅巴種) 國蠶歐二號 國蠶歐四號
- 國蠶歐十一號 國蠶歐十二號

(日本種) 國蠶日一〇一號 國蠶日一〇三號

蠶品種名整理統一ニ關スル件

昭和五年二月八日附五蠶局
第四一號蠶絲局長通牒

蠶品種ハ一時整理ノ實ヲ擧ケタルモ近時再ヒ混亂ノ兆ヲ呈シ種々ノ新名稱ヲ用ヒ爲ニ品種名ニ依リテハ其ノ固有ノ性質ヲ判斷シ難キモノ尠カラサルニ至リタルハ遺憾ノ義ニ有之候ニ付過般當省ニ開催ノ地方蠶業試驗場長協議會ニ於テ之カ對策ニ付協議ヲ求メ候處左記二項ハ目的達成上特ニ重要ナル事項トシテ決議セラレ候然ルニ第一項ニ付テハ地方ノ事情ニ依リ夫々御考慮相成居候義ト存候ヘ共第二項ニ關シテハ曩ニ大正五年八月三日附農第八〇七九號農務局長名ヲ以テ地方ニ於ケル原蠶種ノ製造配付ハ當省蠶業試驗場ノ事務ニ關係ヲ及ホスコトアルニ依リ之カ計畫ニ付テハ其ノ設定變更共ニ各管轄地ノ蠶業試驗場支場ト打合セテ爲スヘキ旨通牒ノ次第モ有之候處當省蠶業試驗場支場ノ廢止ニ伴ヒ解釋上ノ疑義ヲ生シ自然打合セテ缺ク向モ有之中央及地方蠶業試驗場ノ聯絡上遺憾尠カラス候條爾今貴縣蠶業試驗場ニ於テ新品種ノ配付ヲ爲ス必要アル場合ハ慎重ナル調査

研究ヲ遂ケタル上當省蠶業試驗場ト打合セテ爲サシムル様致度此段及通牒候也

記

一 道府縣ニ於テ適當ナル方法ニ依リ蠶品種選定整理ニ關スル機關ヲ設クルコト

二 地方蠶業試驗場ニ於ケル新品種ノ配付ハ慎重ナル調査研究ノ上國ノ蠶業試驗場ト打合セノ上之ヲ決定スルコト

蠶ノ新品種性狀報告ニ關スル件

昭和六年二月十八日附六蠶局第四八號蠶絲局長通牒

繭検査ノ完整ヲ期スル爲ニハ當該品種固有ノ繭色及繭形ヲ詳知スルヲ必要ト致シ候處近時蠶ノ新品種選出セラルルニ當リ中ニハ當該品種固有ノ繭色及繭形ノ詳カナラサルモノ可有之斯クテハ繭検査ノ施行上支障尠カラスト認メラレ候條爾今蠶業試驗場ニ於テ新品種ヲ選出配付シ、移入又ハ輸入蠶種ニシテ新品種名ノ附シアルモノ及蠶絲業法施行規則第三十一條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ新品種名ヲ認メ又ハ品種名ノ變更ヲ命シタル場合ニ於テハ其ノ都度該品種ニ付左記事項御報告相成様致度此段及通牒候也

追而御報告ノ事項ハ其ノ都度各府縣ニ之ヲ通知シ繭検査施行上ノ參考ニ資スヘク候條爲念申添候

記

品種名	化性系統	春蠶用、夏秋蠶用ノ別	蠶體ノ斑紋	蠶兒ノ繭色	繭形	品種ノ沿革

備考

一、規則第三十一條ノ場合ハ前品種名ヲモ内書スルコト

二、品種名ニハ假名ヲ附シ記載スルコト

三、繭色ハ黃、金黃、綠、白、笹及紅ノ六色ニ區別シ記載シ更ニ濃淡ヲ附記スルコト

四、繭形ハ俵形、橢圓形、卵形、紡錘形、球形等ノ區別ニ依リ且縊目ノ深淺、形ノ大小又ハ長短等ヲ記載スルコト

五、蠶體ノ體色、蠶兒ノ斑紋、繭色、繭形欄ノ記載例ハ左記ニ依ルコト

蠶品種名整理統一ニ關スル件 蠶ノ新品種性狀報告ニ關スル件 地方蠶業試驗場配付新品種ノ打合セニ關スル件

第一例	體色	蠶兒ノ斑紋	繭色	繭形
第二例	黑	形(淡)	白	俵(淺縊、長)
第三例	暗褐	姫	綠	橢圓(短)
第四例	褐	形、姫	黃(濃)	橢圓(大)
第五例	暗褐	姫(形ヲ混ス)	黃(淡)	球(小)

地方蠶業試驗場配付新品種ノ打合セニ關スル件

昭和七年四月十一日附七蠶局第一四七號蠶絲局長通牒

地方蠶業試驗場ニ於テ新品種ノ配付ヲ爲ス必要アル場合ハ豫メ本省蠶業試驗場ニ打合セテ爲ス様昭和五年二月八日附五蠶局第四一號ヲ以テ通牒致置候處本省蠶業試驗場ニ於テモ品種ノ性狀調査致度候條今後右打合セノ際ハ交雜用品種ニ在リテハ其ノ交雜蠶種ヲ交雜用ニ非サル品種ニ在リテハ其ノ原蠶種ヲ複製又ハ其ノ他一蠶別製トシテ三十蠶以上ヲ同場ニ提出セシメラル様致度此段及通牒候也

追テ交雜用品種ニ付調査ノ必要アリト認ムル場合ハ其ノ

蠶絲業法關係法規

原蠶種ノ提出ヲ求ムルコト有之ヘク候條件セテ示達相成度

蠶絲業法施行ニ關スル件

昭和七年十二月二十二日附七蠶局第七二一號蠶絲局長通牒

蠶品種ハ近時整理ノ實ヲ舉ケツツアリト雖昭和六年二月十八日附六蠶局第四八號通牒ニ依リ處理相成居候蠶品種ノ性狀報告ヲ觀ルニ尙種々ノ新名稱ヲ用ヒ爲ニ品種名ニ依リテハ其固有ノ性狀ヲ判斷シ難キモノ尠カラズ洵ニ遺憾ノ義ニ有之候ニ付テハ移入又ハ輸入蠶種ト雖其ノ原種ノ品種名ヲ襲用スヘキハ法規ノ精神ニ鑑ミ當然ナルヲ以テ其ノ檢査ニ當リテハ篤ト精査シ故ラニ新品種名ヲ用ヒムトスル者ニ對シテハ嚴ニ之ヲ戒メ且既ニ用ヒラルル品種名ニ付テモ可成之カ整理ヲ爲ス様適當ノ措置ヲ採ラレ度此段及通牒候也

蠶蛆ノ豫防驅除ニ關スル件

昭和三年十月三十一日附三蠶局第三一一號蠶絲局長通牒

本年晚秋期ニ於テ三重、愛知、岐阜其ノ他ノ府縣ニ一種ノ多化性蠶蛆多數發生シ之カ寄生ヲ受ケタル蠶兒ハ結繭不能

候ニ付蠶絲業法施行規則第十九條ヲ改正シ昇永水及格魯兒石灰水ヲ以テ蠶室又ハ蠶具ノ消毒ヲ爲シ得ルノ途啓カレ候ニ付テハ當業者カ之ヲ使用スル場合ニ於テ遺憾ナカラシムル爲左記事項ヲ普ク示達相成度依命此段及通牒候也

記

- 一 昇永水ハ無色無臭ニシテ猛毒ヲ有スル爲人體ニ危險ヲ及ホス虞アルニ依リ之カ使用ノ際特ニ注意ヲ拂フヘキハ勿論之ヲ貯藏スルニハ「スカレット」又ハ「ゾイレフクシン」其ノ他適當ノ色素ヲ加ヘ一見識別ニ容易ナラシメ且之カ取扱ハ炊事場、飲食物貯藏場又ハ飲料水ニ滲透スヘキ場所等ニ於テ行フヘカラサルコト
- 一 昇永水ハ日光ノ照射ニ依リ變質シ消毒ノ效力ヲ減耗スルヲ以テ成ルヘク使用ノ都度之ヲ調製シ日光ノ直射セサル場所ヲ選ヒテ消毒ヲ行フヘシ又其ノ殘液ハ溝渠河川等ニ流棄スヘカラサルコト
- 一 昇永水ヲ以テ消毒スルニハ成ルヘク長ク濕潤ノ状態ニ在ラムシルヲ可トスルヲ以テ蠶具ノ如キハ堆積シ置キタル後洗滌若ハ乾燥ヲ爲スヘキコト
- 一 昇永水ハ金屬ヲ侵蝕スルノ性アルヲ以テ之カ貯藏ニ金屬製容器ヲ用ヒサルハ勿論消毒ノ際使用シタル金屬製器具ハ直ニ淨水ヲ以テ洗滌スヘキコト

蠶絲業法施行ニ關スル件 蠶蛆ノ豫防驅除ニ關スル件 昇永水及格魯兒石灰水ヲ以テ蠶室及蠶具ノ消毒ニ使用スル場合ニ於ケル注意ノ件 昇永水及鹽酸販賣ニ關スル件

ニ陥ルモノ多ク營繭スルモ薄皮繭又ハ死籠繭トナリ其ノ被害尠ナカラス候處其ノ種類、經過、習性等ニ關シテハ尙今後研究ヲ要スヘキモノ有之候ヘ共既往ノ調査ニ據レハ此ノ種ノ蠶蛆ハ野外ニ棲息スル野蠶、桑尺蠖類其ノ他蝸蠖類ヲ寄主トスルモノニシテ廣ク各地方ニ分布シ居ルモノノ如ク本年春蠶期桑樹凍害後ニ於テ多數發生セル前記害蟲類ニ寄生繁殖シ延テ蠶兒ニ被害ヲ與ヘラレタルモノト認メラレ明年モ亦之ヲ繰リ返スヤ否ヤハ固ヨリ豫測ノ限リニ無之候モ將來之カ蔓延ヲ見ルカ如キコト有之候テハ蠶業上由々數大事ト被存候ニ付差當リ之レカ豫防策トシテ冬期間ニ於テ桑園ノ害蟲驅除ヲ一層勵行シ明年ニ於ケル該蠶蛆ノ繁殖蔓延ヲ防除スル様洽ク貴管下當業者ニ周知セシメ右督勵方特ニ御配慮相成度此段及通牒候也

昇永水及格魯兒石灰水ヲ蠶室及蠶具ノ消毒ニ使用スル場合ニ於ケル注意ノ件

大正四年一月十六日附農第二八六號農務局長通牒

今回時局ノ影響ニ依リ蠶種製造者ノ使用スヘキ「フオルマリン」ノ價格自然騰貴ヲ來シ營業上不利尠ナカラスト被認

- 一 格魯兒石灰水ハ甚シク有機色素ヲ脱色セシムル性アルヲ以テ衣類等ニ接觸セサル様注意シ又木材ヲ漂白シ殊ニ水滴ヲ形成スル場合ニ於テハ其ノ部分ノミ永ク漂白作用ヲ受ケ外觀ヲ損スルコト甚シキコトアルヲ以テ撒布後ハ時々注意シ水滴ヲ生シタルトキハ之ヲ散セシメ三十分ヲ經タル後淨水ヲ以テ洗滌スルコト
- 一 格魯兒石灰水ハ金屬及獸皮ヲ侵蝕スルノ性アルヲ以テ噴霧器ヲ用キル場合ニ在リテハ唧子ニ附著セル獸皮ハ豫メ油類ニ侵漬シ尙使用後ニ於テハ充分各部ヲ洗滌スルコト

昇永水及鹽酸販賣ニ關スル件

群馬縣知事ヨリ大正四年二月三日附衛第四五六號ヲ以テ衛生局長ニ宛照會シタル昇永水及鹽酸販賣ニ關シ藥品營業並藥品取扱規則適用ニ關スル件ハ左ノ意味ヲ以テ決定シ地方官ニ之ヲ通牒シタル旨同年二月八日附衛群第一七號ヲ以テ衛生局長ヨリ農務局長ニ通牒シ來レリ

- 一 藥品營業者ハ蠶種製造者ニ對シ蠶病豫防心得中ニ規定セラレタル昇永水溶液ハ勿論ナルモ昇永水及鹽酸ヲモ藥律第三十條ニ依リ職業上必要ナルモノト認メ販賣シ差支ナシ

二 從來蠶種製造者ニアラサル養蠶業者カ蠶病豫防ノ爲
「フオルマリシ」ノ使用ニ關シテハ之又職業上必要ナル
モノト認メタリシカ昇永ノ使用ニ付テモ同様ニ解釋シ
差支ナシ

道府縣蠶絲業法施行手續標準

昭和四年十二月十四日附
四蠶局第三五六號

第一條 蠶絲業法施行規則第一條ノ規定ニ依ル蠶種製造ノ
免許願書ハ様式第一號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ
前項ノ願書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ
一 履歷書及蠶絲業法施行規則第二條第一項第四號ノ規
定ニ該當セザル旨ノ市町村長ノ證明書
二 蠶種製造ノ管理者ヲ置ク場合ニ於テハ管理者ニ付前
號ノ書類
三 蠶種製造又ハ蠶兒飼育ノ用ニ供スル建物ノ平面圖
四 出願者法人ナルトキハ其ノ定款
蠶種製造ノ免許ヲ爲シタルトキハ様式第二號ニ依ル蠶種
製造免許證ヲ交付ス
第二條 蠶種製造者死亡シ、業務ヲ廢止シ又ハ免許ヲ取消
サレタルトキハ遲滞ナク蠶種製造免許證ヲ返納スベシ但
シ死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戸主又ハ家族ヨリ之

ヲ返納スベシ
第三條 蠶絲業法施行規則第五條ノ規定ニ依ル蠶種製造届
ハ何月何日迄ニ様式第三號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ
前項ノ期日以後ニ於テ蠶種製造ノ免許ヲ受ケタル者ハ遲
滞ナク前項ノ届書ヲ提出スベシ
第四條 蠶絲業法施行規則第六條ノ規定ニ依ル生繭取扱届
ハ毎年何月何日迄ニ様式第四號ニ依リ知事ニ之ヲ提出ス
ベシ但シ生繭取扱場所ヲ豫定スルコトヲ得ザル者ニ在リ
テハ生繭取扱開始ノ日ヨリ少クトモ何日前迄ニ之ヲ提出
スベシ
毎年同一ノ場所ニ於テ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ニシテ其ノ旨
ヲ前項ノ届書ニ附記シタルモノハ前項ノ届書ハ毎年之ヲ
提出スルコトヲ要セズ
第五條 蠶絲業法施行規則第六條、第十二條及第十三條ノ
規定ハ毎年何月何日以後(何地ニ又ハ何地以外ノ地ニ)
之ヲ適用セズ
第六條 蠶絲業法施行規則第八條ノ規定ニ依ル業務承繼ノ
許可ヲ受ケントスル者ハ家督相續又ハ遺産相續ノ別ヲ記
載シタル申請書ニ戸籍謄本並ニ第一條第二項第一號及第
二號ノ書類ヲ添附シ知事ニ之ヲ提出スベシ
業務承繼ノ許可アリタルトキハ蠶種製造免許證ノ書換ヲ

申請スベシ

第七條 蠶絲業法施行規則第十五條ノ規定ニ依ル蠶室及蠶
具ノ消毒ハ蠶兒ノ飼育又ハ蠶種ノ製造ヲ爲ス毎ニ其ノ前
ニ於テ之ヲ行フベシ

第八條 蠶絲業法施行規則第十六條ノ掃立届ハ蠶種製造用
蠶兒ノ掃立後遲滞ナク様式第五號ニ依リ知事ニ之ヲ提出
スベシ

第九條 蠶絲業法施行規則第十八條第二項ノ規定ニ依リ掃
立口ヲ合併シ又ハ分割シタルトキハ其ノ旨ヲ蠶種製造者
ニ通知ス

第十條 蠶絲業法施行規則第二十條ノ規定ニ依ル蠶兒讓渡
届ハ様式第六號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

第十一條 蠶絲業法施行規則第二十一條ノ繭検査請求書ハ
様式第七號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

第十二條 蠶絲業法施行規則第二十二條第二項但書ノ許可
ヲ受ケ蠶種製造用繭ヲ蠶兒飼育場所以外ニ搬出セントス
ル者ハ掃立届ト同時ニ様式第八號ニ依ル申請書ヲ知事ニ
提出スベシ

第十三條 蠶絲業法施行規則第二十四條第一項又ハ第三項
ノ規定ニ依リ繭検査合格證又ハ種繭證明書ノ裏書ヲ申請
セントスル者ハ様式第九號ニ依ル申請書ヲ知事ニ、同條

道府縣蠶絲業法施行手續標準

第二項又ハ第三項ノ規定ニ依リ種繭證明書ノ交付ヲ受ケ
ントスル者ハ様式第十號ニ依ル申請書ヲ讓渡人ノ所轄蠶
業取締所ヲ經由シ知事ニ提出スベシ

第十四條 蠶絲業法施行規則第二十五條第一項ノ規定ニ依
ル蠶種製造廢止届ハ様式第十一號ニ依リ知事ニ之ヲ提出
スベシ

蠶絲業法施行規則第二十三條ノ繭検査合格證又ハ同則第
二十四條ノ種繭證明書アル種繭ニ依ル蠶種ノ製造ヲ廢止
シタルトキハ全部ノ廢止ニ在リテハ其ノ繭検査合格證又
ハ種繭證明書ヲ返納シ、一部ノ廢止ニ在リテハ様式第九
號ニ依ル裏書申請書ヲ知事ニ提出スベシ

第十五條 蠶絲業法施行規則第二十七條第三項ノ符號ハ數
字ヲ用ヒ、同則第三十條第一項第一號ノ記號ハ平假名ヲ
用フベシ

第十六條 蠶絲業法施行規則第三十條第一項ノ規定ニ依リ
蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載スベキ品種名ハ交雜ニ依リ製
造シタル蠶種ニ在リテハ雌蛾ヲ右ニ雄蛾ヲ左ニ記載スベ
シ

第十七條 蠶種ノ臺紙又ハ容器ニハ蠶絲業法施行規則第三
十條、第四十七條第二項、第四十八條、第六十四條第三
項又ハ第六十五條ノ規定ニ依リ記載スベキ文字ノ外文字

若ハ圖形等ヲ記載シ又ハ著色スルコトヲ得ズ但シ知事ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
 前項但書ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ知事ニ提出スベシ
 一 文字、圖形等及色合
 二 許可ヲ受ケントスル理由
 第十八條 蠶絲業法施行規則第三十一條第一項但書ノ許可ヲ受ケ新ニ化性又ハ品種名ヲ用ヒントスル者ハ蠶兒ノ掃立前ニ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ知事ニ提出スベシ
 一 化性及品種名
 二 品種ノ沿革
 三 品種ノ特性
 四 新ニ用ヒントスル化性又ハ品種名
 五 許可ヲ受ケントスル理由
 六 蠶種製造額豫定數
 前項ノ申請アリタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ原蠶種ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ
 第十九條 蠶絲業法施行規則第三十二條第一項但書ノ承認ヲ受ケ蠶種ノ臺紙又ハ容器ニ記載シタル文字ノ訂正、増加又ハ抹消ヲ爲サントスル者ハ其ノ蠶種ヲ蠶種製造場所所在地ヲ管轄スル蠶業取締所ニ提出シ承認ノ申請ヲ爲ス

ベシ
 第二十條 蠶絲業法施行規則第三十三條但書ノ許可ヲ受ケ交雜ニ依ル原蠶種ノ製造ヲ爲サントスル者ハ繭検査終了後遲滞ナク様式第十二號ニ依ル申請書ヲ知事ニ提出スベシ
 第二十一條 蠶絲業法施行規則第三十四條ノ原蠶種検査請求書ハ様式第十三號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ
 前項ノ請求書ニハ繭検査合格證又ハ種繭證明書ヲ添附スベシ
 第二十二條 蠶絲業法施行規則第三十五條ノ普通蠶種歩合検査請求書ハ様式第十四號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ
 前項ノ請求書ニハ繭検査合格證又ハ種繭證明書ヲ添附スベシ
 第二十三條 蠶絲業法施行規則第三十六條第一項ノ普通蠶種再検査請求書ハ歩合検査ニ不合格ト爲リタル旨ノ通知ヲ受ケタル後何日以内ニ様式第十五號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ
 第二十四條 蠶絲業法施行規則第五十條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行フ繭ノ検査ニ合格シタル種繭ヲ用ヒテ製造シタル蠶種ニ付同則第三十七條但書ノ許可ヲ受ケ同則第三十四條乃至第三十六條ノ規定ニ依リ蠶種ノ検査ヲ請求セント

スル者ハ様式第十六號ニ依ル申請書ヲ知事ニ提出スベシ
 第二十五條 蠶絲業法施行規則第三十八條ノ移入又ハ輸入蠶種検査請求書ハ様式第十七號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ

三 合格又ハ不合格ノ決定方法

第二十六條 蠶絲業法施行規則第四十七條第一項ノ規定ニ依リ蠶種ノ容器ニ検査合格證印ノ押捺、封緘證印ノ押捺又ハ封緘證紙ノ貼附ヲ受ケントスル者ハ様式第十八號ニ依ル請求書及其ノ容器ヲ所轄蠶業取締所ニ提出スベシ
 前項ノ請求書ニハ舊容器及已ムヲ得ザル事由ヲ證スルニ足ル書類又ハ臺紙ヲ添附スベシ
 第二十七條 蠶絲業法施行規則第三十九條第二項ノ規定ニ依リ蠶種ノ検査ヲ拒ミタルトキ又ハ同則第四十七條第三項ノ規定ニ依リ検査合格證印ノ押捺、封緘證印ノ押捺若ハ封緘證紙ノ貼附ヲ拒ミタルトキハ其ノ旨ヲ蠶種製造者ニ通知ス
 第二十八條 蠶絲業法施行規則第五十一條ノ許可ヲ受ケントスル者同則第五十六條ノ規定ニ依リ検査ニ關スル方法ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ知事ニ提出スベシ
 一 標本調製ノ方法
 二 鏡檢ノ方法

道府縣蠶絲業法施行手續標準

第二十九條 蠶絲業法施行規則第五十九條第二項ノ規定ニ依ル原蠶種検査届ハ検査開始ノ日ヨリ少クトモ何日前迄ニ様式第十九號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ
 第三十條 蠶絲業法施行規則第六十八條第二項ノ規定ニ依ル原蠶種検査成績報告ハ検査終了後何日以内ニ様式第二十號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ
 第三十一條 蠶絲業法施行規則第六十九條ノ規定ニ依ル繭検査済届ハ繭ノ検査終了後遲滞ナク様式第二十一號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ
 第三十二條 蠶絲業法施行規則第八十二條ノ規定ニ依ル桑苗生産届ハ何月何日迄ニ様式第二十二號ニ依リ知事ニ之ヲ提出スベシ
 第三十三條 蠶絲業法施行規則第八十四條但書ノ許可ヲ受ケ桑苗ヲ讓渡サントスル者ハ様式第二十三號ニ依ル申請書ヲ知事ニ提出スベシ
 前項ノ申請書ニハ讓受人連署スベシ
 第三十四條 蠶絲業法施行規則第八十五條ノ免許ヲ受ケントスル者ハ様式第二十四號ニ依ル願書ヲ知事ニ提出スベシ
 前項ノ願書ニハ履歷書及寫眞ノ外蠶絲業法施行規則第八

蠶絲業法關係法規

十六條第一項第二號ニ該當セザル旨ノ市町村長ノ證明書ヲ添附スベシ寫眞ハ名刺形トシ出願前六ヶ月以内ニ帽ヲ著ケズ半身ニテ撮影シ裏紙ニ貼附セザルモノニシテ裏面ニ撮影年月日及氏名ヲ記載スベシ

免許ノ期間ハ免許證交付ノ日ヨリ何年トス

第三十五條 蠶絲業法施行規則第八十五條ノ免許ヲ受ケタル者死亡シ、業務ヲ廢止シ若ハ免許ヲ取消サレタルトキ又ハ免許ノ期間滿了シタルトキハ遲滞ナク免許證ヲ返納スベシ但シ死亡ノ場合ニ於テハ其ノ相續人、戸主、家族又ハ雇主ヨリ之ヲ返納スベシ

第三十六條 蠶絲業法施行規則第八十五條第三項ノ規定ニ依リ免許期間ノ更新ヲ申請セントスル者ハ様式第二十五號ニ依リ申請書ヲ知事ニ提出スベシ
前項ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ寫眞ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第三十七條 蠶絲業法施行規則第八十七條ノ鑑札ノ交付ヲ受ケントスル者ハ様式第二十六號ニ依リ申請書ヲ知事ニ提出スベシ

鑑札ノ有効期間ハ交付ノ日ヨリ何年トス但シ其ノ期間ハ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得

前項但書ノ申請ヲ爲サントスル者ハ様式第二十五號ニ依

ル申請書ヲ知事ニ提出スベシ

第三十八條 第三十五條ノ規定ハ蠶絲業法施行規則第八十七條ノ鑑札ノ交付ヲ受ケタル者死亡シ若ハ業務ヲ廢止シ又ハ鑑札ノ有効期間滿了シタル場合ニ付之ヲ準用ス

第三十九條 蠶種製造免許證、蠶絲業法施行規則第八十五條ノ免許證又ハ同則第八十七條ノ鑑札ヲ亡失シ若ハ毀損シ又ハ記載事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ遲滞ナク再交付又ハ書換ヲ知事ニ申請スベシ

第四十條 第二條、第十四條第二項、第十七條、第三十五條若ハ第三十八條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第十八條若ハ第二十條ノ申請書ニ虛偽ノ記載ヲ爲シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十一條 本令ニ依リ知事ニ提出スベキ書類ハ所轄蠶業取締所ヲ經由スベシ
第四十二條 蠶業取締所及其ノ支所ノ名稱、位置及管轄區域左ノ通定ム

名稱	位置	管轄區域

蠶業取締所又ハ其ノ支所ノ出張所ヲ設ケタルトキハ其ノ名稱、位置、管轄區域及開閉期日ハ之ヲ告示ス

附 則

本令ハ昭和四年法律第十八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

様式

道府縣蠶絲業法施行手續標準

第一號

蠶種製造免許願 住

氏所

名(名稱)印

蠶種製造場所	管理住所	蠶種製造ノ用ニ供スル建物ノ棟數	室數	室面積	概種製造額	蠶兒飼育場所	擔當者ノ氏名	蠶兒飼育ノ用ニ供スル建物ノ棟數	室數	室面積	掃立蠶量概定數

右免許相成度此段相願候也

知事宛

氏

名(名稱)印

蠶絲業法關係法規

第二號

第 號		蠶種製造免許證	
住所	氏	名(名稱)	
蠶絲業法第五條ニ依リ蠶種製造者タルコトヲ免許ス			
年月日	道府縣印		

第三號

蠶種製造屆

蠶種製造場所	計	原蠶種製造額	普通蠶種製造額	春蠶期		夏秋蠶期	
				越年不越計	越年不越計		
蠶兒飼育場所							
右及屆出候也	年月日	住所	氏	名(名稱)印			

七八

第四號

生繭取扱屆

取扱場所	取扱豫定期間		取扱豫定量	管理者ノ住所
	開始月日	終了月日		

第五號

蠶兒掃立屆

掃立蠶兒飼育場所	原蠶種製造者ノ氏名(名稱)	原蠶種製造月日	原蠶種製造量	原蠶種製造場所	原蠶種製造者ノ氏名(名稱)	原蠶種製造月日	原蠶種製造量	原蠶種製造場所

右及屆出候也

住所
業種氏名(名稱)印
知事宛
年月日

備考
業種ハ「生絲製造業」、「繭賣買業」、「繭乾燥業」等ト記載スベシ

右及屆出候也

住所
氏名(名稱)印
知事宛
年月日

蠶絲業法關係法規

第六號

蠶兒讓渡屆

讓渡月日	讓受人ノ氏名(名稱)及住所	兒飼育場所	讓渡後ノ蠶	讓渡數量	掃立蟻量	掃立月日	原蠶種製造者ノ氏名(名稱)	品種名	化性	兒飼育場所	讓渡前ノ蠶	掃立口ノ記號

右及届出候也

年 月 日 住 所
知事宛 氏 名(名稱)印

第七號

繭檢查請求書

掃立口ノ記號	蠶兒飼育場所	化性品種名系統	上簇ノ時期	收繭月日
			始期	
			終期	

右及請求候也

年 月 日 住 所
知事宛 氏 名(名稱)印

第八號

繭搬出許可申請書

記號	掃立口ノ記號	蠶兒飼育場所	化性品種名	收繭月日	收繭數量	搬出月日	搬出數量	搬出場所

右何ノ事由ニ因リ許可相成度此段及申請候也

年 月 日 住 所
知事宛 氏 名(名稱)印

道府縣蠶絲業法施行手續標準

第九號

繭檢查合格證(種繭證明書)裏書申請書

記號	掃立口ノ記號	化性品種名	讓渡(廢止)種繭ノ數量	讓渡(廢止)月日	讓受人ノ氏名(名稱)及住所

右及申請候也

年 月 日 住 所
知事宛 氏 名(名稱)印

蠶絲業法關係法規

第十號

種繭證明書交付申請書

記號	口ノ化性	掃立蠶兒飼育場所	化性品種名系統	種繭數量(名稱)及住所	種繭渡人氏名	讓受月日	蠶種製造場所

右及申請候也

年月日 住所
氏 名(名稱)印
知事宛

第十二號

交雜原蠶種製造許可申請書

記號	口ノ化性	掃立蠶兒飼育場所	化性品種名系統	種繭數量(名稱)及住所	種繭渡人氏名	讓受月日	蠶種製造場所

右許可相成度此段及申請候也

年月日 住所
氏 名(名稱)印
知事宛

道府縣蠶絲業法施行手續標準

第十一號

蠶種製造廢止届

記號	口ノ飼育化性	掃立蠶兒飼育場所	化性品種名系統	種繭數量(名稱)及住所	種繭渡人氏名	讓受月日	蠶種製造場所

右及届出候也

年月日 住所
氏 名(名稱)印
知事宛

第十三號

越年(不越年)原蠶種檢查請求書

記號	番號	蠶種製造場所	化性品種名系統	種繭數量(名稱)及住所	種繭渡人氏名	讓受月日	蠶種製造場所

右及請求候也

年月日 住所
氏 名(名稱)印
知事宛

蠶絲業法關係法規

第十八號

檢查合格證印、封緘證印ノ押捺
(封緘證紙ノ貼附)請求書

記號 番號	化性	品名	種類	卵量	瓦三	押捺又ハ貼附ヲ受 ケントスル 容器數

右及請求候也

年月日 住所
氏 名(名稱)印
知事宛

第十九號

原蠶種檢查屆

蠶種製造者ノ氏名(名稱)	記號番號	化性	品名	種類	檢查額豫定數	檢查開始豫定月日	檢查終了豫定月日	蠶種檢查ノ管理者ノ氏名	檢查場所

右及届出候也

年月日 住所
氏 名(名稱)印
知事宛

第二十號

原蠶種檢查成績報告

蠶種製造者ノ氏名(名稱)	記號番號	化性	品名	種類	檢查額	檢查成績	百分比

右及報告候也

年月日 住所
氏 名(名稱)印
知事宛

道府縣蠶絲業法施行手續標準

第二十一號

繭檢查濟届

掃立口ノ記號	蠶兒飼育場所	化性	品名	種類	收繭數量	合格種滿數量	檢查月日

右及届出候也

年月日 住所
氏 名(名稱)印
知事宛

蠶種(桑苗)行商鑑札交付申請書

住所

氏名
年 月 日 生

一 業種

二 業主又ハ從業者ノ別

右交付相成度此段及申請候也

年 月 日

氏名 印

右屋主
住所

氏名(名稱)印

知事宛

備考

- 一 業種ハ「蠶種製造」、「桑苗生産」、「桑苗賣買」ト記載スベシ
- 二 從業者ノ場合ニ於テハ屋主連署スベシ

二 蠶絲業組合法關係法規

蠶絲業組合法

昭和六年三月三十日法律第二十四號

第一章 蠶絲業組合

第一節 總 則

第一條 蠶絲業組合ハ左ノ六種トス

- 一 養蠶業組合
 - 二 蠶種業組合
 - 三 産業組合製絲組合
 - 四 製絲業組合
 - 五 生絲問屋業組合
 - 六 生絲輸出業組合
- 第二條 蠶絲業組合ハ蠶絲業ノ改良發達及統制ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第三條 蠶絲業組合ハ法人トス
- 第四條 蠶絲業組合ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ズ
- 第五條 蠶絲業組合ハ蠶絲業ニ關スル事項ニ付行政廳ニ建議スルコトヲ得
- 第六條 蠶絲業組合ハ行政廳ノ諮問ニ對シ答申スベシ
- 第六條 行政官廳ハ蠶絲業組合ニ對シ蠶絲業ニ關スル報告書ノ提出及蠶絲業ニ關スル事項ノ調査ヲ命ズルコトヲ得

蠶絲業組合法

第七條 蠶絲業組合ノ名稱中ニハ其ノ種類ニ從ヒ養蠶業組合、蠶種業組合、産業組合製絲組合、製絲業組合、生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ナル文字ヲ用フベシ

蠶絲業組合ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ前項ニ掲グルル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第八條 蠶絲業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ役員又ハ検査員ヲシテ組合員ノ事務所若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該役員又ハ検査員ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帯スベシ

第九條 蠶絲業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ組合員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

蠶絲業組合ノ經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ其ノ組合長ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ蠶絲業組合ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スベシ

前項ニ規定スル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ル

第一項ニ規定スル徵收金ノ賦課徵收及滯納處分ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立若ハ訴願ヲ爲シ又ハ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十條 蠶絲業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料及手数料ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手数料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十一條 蠶絲業組合ノ組合員ハ其ノ營業ニ關スル重要物產同業組合法ニ依ル同業組合ニ加入セズ又ハ之ヨリ脱退スルコトヲ得

第十二條 行政官廳ハ蠶絲業組合ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ、業務執行又ハ財産ノ狀況ヲ検査シ、定款、收支豫算又ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十三條 行政官廳ハ蠶絲業組合ノ決議又ハ役員ノ行爲ガ法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ決議ヲ取消シ、役員ヲ解任シ、組合ノ業務ヲ停止シ又ハ組合ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第十四條 蠶絲業組合ノ解散及分合ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 本章ニ於テ町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトシ郡トアルハ北海道ニ在リテハ北海道廳支廳長管轄區域トス

第二節 養蠶業組合

第十六條 養蠶業組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 蠶品種ノ統一ニ關スル施設
- 二 養蠶業ノ指導獎勵ニ關スル施設
- 三 繭ノ検査ニ關スル施設
- 四 繭ノ取引方法ノ改善ニ關スル施設
- 五 蠶病ノ豫防ニ關スル施設
- 六 養蠶業ニ關スル研究及調査
- 七 養蠶業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
- 八 前各號ニ掲グルモノノ外養蠶業ノ改良發達及統制ヲ圖ルニ必要ナル施設

第十七條 養蠶業組合ノ地區ハ郡市ノ區域ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ區域ニ依ラザルコトヲ得

前項ノ區域ニ増減アリタルトキハ其ノ區域ヲ地區トスル養蠶業組合ノ地區モ亦之ニ應ジテ増減アリタルモノトス

第十八條 養蠶業組合ハ其ノ地區内ノ養蠶實行組合ヲ以テ其ノ組合員トス

第十九條 養蠶實行組合ハ一定ノ地區内ノ養蠶者ヲ以テ之ヲ組織シ養蠶業ニ關シ組合員ノ共同ノ利益増進ヲ圖ルヲ以テ目的トス

期又ハ事由

第二十二條 養蠶實行組合ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間以内ニ規約、役員ノ氏名及住所並ニ設立ノ年月日ヲ具シ行政官廳ニ之ヲ届出ヅベシ

前項ノ規定ニ依リ届出デタル事項ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ日ヨリ二週間以内ニ之ヲ届出ヅベシ

第二十三條 養蠶實行組合ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間以内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ

登記スベキ事項左ノ如シ

- 一 第二十一條第二項第一號、第二號及第四號ニ掲グル事項
- 二 設立ノ年月日
- 三 理事ノ氏名及住所

前項ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキハ二週間以内ニ其ノ登記ヲ爲スベシ(昭和七年法律第三十號改正)

第二十四條 本法ニ依リ登記スベキ事項ハ其ノ登記前ニ在リテハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第二十五條 養蠶實行組合ガ本法ニ基キテ爲ス登記ニ付テハ登録稅ヲ課セズ

第二十六條 民法第三十八條第一項、第四十四條、第四十八條、第五十條乃至第六十六條、第六十八條乃至第七十

養蠶實行組合ハ法人トス

養蠶實行組合ノ地區ハ市町村ノ區域ヲ超ユルコトヲ得ズ

第二十條 養蠶實行組合ハ其ノ名稱中ニ養蠶實行組合ナル文字ヲ用フベシ

養蠶實行組合ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ前項ニ掲グル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第二十一條 養蠶實行組合ヲ設立スルニハ其ノ地區内ノ養蠶者七人以上設立者ト爲リ規約ヲ作成スルコトヲ要ス規約ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ設立者之ニ署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス

- 一 目的
- 二 名稱
- 三 地區
- 四 事務所ノ所在地
- 五 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定
- 六 事業及其ノ執行ニ關スル規定
- 七 役員ニ關スル規定
- 八 組合費其ノ他會計及資産ニ關スル規定
- 九 損失分擔ニ關スル規定
- 十 組合ガ公告ヲ爲ス方法
- 十一 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時

條及第七十二條乃至第八十二條並ニ非訟事件手續法第三十五條、第三十六條、第三十七條ノ二、第十七條、第一百十九條乃至第二百二十二條、第三百三十六條乃至第三百三十八條、第四百四十二條、第四百四十三條、第四百四十七條乃至第五百五十條、第五百五十條ノ三乃至第五百五十七條及第七百七十五條乃至第七百七十七條ノ規定ハ養蠶實行組合ニ之ヲ準用ス但シ民法第四十八條及第七十七條中一週間トアルハ之ヲ二週間トス(昭和七年法律第三十號改正)

第二十七條 養蠶業組合ヲ設立セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區内ノ養蠶實行組合ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ役員ヲ選任シ收支豫算及經費ノ分賦收入方法ヲ議決シ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第三十六條 第一項ノ規定ハ前項ノ創立總會ノ決議ニ之ヲ準用ス

第二十八條 養蠶業組合ハ設立ノ認可ヲ受ケタル時成立ス

第二十九條 養蠶業組合成立シタルトキハ其ノ地區内ニ組合員タル資格ヲ有スルモノハ總テ其ノ組合員トス

第三十條 養蠶業組合ノ地區内ニ於テ養蠶業ニ關スル事業ヲ行フ農會、産業組合又ハ産業組合聯合會ニシテ命令ヲ以テ規定スルモノハ行政官廳ノ認可ヲ受ケテ養蠶業組合

ノ組合員ト爲ルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ養蠶業組合ノ組合員ト爲リタルモノハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ組合ヲ脱退スルコトヲ得ズ

第三十一條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ區域ヲ指定シ養蠶實行組合ニ對シ養蠶業組合ノ設立ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル設立ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十二條 養蠶業組合ニ總會ヲ置ク

總會ハ總組合員ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十三條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ベシ

- 一 收支豫算
- 二 經費ノ分賦收入方法
- 三 命令ヲ以テ規定スル統制ニ關スル施設
- 四 事業報告及收支決算
- 五 借入金
- 六 基本財産ノ造成、管理及處分
- 七 定款ノ變更
- 八 役員ノ選任及解任
- 九 第六十五條ノ議員ノ選任及解任

十 第六十三條 第一項ノ同意

前項第一號乃至第三號、第五號、第七號及第八號ニ掲グル事項ノ決議ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十四條 總會ハ組合長之ヲ招集ス

組合員ハ總組合員ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

組合長正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後二週間以内ニ總會ヲ招集セザルトキハ請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得前三項ノ規定ニ依リ總會ヲ招集スルコト能ハザルトキハ行政官廳ハ組合員ヲ指定シテ總會ヲ招集セシムルコトヲ得

第三十五條 總會ノ議事ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十六條 第三十三條第一項第三號、第七號及第八號ニ掲グル事項ハ總會ニ於テ組合員ノ半数以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

定款ノ變更ガ地區ノ増減ニ關スルトキハ前項ノ規定ニ依ル議決ノ外新ニ編入セラレ又ハ削除セラレベキ區域内ノ

養蠶實行組合ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第三十七條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ定款ノ定ムル所ニ依リ書面ヲ以テ組合員ノ意見ヲ徵シ總會ノ議決ニ代フルコトヲ得

第三十八條 養蠶業組合ニ組合長一人ヲ置ク

養蠶業組合ハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ他ノ役員ヲ置クコトヲ得

前二項ノ役員ハ所屬ノ養蠶實行組合ノ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ゲズ

第三十九條 組合長ハ養蠶業組合ヲ代表シ組合ノ事務ヲ總理ス

第四十條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ組合長定款ノ定ムル所ニ依リ之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ組合長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムベシ

第四十一條 養蠶實行組合ノ理事、監事又ハ清算人左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス
一 本法ニ依ル届出ヲ爲スルコトヲ怠リタルトキ

- 二 本法ニ依ル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ
 - 三 行政官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ
 - 四 本法ニ依ル總會ノ招集ヲ怠リタルトキ
 - 五 組合ノ目的ニ非ザル事業ヲ爲シタルトキ
 - 六 本法ニ依リ事務所ニ備ヘ置クベキ書類ヲ備ヘズ、其ノ書類ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ若ハ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ
 - 七 本法ニ違反シテ破産ノ宣告ヲ請求セザルトキ
 - 八 本法ニ依ル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ
 - 九 清算ノ場合ニ於テ本法ニ違反シテ辨濟ヲ爲シ又ハ組合財産ノ分配ヲ爲シタルトキ
- 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第三節 蠶種業組合

第四十二條 蠶種業組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 蠶品種ノ統一ニ關スル施設
- 二 蠶種製造ノ指導獎勵ニ關スル施設
- 三 蠶種ノ検査ニ關スル施設

- 四 蠶病ノ豫防ニ關スル施設
 - 五 蠶種ニ關スル研究及調査
 - 六 蠶種製造業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
 - 七 前各號ニ掲グルモノノ外蠶種製造業ノ改良發達及統制ヲ圖ルニ必要ナル施設
- 第四十三條 蠶種業組合ノ地區ハ道府縣ノ區域ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ區域ニ依ラザルコトヲ得
- 第四十七條第二項ノ規定ハ前項ノ區域ニ増減アリタル場合ニ之ヲ準用ス
- 第四十四條 蠶種業組合ハ其ノ地域内ニ於テ蠶種ノ製造ヲ業トスル者ヲ以テ其ノ組合員トス
- 第四十五條 第二十七條乃至第二十九條及第三十一條乃至第四十條ノ規定ハ蠶種業組合ニ之ヲ準用ス
- 第四節 産業組合製絲組合及製絲業組合
- 第四十六條 産業組合製絲組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
- 一 原料繭及其ノ受入方法ノ統一ニ關スル施設
 - 二 生絲ニ關スル規格ノ統一ニ關スル施設
 - 三 産業組合製絲ノ指導獎勵ニ關スル施設
 - 四 生絲ノ検査ニ關スル施設
 - 五 産業組合製絲ニ關スル研究及調査

六 産業組合製絲ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁

七 前各號ニ掲グルモノノ外産業組合製絲ノ改良發達及統制ヲ圖ルニ必要ナル施設

第四十七條 製絲業組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 生絲ニ關スル規格ノ統一ニ關スル施設
- 二 製絲業ノ指導獎勵ニ關スル施設
- 三 生絲ノ検査ニ關スル施設
- 四 製絲業ニ従事スル者ノ福利増進ニ關スル施設
- 五 製絲業ニ關スル研究及調査
- 六 製絲業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
- 七 前各號ニ掲グルモノノ外製絲業ノ改良發達及統制ヲ圖ルニ必要ナル施設

第四十八條 産業組合製絲組合及製絲業組合ノ地區ハ道府縣ノ區域ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ區域ニ依ラザルコトヲ得

第四十九條 産業組合製絲組合ハ其ノ地區内ニ於テ製絲ヲ爲シ又ハ製絲工場ヲ有スル産業組合及産業組合聯合會ヲ以テ其ノ組合員トス

第五十條 製絲業組合ハ命令ヲ以テ規定スル者ヲ除クノ外、其ノ地區内ニ於テ生絲ノ製造ヲ業トスル者ヲ以テ其ノ組合員トス

第五十一條 第二十七條乃至第二十九條及第三十一條乃至第四十條ノ規定ハ産業組合製絲組合及製絲業組合ニ之ヲ準用ス

第五節 生絲問屋業組合及生絲輸出業組合

第五十二條 生絲問屋業組合及生絲輸出業組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 生絲ノ取引方法ノ改善及統一ニ關スル施設
- 二 生絲取引ニ關スル研究及調査
- 三 生絲取引ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
- 四 前各號ニ掲グルモノノ外生絲取引ノ改良發達及統制ニ關スル施設

第五十三條 生絲問屋業組合ノ地區ハ郡市ノ區域ニ依リ生絲輸出業組合ノ地區ハ市ノ區域ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ區域ニ依ラザルコトヲ得

第五十四條 生絲問屋業組合ハ其ノ地區内ニ於テ生絲取引ノ仲立又ハ取次ヲ業トスル者竝ニ生絲ノ販賣ヲ爲ス産業ニ之ヲ準用ス

第五十五條 生絲問屋業組合ハ其ノ地區内ニ於テ生絲取引ノ仲立又ハ取次ヲ業トスル者竝ニ生絲ノ販賣ヲ爲ス産業ニ之ヲ準用ス

組合及産業組合聯合會ヲ以テ其ノ組合員トス
第五十五條 生絲輸出業組合ハ其ノ地區内ニ於テ生絲ノ輸
出ヲ業トスル者竝ニ生絲ノ輸出ヲ爲ス産業組合及産業組
合聯合會ヲ以テ其ノ組合員トス

第五十六條 第二十七條乃至第二十九條及第三十一條乃至
第四十條ノ規定ハ生絲問屋業組合及生絲輸出業組合ニ之
ヲ準用ス但シ第三十三條第一項第九號中第六十五條トア
ルハ之ヲ第六十五條又ハ第七十六條トシ第三十三條第一
項第十號中第六十三條第一項トアルハ之ヲ第六十三條第
一項又ハ第七十五條第一項トス

第二章 蠶絲業組合聯合會

- 第五十七條 蠶絲業組合聯合會ハ左ノ七種トス
 - 一 道府縣養蠶業組合聯合會
 - 二 全國養蠶業組合聯合會
 - 三 全國蠶種業組合聯合會
 - 四 全國産業組合製絲組合聯合會
 - 五 全國製絲業組合聯合會
 - 六 全國生絲問屋業組合聯合會
 - 七 全國生絲輸出業組合聯合會
- 第五十八條 蠶絲業組合聯合會ハ蠶絲業組合又ハ道府縣養
蠶業組合聯合會ノ聯絡ヲ圖リ其ノ共同ノ目的ヲ達成スル

聯合會ハ生絲問屋業組合ヲ以テ、全國生絲輸出業組合聯
合會ハ生絲輸出業組合ヲ以テ其ノ會員トス

第六十三條 蠶絲業組合聯合會ヲ設立セントスルトキハ命
令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル
モノノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ會則ヲ
議定シ役員ヲ選任シ收支豫算及經費ノ分賦收入方法ヲ議
決シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第三十六條第一項ノ規定ハ前項ノ創立總會ノ決議ニ之ヲ
準用ス

第六十四條 蠶絲業組合聯合會成立シタルトキハ其ノ地區
内ノ會員タル資格ヲ有スルモノハ總テ其ノ會員トス

第六十五條 蠶絲業組合聯合會ニ總會ヲ置ク
總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス
蠶絲業組合聯合會ノ議員ハ其ノ會員タル蠶絲業組合又ハ
道府縣養蠶業組合聯合會ニ於テ之ヲ選任ス
前項ニ規定スルモノノ外議員ノ選任及解任ニ關シ必要ナ
ル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

- 第六十六條 蠶絲業組合聯合會ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 會長 一人
 - 副會長 一人又ハ二人
 - 評議員 數人

蠶絲業組合法

ヲ以テ目的トス

第五十九條 蠶絲業組合聯合會ハ法人トス
第六十條 蠶絲業組合聯合會ノ地區ハ道府縣養蠶業組合聯
合會ニ在リテハ道府縣ノ區域ニ依リ其ノ他ノモノニ在リ
テハ全國ノ區域ニ依ル

第六十一條 蠶絲業組合聯合會ノ名稱中ニハ其ノ種類ニ從
ヒ道、府若ハ縣養蠶業組合聯合會、全國養蠶業組合聯合
會、全國蠶種業組合聯合會、全國産業組合製絲組合聯合
會、全國製絲業組合聯合會、全國生絲問屋業組合聯合會
又ハ全國生絲輸出業組合聯合會ナル文字ヲ用フベシ

第六十二條 道府縣養蠶業組合聯合會ハ其ノ地區内ノ養蠶
業組合ヲ以テ其ノ會員トス
全國養蠶業組合聯合會ハ道府縣養蠶業組合聯合會及道府
縣ノ區域ヲ地區トスル養蠶業組合ヲ以テ其ノ會員トス
全國蠶種業組合聯合會ハ蠶種業組合ヲ以テ、全國産業組
合製絲組合聯合會ハ産業組合製絲組合ヲ以テ、全國製絲
業組合聯合會ハ製絲業組合ヲ以テ、全國生絲問屋業組合

前項ノ役員ハ議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ
其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ゲズ

第六十七條 會長ハ蠶絲業組合聯合會ヲ代表シ會務ヲ總理
ス
副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理
ス
副會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會長ノ職務ノ一部ヲ分掌
スルコトヲ得
評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ竝ニ會務ノ執行及財産ノ狀況
ヲ監査ス

第六十八條 第四條乃至第六條、第九條第一項、第十條、
第十二條乃至第十四條、第二十八條、第三十一條、第三
十三條乃至第三十五條、第三十六條第一項、第三十七條
及第四十條ノ規定ハ蠶絲業組合聯合會ニ之ヲ準用ス但シ
第五十七條第二號乃至第七號ノ蠶絲業組合聯合會ニ付テ
ハ第三十三條第一項第九號中第六十五條トアルハ之ヲ第
七十六條トシ第三十三條第一項第十號中第六十三條第一
項トアルハ之ヲ第七十五條第一項トス

第三章 日本中央蠶絲會
第六十九條 日本中央蠶絲會ハ蠶絲業組合聯合會及蠶絲業
組合ノ聯絡竝ニ蠶絲業ノ改良發達及統制ヲ圖ルヲ以テ目

的トス

第七十條 日本中央蠶絲會ハ法人トス
第七十一條 日本中央蠶絲會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 蠶絲業組合聯合會及蠶絲業組合ノ聯絡及統制ニ關スル施設
- 二 蠶絲業ニ關スル研究及調査
- 三 蠶絲類ノ販路擴張ニ關スル施設
- 四 蠶絲業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
- 五 前各號ニ掲グルモノノ外蠶絲業ノ改良發達及統制ヲ圖ルニ必要スル施設

第七十二條 日本中央蠶絲會ノ地區ハ全國ノ區域ニ依ル
第七十三條 日本中央蠶絲會ノ名稱ニハ日本中央蠶絲會ナル文字ヲ用フベシ
日本中央蠶絲會ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ前項ニ掲グル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第七十四條 日本中央蠶絲會ハ第五十七條第二號乃至第七號ノ蠶絲業組合聯合會ヲ以テ其ノ會員トス
全國生絲問屋業組合聯合會又ハ全國生絲輸出業組合聯合會ナキ場合ニ限り前項ニ規定スルモノノ外生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ヲ以テ其ノ會員トス

副會長 一人又ハ二人

評議員 數人

前項ノ役員ハ議員及特別議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ゲズ

第七十八條 日本中央蠶絲會ノ會員蠶絲業ノ統制ニ關スル施設ヲ行ハントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ日本中央蠶絲會ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス
日本中央蠶絲會前項ノ承認ヲ爲スニハ其ノ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第三十六條第一項ノ規定ハ前項ノ總會ノ決議ニ之ヲ準用ス

第七十九條 第四條乃至第六條、第九條第一項、第十二條乃至第十四條、第二十八條、第三十三條乃至第三十五條、第三十六條第一項、第三十七條、第四十條、第六十四條及第六十七條ノ規定ハ日本中央蠶絲會ニ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

重要物産同業組合法ニ依リ道府縣ヲ地區トシ設置シタル蠶絲業者ノ同業組合ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ之ヲ本法ニ依ル蠶絲業組合ト看做ス

蠶絲法組合法 蠶絲業組合法施行期日ノ件 蠶絲業組合法施行令

第七十五條 日本中央蠶絲會ヲ設立セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員タル資格ヲ有スルモノノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ會則ヲ議定シ役員ヲ選任シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ
第三十六條第一項ノ規定ハ前項ノ創立總會ノ決議ニ之ヲ準用ス

前二項ノ場合ニ於テ會員タル資格ヲ有スルモノノ員數ノ計算ニ付テハ前條第二項ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ニ以上アル場合ニ於テハ之ヲ一箇ノ生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ト看做ス

第七十六條 日本中央蠶絲會ニ總會ヲ置ク
總會ハ會長、副會長、議員及特別議員ヲ以テ之ヲ組織ス
日本中央蠶絲會ノ議員ハ其ノ會員タル蠶絲業組合聯合會又ハ蠶絲業組合ニ於テ之ヲ選任シ特別議員ハ主務大臣之ヲ命ズ

特別議員ノ員數ハ議員定數ノ五分ノ一以内トス
前二項ニ規定スルモノノ外議員ノ選任及解任並ニ特別議員ノ命免ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第七十七條 日本中央蠶絲會ニ左ノ役員ヲ置ク
會長 一人

日本中央蠶絲會成立シタルトキハ其ノ成立ノ日ヨリ一年以内ニ蠶絲業同業組合中央會ハ解散ヲ爲スコトヲ要ス

蠶絲業組合法施行期日ノ件

昭和六年七月八日勅令第七十四號

蠶絲業組合法ハ昭和六年七月十五日ヨリ之ヲ施行ス

蠶絲業組合法施行令

昭和六年七月九日勅令第七十五號

第一條 蠶絲業組合ノ經費ノ分賦又ハ過怠金ノ徵收ノ通知ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ其ノ蠶絲業組合ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ其ノ蠶絲業組合ノ組合長ハ遲滞ナク決定ヲ爲シ異議申立人ニ之ヲ通知スベシ

第二條 養蠶業組合（道府縣ノ區域ヲ地區トスル養蠶業組合ヲ除ク）ノ組合員ニシテ前條第二項ノ規定ニ依リ決定ヲ受ケタルモノ其ノ決定ニ不服アルトキハ地方長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ農林大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル地方長官ノ裁決ニ付テハ當該養蠶業組合ノ組合長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

道府縣ノ區域ヲ地區トスル養蠶業組合又ハ養蠶業組合以外ノ蠶絲業組合ノ組合員ニシテ前條第二項ノ規定ニ依リ決定ヲ受ケタルモノ其ノ決定ニ不服アルトキハ農林大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三條 前條第一項ノ規定ニ依リ地方長官ニ訴願セントスルトキハ其ノ決定ヲ爲シタル養蠶業組合ヲ經由スベシ
前項ノ規定ハ前條第三項ノ規定ニ依リ農林大臣ニ訴願セントスル場合ニ之ヲ準用ス

第四條 蠶絲業組合法第九條第二項ノ規定ニ依ル處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ地方長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
第五條 異議ノ申立又ハ訴願若ハ行政訴訟ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ起算シ三十日以内ニ之ヲ爲スベシ

異議ノ申立ニ關シテハ訴願法第五條、第八條第三項、第九條、第十條及第十二條乃至第十四條ノ規定ヲ準用ス
第六條 蠶絲業組合解散ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第七條 蠶絲業組合ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス
第八條 蠶絲業組合解散シタルトキハ組合長ヲ以テ其ノ清

算人トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキ又ハ總會ニ於テ選任シタル者アルトキハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ行政官廳清算人ヲ選任ス清算人關ケタルトキ亦同ジ

第九條 清算人ハ蠶絲業組合ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス
清算方法及財産處分ニ付テハ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ
第十條 行政官廳必要ト認ムルトキハ清算方法及財産處分ノ變更ヲ命ジ又ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得
第十一條 蠶絲業組合合併ヲ爲サントスルトキハ各蠶絲業組合ハ其ノ組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

合併ニ因リテ蠶絲業組合ヲ設立セントスル場合ニ於テハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關スル行爲ハ各蠶絲業組合ノ組合長共同シテ之ヲ爲シ各蠶絲業組合ノ總會ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス
前項ノ承認ハ各蠶絲業組合ノ總會ニ於テ組合員半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス
第二項ノ總會ニ於テハ組合員ハ他ノ組合員ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト看做ス

前項ノ規定ニ依ル委任ヲ受ケタル者ハ代理權ヲ證スル書面ヲ提出スベシ

第十二條 蠶絲業組合分割ヲ爲サントスルトキハ其ノ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ノ外分割ノ各蠶絲業組合ノ組合員又ハ組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得總會ヲ開キ命令ノ定ムル所ニ依リ各蠶絲業組合ノ權利義務ノ限度ヲ定メ定款ヲ議定シ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第十三條 合併後存續スル蠶絲業組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル蠶絲業組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル蠶絲業組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第十四條 第六條乃至第十條ノ規定ハ蠶絲業組合聯合會及日本中央蠶絲會ニ之ヲ準用ス但シ日本中央蠶絲會ノ解散ノ場合ニ於ケル會員ノ員數ノ計算ニ付テハ蠶絲業組合法第七十四條第二項ノ規定ニ依リ會員タル生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ニ於テハ之ヲ一箇ノ生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ト看做ス

蠶絲業組合聯合會又ハ日本中央蠶絲會ノ會員前項ノ規定

蠶絲業組合法施行令 蠶絲業組合法施行規則

ニ依リ準用スル第六條ノ同意ヲ爲スニ付テハ其ノ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

附 則

本令ハ蠶絲業組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（昭和六年七月十五日ヨリ施行）

蠶絲業組合法施行規則

昭和六年七月十日農林省令第十七號

第一章 蠶絲業組合

第一條 蠶絲業組合法第二十二條第一項ノ規定ニ依ル養蠶實行組合ノ届出アリタルトキハ地方長官ハ養蠶實行組合ノ名稱、事務所ノ所在地及設立ノ年月日ヲ告示スベシ其ノ告示シタル事項ニ付變更ノ届出アリタルトキ亦同ジ

第二條 蠶絲業組合ヲ設立セントスルトキハ組合員タル資格ヲ有スル者發起人ト爲リ他ノ組合員タル資格ヲ有スル者ニ地區、創立費用、收支豫算及經費ノ分賦收入方法ノ概要ヲ通知シ設立ノ同意ヲ求ムベシ

第三條 發起人創立總會ヲ召集セントスルトキハ少クとも二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ組合員タル資格ヲ有スル者ニ通知シ且之ヲ公告スベシ

第四條 創立總會ニ於テハ組合員タル資格ヲ有スル者ハ他ノ組合員タル資格ヲ有スル者ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行

フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト看做ス
前項ノ規定ニ依ル委任ヲ受ケタル者ハ代理權ヲ證スル書
面ヲ提出スベシ

創立總會ノ議長ハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ム
第二十一條ノ規定ハ創立總會ニ之ヲ準用ス

第五條 蠶絲業組合ノ負擔ニ歸スベキ創立費用及其ノ償却
方法ハ創立總會ノ承認ヲ經ベシ

第六條 創立總會終了シタルトキハ發起人ハ遲滞ナク設立
認可申請書ヲ行政官廳ニ提出スベシ

前項ノ認可申請書ニハ定款、收支豫算及經費ノ分賦收入
方法ヲ記載シタル書面、設立ニ付法定ノ同意アリタルコ
トヲ證スル書面、創立費用ノ明細書並ニ議事録ノ謄本ヲ
添附スベシ

第二十四條第四項ノ規定ハ第一項ノ認可申請書ニ之ヲ準
用ス

蠶絲業組合法第十七條第一項但書ノ場合ニ於テハ前二項
ノ規定ニ依リ添附スベキ書類ノ外其ノ事由ヲ記載シタル
書面ヲ添附スベシ

第七條 農林大臣蠶絲業組合ノ設立ヲ命ジタルトキハ左ニ
掲グル事項ヲ告示ス

一 蠶絲業組合ノ種類

二 區域

三 創立委員ノ氏名又ハ名稱及住所
前項第三號ノ創立委員ハ組合員タル資格ヲ有スル者ノ中
ヨリ之ヲ命ズ

第八條 創立委員ハ定款ヲ作成シ農林大臣ニ設立ノ認可ヲ
申請スベシ

蠶絲業組合成立シタルトキハ創立委員ハ互選ニ依リ最初
ノ役員ノ就任アル迄組合長ノ職務ヲ行フ者ヲ定ムベシ
前項ノ組合長ノ職務ヲ行フ者ハ遲滞ナク總會ヲ召集スベ
シ

前項ノ總會ニ於テハ役員ヲ選任シ收支豫算及經費ノ分賦
收入方法ヲ議決スベシ

蠶絲業組合ノ負擔ニ歸スベキ創立費用及其ノ償却方法ハ
第三項ノ總會ノ承認ヲ經ベシ

第九條 蠶絲業組合ノ定款ニハ蠶絲業組合法及同法ニ基キ
テ發スル命令ニ規定スルモノノ外左ニ掲グル事項ヲ記載
スベシ

- 一 目的
- 二 事業
- 三 名稱
- 四 地區

員ニ付前號ニ掲グル事項

前項ノ書類ノ外行政官廳ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命
ズルコトアルベシ

第十三條 蠶絲業組合法第三十條第二項ノ規定ニ依リ認可
申請書ニハ事業報告書及脱退ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ
添附スベシ

第十四條 左ニ掲グル者ハ製絲業組合ノ組合員ヨリ之ヲ除
外ス

一 玉絲又ハ野蠶絲ノミノ製造ヲ業トスル者

二 座繰ノ方法ニ依リテノミ生絲ノ製造ヲ業トスル者

第十五條 蠶絲業組合ハ組合員名簿ヲ調製シ之ヲ事務所ニ
備ヘ置クベシ

組合員名簿ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 組合員ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所

二 經費賦課ノ基礎ト爲ルベキ事項

組合員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ蠶絲業組合
ハ遲滞ナク之ヲ訂正スベシ

組合員名簿ノ閱覽ヲ求ムル者アリタルトキハ蠶絲業組合
ハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第十六條 總會ヲ召集セントスルトキハ少クトモ二週間前
ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ總會ヲ組織スル者

五 事務所ノ所在地

六 役員ニ關スル規定

七 會議ニ關スル規定

八 會計ニ關スル規定

第十條 行政官廳蠶絲業組合ノ設立ヲ認可シタルトキハ其
ノ蠶絲業組合ノ名稱、地區、事務所ノ所在地及認可ノ年
月日ヲ告示スベシ其ノ告示シタル事項ニ變更アリタルト
キ亦同シ

第十一條 農會、産業組合又ハ産業組合聯合會ニシテ蠶絲業
組合法第三十條第一項ノ規定ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受
ケテ養蠶業組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得ルモノ左ノ如シ

一 町村農會、市農會又ハ郡農會

二 販賣組合又ハ販賣組合聯合會

第十二條 蠶絲業組合法第三十條第一項ノ規定ニ依ル認可
申請書ニハ會則又ハ定款ノ謄本及事業報告書並ニ左ニ掲
グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

一 町村農會、市農會又ハ販賣組合ニ在リテハ其ノ會員
又ハ組合員ノ數並ニ會員又ハ組合員ニシテ養蠶ヲ爲ス
モノ及養蠶實行組合ノ組合員タルモノノ數

二 郡農會又ハ販賣組合聯合會ニ在リテハ其ノ會員タル
町村農會ノ會員又ハ其ノ所屬組合タル販賣組合ノ組合

ニ通知スベシ

前項ノ期間ハ定款ヲ以テ之ヲ短縮スルコトヲ得

第十七條 總會ニ於テハ前條ノ規定ニ依リ通知シタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ定款ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條 總會ニ於テハ組合員ハ他ノ組合員ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト看做ス

前項ノ規定ニ依ル委任ヲ受ケタル者ハ代理權ヲ證スル書面ヲ提出スベシ

第十九條 蠶絲業組合法第三十三條第一項ノ規定ニ依リ總會ノ議決ヲ經ベキ統制ニ關スル施設左ノ如シ但シ日本中央蠶絲會又ハ蠶絲業組合聯合會ノ決議ニ依リ行フモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 生産ノ調節ニ關スル施設

二 取引數量及取引價格ノ統制ニ關スル施設

第二十條 總會ノ議長ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外組合長ヲ以テ之ニ充ツ組合長事故アルトキ又ハ蠶絲業組合法第三十四條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

第二十一條 總會ノ議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲グル事項ヲ

記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名又ハ記名捺印スベシ

一 開會ノ日時及場所

二 總會ヲ組織スル者ノ員數

三 出席者ノ員數

四 議事ノ要領

五 議決シタル事項及賛否ノ數

第二十二條 蠶絲業組合ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第二十三條 收支豫算及經費ノ分賦收入方法ノ認可申請書ハ毎年二月末日迄ニ行政官廳ニ之ヲ提出スベシ但シ第八條第四項ノ規定ニ依リ議決シタル收支豫算及經費ノ分賦收入方法ノ認可申請書ハ總會終了後遲滞ナク之ヲ提出スベシ

第二十四條 蠶絲業組合法第三十三條第一項第三號、第七號及第八號ニ掲グル事項ノ認可申請書ニハ總會ノ議事録ノ謄本ヲ添付スベシ
定款、收支豫算及經費ノ分賦收入方法ノ變更竝ニ借入金ノ認可申請書ニハ理由書ヲ添付スベシ尙借入金ノ認可申請書ニハ利率、期間、擔保ノ有無及種別、借入先竝ニ償還ノ方法ヲ記載シタル書面ヲ添付スベシ

統制ニ關スル施設ノ認可申請書ニハ其ノ施設ヲ行ハントスル事由及施設ノ概要ヲ記載シタル書面ヲ添付スベシ
役員選任ノ認可申請書ニハ履歷書ヲ添付スベシ

第二十五條 事業報告及收支決算ハ次ノ事業年度内ニ總會ノ承認ヲ受ケ遲滞ナク行政官廳ニ之ヲ提出スベシ

第二十六條 左ノ場合ニ於テハ蠶絲業組合ハ遲滞ナク其旨行政官廳ニ届出ヅベシ

一 定款ノ施行又ハ事業ノ執行ニ關スル規程ヲ設ケ又ハ之ヲ改廢シタルトキ

二 役員ノ退任アリタルトキ

三 清算人ノ就任又ハ退任アリタルトキ

第二十七條 蠶絲業組合ノ役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四箇年トス但シ補闕ノ役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新ニ設ケタル役員ノ任期ハ他ノ役員ノ殘任期間トス
役員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十八條 蠶絲業組合ノ解散ノ認可申請書ニハ法定ノ同意アリタルコトヲ證スル書面ヲ添付スベシ

第二十九條 蠶絲業組合ノ清算了シタルトキハ清算人ハ清算ニ關スル一切ノ書類ヲ添へ其旨行政官廳ニ届出ヅベシ

第三十條 蠶絲業組合ノ合併ノ認可申請書ニハ法定ノ同意アリタルコトヲ證スル書面及合併後存続スル蠶絲業組合又ハ合併ニ因リテ設立スル蠶絲業組合ノ定款ヲ添付スベシ

第三十一條 蠶絲業組合法施行令第十二條ノ總會ニ於テハ分割ノ各蠶絲業組合ノ權利義務ノ限度ニ付テハ組合員ノ半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決シ分割ノ各蠶絲業組合ノ定款ニ付テハ各蠶絲業組合ノ組合員又ハ組合員タル資格ヲ有スル者各別ニ之ヲ議決ス

前項ノ定款ノ議事ハ分割ノ當該蠶絲業組合ノ組合員又ハ組合員タル資格ヲ有スル者半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

第三十二條 規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十三條 蠶絲業組合ノ分割ノ認可申請書ニハ法定ノ同意アリタルコトヲ證スル書面、分割ノ各蠶絲業組合ノ定款及其ノ權利義務ノ限度ヲ記載シタル書面ヲ添付スベシ
第三十三條 行政官廳蠶絲業組合ノ解散、合併又ハ分割ヲ認可シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第二章 蠶絲業組合聯合會及日本中央蠶絲會
第三十四條 道府縣養蠶業組合聯合會ノ議員ハ其ノ會員タル養蠶業組合ニ於テ其ノ役員又ハ其ノ組合員タル養蠶實

行組合、農會、産業組合若ハ産業組合聯合會ノ役員ノ中ヨリ之ヲ選任ス

全國養蠶業組合聯合會ノ議員ハ其ノ會員タル道府縣養蠶業組合聯合會又ハ養蠶業組合ニ於テ道府縣養蠶業組合聯合會ニ在リテハ其ノ役員又ハ其ノ組合員タル養蠶實行組合、農會、産業組合若ハ産業組合聯合會ノ役員ノ中ヨリ之ヲ選任ス

全國産業組合製絲組合聯合會ノ議員ハ其ノ會員タル産業組合製絲組合ニ於テ其ノ役員又ハ其ノ組合員タル産業組合若ハ産業組合聯合會ノ役員ノ中ヨリ之ヲ選任ス

前三項以外ノ蠶絲業組合聯合會ノ議員ハ其ノ會員タル蠶絲業組合ニ於テ其ノ役員又ハ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

第三十五條 蠶絲業組合聯合會ノ會員ハ議員事故アル場合ニ代ハルベキ豫備議員ヲ選任スベシ

前條ノ規定ハ前項ノ豫備議員ニ之ヲ準用ス

第三十六條 蠶絲業組合聯合會ノ議員及豫備議員ノ定數ハ會則ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第三十七條 第二十七條ノ規定ハ蠶絲業組合聯合會ノ議員及豫備議員ニ之ヲ準用ス

第三十八條 蠶絲業組合聯合會ノ總會ノ議長ハ會則ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外會長ヲ以テ、會長事故アルトキ

豫備議員及特別議員ニ之ヲ準用ス

第四十四條 日本中央蠶絲會ノ會員ノ行フ蠶絲業ノ統制ニ關スル施設ニシテ蠶絲業組合法第七十八條第一項ノ規定ニ依リ日本中央蠶絲會ノ承認ヲ受クルコトヲ要スルモノ左ノ如シ但シ日本中央蠶絲會ノ決議ニ依リ行フモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 生産ノ調節ニ關スル施設

二 取引數量及取引價格ノ統制ニ關スル施設

日本中央蠶絲會ノ會員前項ニ規定スル施設ニ付承認ヲ受ケントスルトキハ其ノ施設ヲ行ハントスル事由及施設ノ概要ヲ具シ承認申請書ヲ日本中央蠶絲會ニ提出スベシ

前項ノ承認申請書ニハ總會ノ議事録ノ謄本ヲ添附スベシ

第四十五條 前條第一項ニ規定スル施設ニ付日本中央蠶絲會ノ會員ノ農林大臣ニ提出スル認可申請書ニハ日本中央蠶絲會ノ承認アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第四十六條 第二條、第三條、第四條第三項、第四項、第五條、第六條第一項乃至第三項、第九條、第十條、第十六條、第十七條、第十九條、第二十一條乃至第二十九條及第三十三條ノ規定ハ蠶絲業組合聯合會及日本中央蠶絲會ニ之ヲ準用ス但シ第三條及第十六條中二週間トアルハ蠶絲業組合法第五十七條第二號乃至第七號ノ蠶絲業組合

ハ副會長ヲ以テ之ニ充ツ會長及副會長共ニ事故アルトキ又ハ蠶絲業組合法第六十八條ノ規定ニ依リ準用スル同法第三十四條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ム

第三十九條 日本中央蠶絲會設立ノ認可ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク總會ヲ開キ初年度ノ收支豫算及經費ノ分賦收入方法ヲ議決シ其ノ認可申請書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第四十條 日本中央蠶絲會ノ議員ハ其ノ會員タル蠶絲業組合聯合會、生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ニ於テ蠶絲業組合聯合會ニ在リテハ其ノ役員又ハ議員ノ中ヨリ、生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ニ在リテハ其ノ役員又ハ組合員ノ中ヨリ之ヲ選任ス

第四十一條 日本中央蠶絲會ノ議員ノ定數ハ三十人以内トシ各會員ニ付之ヲ同數ニ配當スベシ

前項ノ會員ニ付テハ蠶絲業組合法第七十四條第二項ノ規定ニ依リ會員タル生絲問屋業組合又ハ生絲輸出業組合ニ以上アル場合ニ於テハ之ヲ各一箇ノ會員ト看做ス

第四十二條 日本中央蠶絲會ノ會員ハ議員事故アル場合之ニ代ハルベキ豫備議員ヲ選任スベシ

前二條ノ規定ハ前項ノ豫備議員ニ之ヲ準用ス

第四十三條 第二十七條ノ規定ハ日本中央蠶絲會ノ議員、聯合會及日本中央蠶絲會ニ在リテハ之ヲ三週間トス

第七條及第八條ノ規定ハ蠶絲業組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第三十六條及第三十八條ノ規定ハ日本中央蠶絲會ニ之ヲ準用ス但シ第三十八條中第六十八條トアルハ之ヲ第七十九條トス

第三章 雜則

第四十七條 蠶絲業組合及道府縣養蠶業組合聯合會ヨリ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官ヲ經由スベシ

第四十八條 左ノ場合ニ於テハ地方長官ハ農林大臣ニ報告スベシ

一 養蠶業組合ノ設立、解散、合併又ハ分割ヲ認可シタルトキ

二 蠶絲業組合法第十二條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ若ハ處分ヲ爲シ又ハ同法第十三條ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキ

三 養蠶實行組合ノ設立ノ届出アリタルトキ

四 蠶絲業組合法第三十三條第一項第三號又ハ第七號ニ掲グル事項ノ認可ヲ爲シタルトキ

第四十九條 蠶絲業組合法第十二條及第十三條ニ於テ行政官廳ト稱スルハ地方長官及農林大臣トス

蠶絲業組合法第六十八條及第七十九條ノ規定ニ依リ準用

スル同法第十二條及第十三條ニ於テ行政官廳ト稱スルハ道府縣養蠶業組合聯合會ニ在リテハ地方長官及農林大臣トシ其ノ他ノ蠶絲業組合聯合會及日本中央蠶絲會ニ在リテハ農林大臣トス

蠶絲業組合法第二十二條第一項ニ於テ行政官廳ト稱スルハ地方長官トス

蠶絲業組合法第二十七條第一項、第三十條、第三十三條第二項及第三十四條第三項、第四項ニ於テ行政官廳ト稱スルハ地方長官トス但シ道府縣ノ區域ヲ地區トスル養蠶業組合ニ付テハ農林大臣トス

蠶絲業組合法第四十五條、第五十一條、第五十六條、第六十八條及第七十九條ノ規定ニ依リ準用スル同法第二十七條、第三十三條第二項及第三十四條第三項、第四項ニ於テ行政官廳ト稱スルハ農林大臣トス

蠶絲業組合法施行令第六條、第八條第二項、第九條第二項、第十條、第十一條第一項及第十二條並ニ本則第二十五條、第二十六條及第二十九條ニ於テ行政官廳ト稱スルハ養蠶業組合（道府縣ノ區域ヲ地區トスル養蠶業組合ヲ除ク）ニ在リテハ地方長官トシ道府縣ノ區域ヲ地區トスル養蠶業組合及養蠶業組合以外ノ蠶絲業組合ニ在リテハ農林大臣トス

養蠶實行組合及農事實行組合登記取扱手續

昭和六年六月十六日司法省令第十六號
昭和七年九月二十八日司法省令第三十九號改正

第一條 養蠶實行組合及農事實行組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テ之ヲ取扱フ（昭和七年改正）

第二條 養蠶實行組合登記簿及農事實行組合登記簿ハ附録第一號様式ニ依リ地方裁判所長ニ於テ之ヲ調製シ登記所ノ請求ニ因リ交付スベシ（昭和七年改正）

第三條 登記簿ニハ豫メ丁數ヲ記入スベシ

第四條 受附帳ハ附録第二號様式ニ依リ之ヲ調製スベシ

第五條 事變ヲ避クル爲登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ヲ登記所外ニ持出シタルトキハ登記官吏ハ速ニ其ノ旨ヲ司法大臣ニ具申スベシ

第六條 裁判所又ハ豫審判事ヨリ申請書其ノ他ノ附屬書類提出ノ命令又ハ送付ノ囑託アリタルトキハ登記官吏ハ其ノ關係アル部分ニ限り之ヲ送付スベシ

第七條 登記簿ノ全部又ハ一部ガ滅失シタルトキハ登記官吏ハ遲滞ナク其ノ事由、年月日、滅失シタル登記簿其ノ

養蠶實行組合及農事實行組合登記取扱手續

蠶絲業組合法施行令第十四條第一項ノ規定ニ依リ準用スル同令第六條、第八條第二項、第九條第二項及第十條並ニ本則第四十六條第一項ノ規定ニ依リ準用スル本則第二十五條、第二十六條及第二十九條ニ於テ行政官廳ト稱スルハ農林大臣トス

附 則

本令ハ蠶絲業組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（昭和六年七月十五日ヨリ施行）

重要物産同業組合法ニ依リ道府縣ヲ地區トシ設置シタル蠶絲業者ノ同業組合蠶絲業組合法ニ依ル蠶絲業組合ト爲ラントスル場合ニ於テハ組合會又ハ總會ヲ開キ蠶絲業組合ノ定款ヲ議定シ役員ヲ選任シ收支豫算及經費ノ分賦收入方法ヲ議決シ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ組合會又ハ總會ニ於テハ之ヲ組織スル者ノ半數以上出席シ其ノ表決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ議決スルコトヲ要ス

第六條第二項及第三項ノ規定ハ第二項ノ認可ノ申請ニ之ヲ準用ス

農林大臣蠶絲業組合法附則第二項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ蠶絲業組合ノ名稱、地區、事務所ノ所在地及認可ノ年月日ヲ告示ス其ノ告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同ジ

他登記ノ回復ニ必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シ且回復登記期間ヲ豫定シ地方裁判所長ニ申報スベシ但シ區裁判所出張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スベシ

地方裁判所長前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ相當ノ調査ヲ爲シタル後司法大臣ニ具申スベシ

第八條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類滅失ノ虞アルトキハ詳細其ノ狀況ヲ調査シ且適當ナル處理方法ヲ具シ前條ノ例ニ準ジ申報及具申ヲ爲スベシ

第九條 登記所ニハ印鑑簿、受附帳、申請書類送込帳及附本抄本證明書交付帳其ノ他必要ナル帳簿ヲ備フベシ

第十條 申請書、囑託書、通知書、許可書、管轄轉屬ニ因リ移送ヲ受ケタル登記簿謄本其ノ他附屬書類ハ受附番號ノ順序ニ依リ申請書類送込帳ニ之ヲ編綴スベシ

第十一條 印鑑ハ附録第三號様式ニ依リ之ヲ調製スベシ

第十二條 印鑑簿調製ノ様式及貼附ノ方法等ハ地方裁判所長之ヲ定ムベシ

第十三條 印鑑簿ハ永久ニ之ヲ保存スベシ

受附帳及申請書類送込帳ハ十年間其ノ他ノ帳簿ハ三年間之ヲ保存スベシ

前項ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第十四條 登記所ニ於テ登記ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ廢毀

セントスルトキハ目錄ヲ作り地方裁判所長ニ申報スベシ
但シ區裁判所出張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スベシ
第十五條 登記ノ申請ハ申請人又ハ其ノ代理人登記所ニ出
頭シテ之ヲ爲スベシ

第十六條 代理人ニ依リテ申請又ハ請求ヲ爲ス場合ニ於テ
ハ其ノ權限ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第十七條 理事其ノ他法律ニ依リ登記ノ申請ヲ爲スベキ者
ハ就職後遲滞ナク其ノ印鑑ヲ登記所ニ提出スベシ改印ヲ
爲シタルトキ亦同ジ

第十八條 登記ヲ爲シ又ハ申請書其ノ他登記ニ關スル書面
ヲ作ルニハ字劃ヲ明瞭ニスベシ

年月日及番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ文字ヲ用フベシ
文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ズ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲
シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ
括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ仍讀ミ得ベ
キ爲字體ヲ存スベシ

第十九條 申請書ガ數葉ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目
ニ契印スベシ但シ其ノ者ガ多數ナルトキハ其ノ一人ノ契
印ヲ以テ足ル

第二十條 登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ
請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ト共ニ原本ニ相

キコトノ證明ヲ請求スル者ハ申請書ニ通テ提出スベシ
前項ノ申請書ニハ證明ヲ請求スル事項ヲ記載シ申請人之
ニ署名捺印スベシ
登記官吏ハ申請書ノ一通ニ證明文ヲ附シ年月日ヲ記載シ
テ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ申請人ニ交付
スベシ

第二十六條 登記ノ申請人ハ申請書ヲ提出シテ登記濟證ノ
交付ヲ請求スルコトヲ得
前項ノ申請書ニハ登記ノ件名ヲ記載シ申請人之ニ署名捺
印スベシ

登記官吏ハ附錄第四號様式ニ依リ登記濟證ヲ作製シ之ヲ
申請人ニ交付スベシ

第二十七條 組合ガ其ノ主タル事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ
移轉シタル場合ニ於テ新所在地ノ登記所ニ移轉ノ登記ヲ
申請スルトキハ申請書ニ舊所在地ニ於ケル登記簿ノ謄本
ニシテ一用紙ノ全部ヲ謄寫シタルモノヲ添附スベシ

第二十八條 登記官吏ガ申請又ハ囑託ニ關スル書類ヲ受取
リタルトキハ遲滞ナク總テノ事項ヲ調査スベシ

第二十九條 登記官吏ガ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳
ニ登記ノ目的、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及受附番號
ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スベシ

養蠶實行組合及農事實行組合登記取扱手續

違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添附スベシ
登記官吏ガ書類ノ原本ヲ還付スルトキハ其ノ謄本ニ原本
還付ノ旨ヲ記載シテ捺印スベシ
第二十一條 登記簿若ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽又
ハ登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ申請書ヲ
提出スベシ

第二十二條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽ヲ
請求スル場合ニ於テハ申請書ニ閱覽セントスル登記事項
又ハ書類ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スベシ

申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ
申請書ニ利害ノ關係ヲ説明スルニ足ルベキ事由ヲ記載シ
又ハ之ニ其ノ關係ヲ説明スルニ足ルベキ書面ヲ添附スベ
シ

第二十三條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル場合
ニ於テハ申請書ニ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル登記及
手数料ノ金額ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スベシ

抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ前項ニ掲グ
ル事項ノ外其ノ請求スル部分ヲ記載スベシ
第二十四條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スル場合
ニ於ケル郵送料ハ郵便切手ヲ以テ之ヲ納付スベシ

第二十五條 登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナ

前項ノ規定ハ登記官吏ガ第十條ニ掲グル書類ヲ受取リタ
ル場合ニ之ヲ準用ス

第三十條 受附帳ニ申請人ノ氏名ヲ記載スル場合ニ於テ多
數ナルトキハ申請書ニ掲ゲタル筆頭ノ者ノミノ氏名及他
ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第三十一條 登記ヲ爲スニハ登記用紙中相當欄ニ登記事項
及登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スベシ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載スルコトナクシテ登記
ヲ完了シタルトキハ其ノ空欄ニ朱線ヲ交叉スベシ但シ後
日登記スルコトアルベキ事項ノ爲設ケタル欄ニ付テハ此
ノ限ニ在ラズ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載シタル場合ニ於テ同欄
内ニ餘白アルトキハ其ノ餘白ニ朱線ヲ交叉スベシ
豫備欄又ハ變更欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ左側ニ縱
線ヲ劃シテ餘白ト分界スベシ

第三十二條 申請書ニ記載シタル代理人ノ氏名、住所ハ登
記簿ニ之ヲ記載スルコトヲ要セズ

第三十三條 登記用紙中或欄ガ登記ヲ爲スベキ餘白ナキニ
至リタルトキハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其ノ番號ノ第
二ナルコト竝ニ前用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及
其ノ繼續用紙ナルコトヲ記載シ且前用紙中登記番號ノ左

側ニ第一ノ文字竝ニ新用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スベシ
前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其ノ欄ニ登記スベキ事項ニ付テハ仍之ニ登記ヲ爲スベシ
前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條 組合ノ設立ノ場合ヲ除ク外蠶絲業組合法第二十三條第二項ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載スベシ
破産法第百二十二條及和議法第八條ノ規定ニ依ル登記ハ豫備欄ニ之ヲ爲スベシ

第三十五條 更正又ハ抹消ノ登記ハ其ノ登記用紙中變更欄ニ之ヲ爲スベシ

第三十六條 行政區劃又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登記官吏ハ登記用紙中變更欄ニ新舊ノ名稱及變更アリタル旨ヲ記載シ之ニ捺印シ其ノ記載ヲ更正スルコトヲ要ス

第三十七條 蠶絲業組合法第二十六條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第百五十一條ノ二第一項ノ規定ニ依ル通知書ニハ登記ヲ爲シタル事件ノ表示及其ノ登記ガ蠶絲業組合法又ハ産業組合法ノ規定ニ依リ許スベカラザルモノナル

轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其ノ部分ニ屬スル登記簿ノ謄本及申請書其ノ他ノ附屬書類又ハ其ノ謄本ヲ乙登記所ニ移送スベシ

前項ノ場合ニ於テハ甲登記所ノ登記用紙中豫備欄ニ乙登記所ニ管轄變更シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

第四十四條 前條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本及申請書其ノ他ノ附屬書類又ハ其ノ謄本ヲ移送ヲ受ケタルトキハ乙登記所ハ登記簿ノ謄本ニ依リ抹消ニ係ラザル部分ノミノ登記ヲ移スベシ

登記簿ニ登記ヲ移スニハ登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其ノ左側ニ前登記管轄ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載シ豫備欄ニ管轄變更ニ因リ登記ヲ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スベシ

第四十五條 登記用紙ヲ閉鎖スルニハ登記番號ヲ朱抹スベシ

第四十六條 登記簿又ハ申請書其ノ他ノ附屬書類ノ閱覽ハ登記官吏ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムベシ

第四十七條 登記簿ノ謄本ハ登記簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作り其ノ末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シタルモノヲ添

養蠶實行組合及農事實行組合登記取扱手續

コトヲ記載スベシ(昭和七年改正)

第三十八條 蠶絲業組合法第二十六條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第百五十一條ノ四ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由ヲモ記載スベシ

第三十九條 蠶絲業組合法第二十六條ニ於テ準用スル非訟事件手續法第百五十一條ノ六第二項ノ規定ニ依リ登記ノ更正ヲ爲ス場合ニ於テハ許可アリタル旨及其ノ年月日ヲモ記載スベシ

第四十條 變更、更正又ハ抹消ノ登記ヲ爲シタルトキハ變更、更正又ハ抹消スベキ登記事項ヲ朱抹スベシ但シ抹消ノ登記ヲ爲シタルニ因リ登記用紙ヲ閉鎖スベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

抹消ノ登記ヲ更正スル場合ニ於テハ抹消セラレタル登記ヲ復活スベシ
第四十一條 組合ガ其ノ主タル事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ

第四十二條 破産手續終結ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スベシ但シ強制和議認可決定ノ確定ニ因リ破産手續終結シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
第四十三條 甲登記所ノ管轄地ノ一部ガ乙登記所ノ管轄ニ

附シテ每葉ノ綴目ニ契印ヲ爲シ登記官吏之ニ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ押捺スベシ

此ノ謄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認證ス

前項ノ規定ハ登記簿ノ抄本ニ之ヲ準用ス但シ抄本用紙ハ半紙罫紙ヲ用フベシ

第四十八條 登記簿ノ謄本ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外登記簿一用紙ノ全部ヲ遺漏ナク謄寫シテ之ヲ作ルベシ但シ請求ニ因リ抹消ニ係ラザル登記ノミノ謄寫シテ之ヲ作ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ認證文ニ其ノ旨ヲ附記スベシ

登記簿ノ謄本ニ餘白アルトキハ其ノ部分ニ朱線ヲ交叉シ又ハ餘白ナルコトヲ表示スベシ

第四十九條 登記官吏ガ其ノ職務上過料ニ處セラルベキ者アルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク其ノ事件ヲ管轄地方裁判所長ニ通知スベシ

附 則

本令ハ蠶絲業組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭和六年七月十五日ヨリ施行)

附則(昭和七年九月二十八日司法省令第三十九號)本令ハ昭和七年法律第三十號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭

蠶絲業組合法關係法規

和七年十月一日ヨリ施行)

本令施行前調製シタル養蠶實行組合登記簿ハ既ニ登記ヲ爲シタルモノナルト否トヲ問ハズ當分ノ内其ノ儘之ヲ使用スルコトヲ得

本法施行前登記ヲ爲シタル事項ニシテ昭和七年法律第三十號附則第六條ノ規定ニ依リ登記ヲ要セザルニ至リタルモノハ本令施行後遲滞ナク之ヲ朱抹シ其ノ年月日及事由ヲ傍ニ朱書シ登記官吏捺印スベシ

附錄第一號(昭和七年改正)

養蠶實行組合(農事實行組合)登記簿

區 裁 判 所

紙數表紙ヲ除キ

枚

地方裁判所長

更	變	更	變
更	變	更	變

養蠶實行組合及農事實行組合登記取扱手續

登記番號	第一欄	第二欄	第三欄	第四欄	第五欄	第六欄	第七欄
登記ノ年	月	日	及	登記ノ年	月	日	登記ノ年
第一欄	ヨリ	マデ	ヨリ	第二欄	ヨリ	マデ	ヨリ
一	名	稱	二	事	務	所	ノ
三	目	的	四	設	立	日	ノ
五	理	事	ノ	住	所	氏	名
六	由	散	ノ	日	及	年	月
七	所	氏	名	住	所	氏	名
八	年	月	日	年	月	日	年
九	登	記	日	登	記	日	登
十	日	登	記	日	登	記	日

更	變	更	變
更	變	更	變

附錄第二號(昭和七年改正)

養蠶實行組合(農事實行組合)登記受附帳

區 裁 判 所

受附ノ年	月	日	受附ノ番	號	登記ノ目	的	申請人ノ氏	名	備	考

蠶絲業組合法關係法規

附錄第三號(用紙厚紙五十五種橫三種)(昭和七年改正)

何郡(市)何町(村)何番地
 何々養蠶實行組合(農事實行組合)
 何々(實務ヲ) 何
 何年何月何日生 某

附錄第四號

登記簿ノ種類	登記簿ノ番號	登記ノ件名	申請人ノ氏名、住所	登記ノ年月日	右登記簿ナルコトヲ證ス
登記簿ノ種類	登記簿ノ番號	登記ノ件名	申請人ノ氏名、住所	登記ノ年月日	右登記簿ナルコトヲ證ス
登記簿ノ種類	登記簿ノ番號	登記ノ件名	申請人ノ氏名、住所	登記ノ年月日	右登記簿ナルコトヲ證ス
登記簿ノ種類	登記簿ノ番號	登記ノ件名	申請人ノ氏名、住所	登記ノ年月日	右登記簿ナルコトヲ證ス
登記簿ノ種類	登記簿ノ番號	登記ノ件名	申請人ノ氏名、住所	登記ノ年月日	右登記簿ナルコトヲ證ス
登記簿ノ種類	登記簿ノ番號	登記ノ件名	申請人ノ氏名、住所	登記ノ年月日	右登記簿ナルコトヲ證ス
登記簿ノ種類	登記簿ノ番號	登記ノ件名	申請人ノ氏名、住所	登記ノ年月日	右登記簿ナルコトヲ證ス
登記簿ノ種類	登記簿ノ番號	登記ノ件名	申請人ノ氏名、住所	登記ノ年月日	右登記簿ナルコトヲ證ス
登記簿ノ種類	登記簿ノ番號	登記ノ件名	申請人ノ氏名、住所	登記ノ年月日	右登記簿ナルコトヲ證ス
登記簿ノ種類	登記簿ノ番號	登記ノ件名	申請人ノ氏名、住所	登記ノ年月日	右登記簿ナルコトヲ證ス

◎司法省令第十七號(昭和六年六月十六日)

蠶絲業組合法ニ於ケル行政官廳一覽表 (蠶絲局調査)

事項	關係條文	養蠶實行組合	養蠶業組合(道府縣區及域ヲ除ク)	養蠶業組合(其ノ他蠶業組合)	日本中央蠶絲會
業務報告、定款變更等ノ監督命令	十二、六十八、七十九	地方長官	地方長官	地方長官	農林大臣
議決ノ取消、事業ノ停止等	十三、六十八、七十九	地方長官	地方長官	地方長官	農林大臣
設立ノ届出	二十二	地方長官	農林大臣	農林大臣	農林大臣

大正十四年司法省令第二十號中「家畜保險組合登記簿」ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ
 養蠶實行組合登記簿
 附則
 本令ハ蠶絲業組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 ◎司法省令第四十五號(昭和七年十月十日)
 大正十四年司法省令第二十號中「牧野組合登記簿」ノ次ニ左ノ三號ヲ加フ
 商業組合登記簿
 商業組合聯合會登記簿
 農事實行組合登記簿
 附則
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

設立ノ認可	總會招集者指定	解散、合併、分割ノ認可	清算人選任	清算方法及財產處分ノ認可	清算方法、財產處分、變更命令、清算人ノ解任	事業報告及收支決算ノ提出	定款施行細則制定、役員退任等ノ届出	清算終了届出
二十七、四十五、五十一、五十六、六十三、七十五	三十一、四十五、五十一、五十六、六十八、七十九	三十一、四十五、五十一、五十六、六十八、七十九	三十一、四十五、五十一、五十六、六十八、七十九	三十一、四十五、五十一、五十六、六十八、七十九	三十一、四十五、五十一、五十六、六十八、七十九	三十一、四十五、五十一、五十六、六十八、七十九	三十一、四十五、五十一、五十六、六十八、七十九	三十一、四十五、五十一、五十六、六十八、七十九
地方長官	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣	農林大臣

養蠶實行組合解散届出報告ニ關スル件

製絲業法

昭和七年九月七日法律第二十九號

第一條 本法ニ於テ製絲業者トハ命令ヲ以テ規定スル者ヲ除クノ外器械生絲ノ製造ヲ業トスル者ヲ謂フ

器械生絲ノ製造工場ヲ有スル産業組合及産業組合聯合會ハ命令ヲ以テ規定スルモノヲ除クノ外本法ノ適用ニ付テハ之ヲ製絲業者ト看做ス

第二條 製絲業者タラントスル者ハ主務大臣ノ免許ヲ受クベシ

前項ノ免許ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 主務大臣ハ製絲業者ニ對シ製絲業ノ統制上必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第四條 製絲業者免許ヲ受ケタル日ヨリ二年以内ニ事業ヲ開始セザルトキハ主務大臣ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得
製絲業者引續キ二年以上其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ爲サザルトキハ主務大臣ハ其ノ免許ヲ取消シ又ハ其ノ事業ヲ制限スルコトヲ得

第五條 製絲業者ノ所爲ニシテ本法ニ基キテ發スル命令若ハ處分ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ免許ヲ取消シ又ハ其ノ事業ヲ

製絲業法

制限シ若ハ停止スルコトヲ得

第六條 主務大臣又ハ地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ製絲業者ニ對シ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ當該官吏ヲシテ事務所、營業所、工場、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ若ハ帳簿物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帯スベシ

第七條 第二條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル制限又ハ禁止ニ違反シタル者

二 第三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

三 第四條第二項ノ規定ニ依ル制限又ハ第五條ノ規定ニ依ル制限若ハ停止ノ處分ニ違反シタル者

四 正當ノ理由ナクシテ第六條ノ規定ニ依ル臨檢檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ其ノ尋問ニ對シ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者

第九條 製絲業者正當ノ理由ナクシテ第六條ノ規定ニ依ル報告ヲ怠リタルトキハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 製絲業者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第十一條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ製絲業者ニ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和七年十月勅令第三百十一號ヲ以テ同年十月二十日ヨリ施行）
本法施行ノ際現ニ製絲業者タル者又ハ其ノ承繼人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ日ヨリ之ヲ本法ニ依リ免許ヲ受ケタル者ト看做ス

製絲業法施行規則

昭和七年十月十五日農林省令第三十二號

第一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ製絲業法第一條第一項ノ製絲業者ヨリ之ヲ除外ス
一 利用組合ノ有スル器械生絲ノ製造工場（製絲工場）ヲ

シ
第四條 製絲業ノ免許申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ
一 事業計畫書
二 設備要領書
三 免許ヲ受ケントスル者法人ナルトキハ定款、登記簿ノ謄本、財産目錄及貸借對照表
四 二人以上共同シテ免許ヲ受ケントスルトキハ事業ニ關スル各共同者ノ出資額及權利義務ノ關係ヲ記載シタル書類
五 製絲業以外ノ事業ヲ兼營スル場合ニ於テハ其ノ兼營事業ノ大要ヲ記載シタル書類
二人以上共同シテ免許ヲ受ケントスルトキハ内一人ヲ代表者ト定メ其ノ氏名又ハ名稱ヲ免許申請書ニ記載スベシ
第一項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第五條 繰絲ノ工程ヲ行フ製絲工場ノ事業計畫書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
一 製絲工場ノ所在場所
二 揚返又ハ束裝以後ノ工程ヲ行ハザル場合ニ於テハ之ヲ行フ製絲工場ノ名稱及所在場所

製絲業法施行規則

利用シテノミ生絲ノ製造ヲ業トスル者
二 他ノ製絲業者ニ委託シテノミ生絲ノ製造ヲ業トスル者

第二條 製絲業法第二條ノ免許ハ製絲工場毎ニ之ヲ爲スモノトス

第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ製絲業ノ免許ヲ爲サズ
一 揚返又ハ束裝以後ノ工程ノミヲ行フ場合ヲ除クノ外製絲工場ニ百五十釜以上ノ繰絲機ヲ備ヘザルトキ
二 免許申請者ガ製絲業ノ免許ヲ取消サレ又ハ事業ノ制限ヲ受ケタル後一年ヲ經過セザル者ナルトキ
三 免許申請者ガ製絲業法第五條ノ規定ニ依リ事業ノ停止ヲ受ケ事業休止中ノ者ナルトキ
四 免許申請者ガ製絲業法第七條乃至第九條ノ規定ニ依リ處罰ヲ受ケタル後一年ヲ經過セザル者ナルトキ
五 前各號ノ外農林大臣ニ於テ不適當ト認ムルトキ
前項第一號ノ規定ハ自家用生絲ノ製造ノミヲ行フ製絲工場ニ付テハ之ヲ適用セズ

農林大臣特別ノ事由アリト認ムルトキハ産業組合又ハ産業組合聯合會ノ製絲工場ニシテ百五十釜未満百釜以上ノ繰絲機ヲ備フルモノニ付製絲業ノ免許ヲ爲スコトアルベシ
三 一年間ノ原料消費見込數量
四 一年間ノ目的織度別生絲製造見込數量
五 従業員ノ種類及員數
六 起業費ノ收支概算
七 事業ノ收支概算
八 事業開始ノ豫定年月日
揚返又ハ束裝以後ノ工程ノミヲ行フ製絲工場ノ事業計畫書ニハ前項第一號及第五號乃至第八號ニ掲グル事項ノ外左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
一 一年間ノ生絲取扱見込數量
二 取扱生絲ニ付繰絲ノ工程ヲ行フ工場ノ名稱、所在場所及一年間ノ目的織度別生絲製造見込數量
第六條 設備要領書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
一 建物ノ種類及面積並ニ構造ノ概要
二 繰絲機ノ名稱、釜數及緒數
三 揚返機ノ窓數
四 煮繭機ノ名稱、煮繭能力及臺數
五 生絲ノ整理及検査ニ關スル設備ノ種類、名稱及員數
六 繭ノ乾燥及貯藏ニ關スル設備ノ名稱、能力及員數
前項ノ設備要領書ニハ敷地内ノ建物及設備ノ配置圖並ニ敷地附近ノ概況圖ヲ添付スベシ

製絲業法關係法規

- 第七條 製絲業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ
- 一 揚返又ハ束裝以後ノ工程ヲ行ハザル製絲工場ニ於テ新ニ揚返又ハ束裝以後ノ工程ヲ行ハントスルトキ
 - 二 繰絲機又ハ揚返機ヲ増設シ又ハ廢棄セントスルトキ
- 前項ノ認可申請書ニハ設備要領書並ニ事業ノ擴張又ハ繰絲機若ハ揚返機ノ増設若ハ廢棄ニ伴フ起業費ノ收支概算及事業ノ收支概算ヲ記載シタル書類ヲ添付スベシ
- 前條ノ規定ハ前項ノ設備要領書ニ之ヲ準用ス
- 第八條 左ニ掲グル場合ニ於テハ製絲業ノ免許ハ其ノ效力ヲ失フ但シ第一號ノ場合ニ於テ其ノ相續人又ハ合併後存續スル法人若ハ合併ニ因リテ設立シタル法人ガ引續キ其ノ事業ヲ行フトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 製絲業者死亡シ又ハ解散シタルトキ
 - 二 免許ヲ受ケタル製絲工場ニ付事業ノ廢止アリタルトキ
 - 三 免許ヲ受ケタル製絲工場滅失シタルトキ
- 前項但書ノ場合ニ於テハ左ニ掲グル書類ヲ具シ死亡又ハ解散ノ日ヨリ三十日以内ニ農林大臣ニ其ノ旨ヲ届出ヅベシ
- 一 相續又ハ合併アリタルコトヲ證スル書類
 - 二 合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リテ設立シタル法人ニ在リテハ定款、財産目錄及貸借對照表ヲ具シ其ノ届出ヲ爲スベシ

- 人ニ在リテハ定款、財産目錄及貸借對照表
- 第九條 製絲業者ハ毎年七月三十一日迄ニ前年六月一日ヨリ當年五月三十一日迄ノ一年間ノ事業概況書ヲ農林大臣ニ提出スベシ
- 第十條 左ニ掲グル場合ニ於テハ製絲業者ハ遲滞ナク農林大臣ニ其ノ旨ヲ届出ヅベシ
- 一 製絲業者其ノ氏名若ハ名稱又ハ住所若ハ事務所ヲ變更シタルトキ
 - 二 製絲業者タル法人其ノ定款ヲ變更シタルトキ
 - 三 製絲業者其ノ事業ヲ開始シタルトキ
 - 四 製絲業者タル法人ノ代表者又ハ第四條第二項ノ代表者ニ變更アリタルトキ
 - 五 製絲業者製絲工場ノ名稱ヲ定メタルトキ又ハ之ヲ變更シタルトキ
 - 六 製絲業者其ノ事業ヲ休止シ又ハ休止シタル事業ヲ再ビ開始シタルトキ
 - 七 製絲業者其ノ事業ヲ廢止シタルトキ
 - 八 製絲工場ノ全部又ハ一部滅失シタルトキ
 - 九 製絲業者タル法人其ノ組織ヲ變更シタルトキ
 - 十 製絲業者製絲工場ニ付一切ノ權限ヲ有スル工場管理人ヲ置キタルトキ又ハ之ヲ變更シタルトキ

附 則

- 十一 製絲業者製絲業以外ノ事業ヲ新ニ兼營シタルトキ又ハ兼營事業ヲ廢止シタルトキ
- 前項第九號ノ場合ニ於テハ組織變更アリタルコトヲ證スル書類、定款、財産目錄及貸借對照表ヲ具シ其ノ届出ヲ爲スベシ
- 第十一條 製絲業法第六條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル
- 第十二條 本則ノ適用ニ關シ多條繰絲機(十以上ノ緒ヲ備フル繰絲機ヲ謂フ)ノ釜數ノ計算ニ付テハ釜數ヲ計算スベキ多條繰絲機ヲ通ジ總緒數ヲ十ヲ以テ除シタル數ヲ以テ其ノ釜數トス
- 第十三條 製絲業法又ハ本則ノ規定ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ製絲工場ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スベシ
- 第十四條 製絲業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
- 一 第七條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ
 - 二 免許又ハ認可ノ條件ニ違反シタルトキ
- 第十五條 製絲業者本則ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スベキ場合ニ於テ届出ヲ怠リタルトキハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

- 第十六條 本令ハ製絲業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭和七年十月二十日ヨリ施行)
- 第十七條 製絲業法附則第二項ノ規定ニ基キ同法ニ依リ免許ヲ受ケタル者ト看做サルル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者及其ノ包括承繼人トス
- 一 製絲業法施行ノ際現ニ製絲業ヲ行フ目的ヲ以テ製絲工場ヲ有スル者
 - 二 製絲業法施行ノ際現ニ製絲工場ヲ有スル産業組合及産業組合聯合會
 - 三 製絲業法施行ノ際現ニ製絲工場ノ建設工事ヲ實施シツツアル者
- 第十八條 前條ノ規定ニ該當スル者ハ製絲業法施行ノ日ヨリ二月内ニ製絲工場毎ニ左ニ掲グル事項ヲ具シ農林大臣ニ届出ヅベシ
- 一 最近二年間ニ於ケル事業ノ概況
 - 二 前條第三號ニ該當スル者ニ在リテハ製絲工場ノ建設工事ニ著手シタル年月日、其ノ工事進捗ノ程度及事業開始ノ豫定年月日
- 第四條ノ規定ハ前項ノ届出ニ之ヲ準用ス
- 前項ノ規定ニ依リ届出ヲ添附スベキ事業計畫書ニハ繰絲

製絲業法施行規則

製絲業法關係法規

ノ工程ヲ行フ製絲工場ニ在リテハ第五條第一項第一號乃至第五號ニ掲グルノ事項ヲ、揚返又ハ束裝以後ノ工程ノミヲ行フ製絲工場ニ在リテハ同條同項第一號及第五號並ニ同條第二項各號ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
第六條ノ規定ハ第二項ノ規定ニ依リ届出ニ添附スベキ設備要領書ニ之ヲ準用ス

第十九條 左ニ掲グル場合ニ於テハ農林大臣ハ第三條第一項第一號ノ規定ニ拘ラズ製絲業ノ免許ヲ爲スコトアルベシ

- 一 本令施行前一年内ニ滅失シタル製絲工場ヲ有シタル者又ハ其ノ包括承繼人同一場所ニ於ケル同等以上ノ規模ノ製絲工場ニ付本令施行ノ日ヨリ一年内ニ製絲業ノ免許ヲ申請シタルトキ
- 二 本令施行ノ際貸付中ナリシ製絲工場ノ返還ヲ受ケ製絲業ヲ行ハントスル者其ノ製絲工場ニ付製絲業ノ免許ヲ申請シタルトキ
- 三 製絲業法附則第二項ノ規定ニ基キ同法ノ規定ニ依リ免許ヲ受ケタル者ト看做サルル者又ハ前二號ノ規定ニ依リ免許ヲ受ケタル者當該製絲工場滅失シタル爲同一場所ニ於ケル同等以上ノ規模ノ製絲工場ニ付滅失シタル日ヨリ一年内ニ製絲業ノ免許ヲ申請シタルトキ

ハ尙左記ノ點諒知ノ上取扱相成度此段及通牒候也

記

- 一 免許申請書ニ添附スベキ事業計畫書及設備要領書ハ別記様式ニ依リ作成セシメラルルコト
- 二 免許申請書ヲ受理シタルトキハ之ニ貴官ノ意見書及左記各號ノ事項ノ調書ヲ添附シテ進達セラルルコト
 - (一) 免許申請者(法人ナルトキハ其ノ代表者)ノ經歷及信用程度
 - (二) 免許申請者個人ナルトキハ其ノ資産概要調(資産、負債共)
 - (三) 免許申請者産業組合及産業組合聯合會ナルトキハ區域内ノ上繭産額及養蠶戸數
 - (四) 既設製絲工場特ニ既設産業組合製絲ニ及ボス影響(繭、職工ノ需給關係等)
- 三 左記各號ノ一ニ該當スル事項ヲ調査ノ上十一月五日迄ニ農林大臣ニ報告セラルルコト
 - (一) 本法施行ノ際現ニ製絲工場ノ建設工事ヲ實施シツツアル者アルトキハ其ノ氏名又ハ名稱、工場ノ建設場所、工場ノ規模及工事進捗ノ程度
 - (二) 本法施行前一年内ニ滅失シタル製絲工場ヲ有シタル者又ハ其ノ包括承繼人アルトキハ其ノ氏名又ハ

製絲業法施行ニ關スル件

前項ノ免許申請書ニハ第四條乃至第六條ノ規定ニ依ル書類ノ外同項第一號又ハ第三號ノ場合ニ在リテハ滅失ノ時期及原因並ニ滅失シタル製絲工場ノ設備ノ概要ヲ記載シタル書類ヲ、同項第二號ノ場合ニ在リテハ本令施行ノ際貸付中ナリシコトヲ證スル書類ヲ添附スベシ
別記様式

第 號 年 月 日 交付

製絲業法第六條第二項ノ規定ニ依ル證票

官	農林省又ハ 道府縣印
職	氏
名	

縦八・五種 横六・〇種

製絲業法施行ニ關スル件

昭和七年十月十五日附七蠶局第五六〇號蠶絲局長通牒
先般公布相成候製絲業法ハ十月二十日ヨリ施行ノコト相成今後ノ製絲業ニ對スル指導監督方ノ大綱ニ關シテハ別途農林次官ヨリ依命通牒セラレ候次第ノ處同法ノ施行ニ付テ

名稱、滅失シタル工場ノ所在場所及規模、滅失ノ時期及原因

(三) 本法施行ノ際製絲工場ヲ貸付中ノ者アルトキハ其ノ氏名又ハ名稱、貸付工場ノ所在場所及規模、貸付期限、借用者ノ氏名又ハ名稱

別記

様式第一號

事業計畫書

- 第一 繰絲ノ工程ヲ行フ製絲工場ノ事業計畫書
 - 一 製絲工場ノ所在場所
郡、市町村大字地番
 - 二 揚返又ハ束裝以後ノ工程ヲ行フ工場ノ名稱及所在場所

名	稱	所	在	場	所

注意 揚返又ハ束裝以後ノ工程ヲ行ハザル場合ニ限り記載スベシ

三 一箇年ノ原料繭消費見込數量

製絲業法關係法規

春夏秋ノ別	見込數量
春蠶繭	
夏秋蠶繭	
計	

注意 數量ハ乾繭重量ニテ記載スベシ
四 一箇年ノ目的織度別生絲製造見込數量

目的織度	春蠶繭絲	夏秋蠶繭絲	計
十四中	實	實	實
二十一中			
計			

五 從業員ノ種類及員數

種類	男	女	計
作業監督員			
線絲工			
計			

七 事業ノ收支概算

計		
---	--	--

(一) 收入

科目	金額	備考
計	円	

(二) 支出

科目	金額	備考
計	円	

注意 一、收支概算ハ平年度分ヲ記載スベシ
二、備考欄ニハ金額算出ノ基礎ヲ詳細ニ記載スベシ

製絲業法施行ニ關スル件

六 起業費ノ收支概算

計					
煮繭工					
揚返工					
束裝工					
検査工					
雑工					

(一) 收入

科目	金額	備考
計	円	

(二) 支出

科目	金額	備考
計	円	

八 事業開始ノ豫定年月日

年 月 日

第二 揚返又ハ束裝以後ノ工程ノミヲ行フ製絲工場ノ事業計畫書

本事業計畫書ニハ第一第一號及第五號乃至第八號ニ掲グル事項ノ外左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
一 一年間ノ生絲取扱見込數量

目的織度	春蠶繭絲	夏秋蠶繭絲	計
十四中	實	實	實
二十一中			
計			

二 取扱生絲ノ線絲ヲ爲ス工場ノ名稱、所在場所、線絲機ノ釜數及一箇年ノ目的織度別生絲製造見込數量

工場名	所在場所	釜數	一箇年生絲製造見込數量
			十四中 中 一 中 計
			實 實 實 實

製絲業法關係法規

- 一 製絲業法第六條ノ規定ニ依ル製絲業取締官吏（地方待遇職員ヲ含ム）中技術ニ關スル取締官吏ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヲ命ズルコト但シ該當者ナキトキ又ハ該當者ヲ命ズルモ尙足ラザルトキハ蠶絲業ニ關スル技術ニ從事スル者ヲ命ズルコト
- (一) 實業專門學校ニ於テ主トシテ製絲業ニ關スル學科ヲ修メ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者
- (二) 修業年限二年ノ高等小學卒業程度ヲ入學資格トスル修業年限三年以上ノ實業學校又ハ專門學校ノ別科ニ於テ主トシテ製絲業ニ關スル學科ヲ修メ卒業シ且三年以上製絲ニ關スル公務ニ從事シタル者
- 二 製絲業取締官吏ヲ命免シタルトキハ其ノ官職氏名ヲ報告スルコト
- 三 毎年四月三十日迄ニ前年度ニ於ケル製絲業取締官吏別ノ臨檢検査ノ件數、目的及其ノ結果並ニ臨檢検査ヲ爲シタル製絲業者ノ氏名又ハ名稱、製絲工場名及製絲工場所在場所ヲ報告スルコト
- 四 製絲業法第七條乃至第十一條並ニ製絲業法施行規則第十四條及第十五條ノ規定ニ依ル事犯アリタルトキハ其ノ都度違反者ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ事務所及事

- 犯ノ内容並ニ處理ノ概要ヲ報告スルコト
- 五 百五十釜未滿百釜以上ノ繰絲機ヲ備フル産業組合又ハ産業組合聯合會ノ製絲工場ノ免許申請書ニハ百五十釜以上ノ繰絲機ヲ備フルコトヲ困難トスル特別ノ事由ヲ詳記シタル書類ヲ添附セシメラルコト
- 六 自家用生絲ノ製造ノミヲ行フ製絲工場ノ免許申請書ニハ製絲業法施行規則第四條ノ書類ノ外製造シタル生絲ノ加工ノ種類、加工設備ノ所在場所及一年間ノ加工能力ヲ記載シタル書類ヲ添附セシメラルコト
- 七 製絲業法施行規則第七條ノ認可申請書ノ進達ニ付テモ免許申請書ノ進達ノ場合ニ準ジ貴官ノ意見書ヲ添附セラルルコト
- 八 製絲業法施行ニ關スル細則等ヲ制定シタルトキハ報告スルコト
- 九 製絲業法施行規則第九條ノ事業概況書ハ別記様式ニ依リ作成セシメラルコト

製絲業法施行ニ關スル件

昭和八年一月十四日附八蠶局第一五號蠶絲局長通牒

製絲業法施行ニ付テハ客年十月十五日附七蠶局第五六〇號

及十一月十日附七蠶局第六〇八號ヲ以テ及通牒置候處尙左記ノ點諒知ノ上取扱相成度此段及通牒候也

追テ繰絲機及揚返機ヲ増設シ又ハ廢棄セムトスルトキハ豫メ農林大臣ノ認可ヲ要スル義ニ有之候處之ガ手續ヲ執ラズシテ増設又ハ廢棄ヲ爲スモノ有之哉ノ風聞有之候條貴管下製絲業者ニ對シ右ノ違反ナカラシムル様充分取締相成度尙繰絲機及揚返機改設ノ場合ハ必ず廢棄ト増設ト競合スル義ニ付廢棄増設二様ノ認可ヲ受ケシムル様取扱相成度候

記

- 一、製絲工場ノ所有者ニ變更アリタルトキハ一箇月分ヲ取纏メ翌月十五日迄ニ之ヲ報告スルコト
- 二、施行規則第六條ニ依ル設備要領書中同一目的ノ建物二棟以上アル場合ニハ同要領書及圖面ニ夫々符號ヲ附シ對照ニ便ナラシムルコト
- 三、施行規則第七條ニ基ク認可申請書添附書類ハ昭和七年十月十五日附通牒ノ様式ニ依ルモノナルモ尙其ノ記載方ニ付テハ左ノ取扱フコト
- イ、繰絲機及揚返機ノ廢棄増設ニ伴ヒ設備要領書中變更ノ生ズル項目ニ付テハ當該項目ノ建物又ハ設備ノ全部ニ付記載シ備考欄ヲ設ケ既設、廢棄、増設ノ別

製絲業法施行ニ關スル件 製絲業免許方針ニ關スル件

- ヲ明示シ變更ナキ項目ニ付テハ之ガ記載ヲ省略シ其ノ旨ヲ記載スルコト
- ロ、敷地内ノ建物及設備配置圖ニハ設備要領書中變更ノ生ズル建物設備ノ位置ヲ明示スルコト
- ハ、事業ノ收支概算書ハ繰絲機及揚返機ノ變更後ニ於ケル其ノ工場全部ノ一箇年收支概算ヲ記載スルコト
- 四 死亡以外ノ原因ニ因リ製絲業ヲ相續シタル者ハ製絲業法施行規則第八條第二項ノ規定ニ準ジ届出ルコト

製絲業免許方針ニ關スル件

昭和七年十月十八日十九日兩日地方蠶絲業關係官會議注意事項

- 一 製絲業法施行規則第三條第一項第五號ノ「農林大臣ニ於テ不適當ト認ムルトキ」ニ該當スル場合ハ左ノ如シ
 - (一) 特別ノ事由ナキ限り原料繭ノ乾燥、貯藏並ニ生絲ノ揚返、束裝ニ必要ナル設備ヲ備ヘザルトキ
 - (二) 設備ノ全部ヲ運轉スルニ必要ナル従業員ノ設置計畫ナキトキ
 - (三) 固定設備ハ自己資金ニ依リ之ヲ支辨セズ又原料資金ニ付テモ其ノ全部ヲ借入調達ニ依ルガ如キ資力薄キモノナルトキ
 - (四) 既設製絲工場ノ經營特ニ既設組合製絲ノ經營ニ對シ

- 甚シク惡影響ヲ及ボス虞アルトキ
- (五) 免許申請者(法人ナルトキハ其ノ代表者)ノ信用程度甚シク不良ナルトキ
- (六) 兼營事業ノ爲ニ製絲事業ノ健全ナル經營ニ支障ヲ來スト認メラルルトキ
- 二 製絲業法施行規則第三條第三項ノ特別ノ事由アル場合トシテハ産業組合又ハ産業組合聯合會ガ其ノ區域又ハ組合員ノ關係上百五十釜以上ノ工場ヲ經營スルニ足ル原料繭ヲ蒐ムルコト困難ナル場合ニ限ル

四 絲價安定融資補償法關係法規

絲價安定融資補償法

昭和四年三月二十八日法律第十四號

第一條 生絲ノ價格ガ一般經濟狀況ニ照シ異常ナル低落ヲ爲シ蠶絲業ノ基礎ヲ危クスル虞アル場合ニ於テ其ノ價格ノ安定ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ政府ハ銀行ガ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ニ對シ主務大臣ノ定ムル條件ニ從ヒ生絲ヲ擔保トシ手形割引ノ方法ニ依リ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ因リ損失ヲ受クルトキ銀行ニ對シ其ノ損失ニ付補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得
前項ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ニ對シ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ者ニ對シ銀行ガ前項ノ條件ニ從ヒ生絲ヲ擔保トシ手形割引ノ方法ニ依リ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

一 生絲ノ問屋
二 主務大臣ガ絲價委員會ノ議ヲ經テ適當ト認ムル者
前二項ノ規定ニ依リ政府ガ損失補償ノ契約ヲ爲スニ付テハ絲價委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス
絲價委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第二條 損失補償ノ契約ヲ爲スコトヲ得ル期間ハ本法施行

絲價安定融資補償法

ノ日ヨリ五年トス

第三條 損失補償ノ契約ニ基キ政府ノ支拂フベキ損失補償金ノ總額ハ三千萬圓ヲ超ユルコトヲ得ズ

第四條 第一條ノ損失ハ銀行ガ擔保トシテ受取リタル生絲ニ付債權ノ辨濟ヲ受ケ尙不足アルトキ其ノ不足分トス
前項ノ損失ニ付政府ノ補償スベキ額ハ損失補償ノ契約ニ定ムル金額ノ制限其ノ他ノ條件ニ從ヒ絲價安定融資補償審査會之ヲ決定ス
絲價安定融資補償審査會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 銀行ガ擔保トシテ受取リタル生絲ヲ債權ノ辨濟ヲ受クル爲處分セントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ
主務大臣前項ノ認可ヲ爲サントスルトキハ絲價委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

第六條 政府ガ銀行ニ對シテ支拂フベキ損失補償金ハ五分利附國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第七條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第八條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ主務大臣之ヲ定ム

第九條 損失ノ補償ヲ受ケタル銀行ハ命令ノ定ムル所ニ依リ債權ノ取立ヲ爲シ其ノ取立金ヲ政府ニ納付スベシ
銀行ハ命令ノ定ムル所ニ依リ生絲ノ問屋其ノ他生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ノ爲ニ生絲ノ販賣ヲ爲ス者ヲシテ其ノ取扱ニ係ル生絲ノ販賣代金中ヨリ前項ノ債券ノ取立ヲ爲サシムルコトヲ得

第十條 損失ノ補償ヲ受クルノ契約ヲ爲シタル銀行ガ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ損失補償ノ契約ニ違反シタルトキハ政府ハ契約ヲ解除シ、損失ノ全部若ハ一部ニ付補償ヲ爲サズ又ハ損失補償金ノ全部若ハ一部ノ償還ヲ命ズルコトヲ得

第十一條 主務大臣本法施行ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者及第一條第二項各號ノ一ニ該當スル者ニ對シ其ノ事業又ハ財產ニ關スル報告ヲ爲サシメ、其ノ事業又ハ財產ノ狀況ヲ検査シ其ノ他必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得
第十二條 本法ノ適用ニ付テハ產業組合中央金庫ハ之ヲ銀行ト看做ス

附 則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

農林大臣ハ前項ノ申請ヲ爲シタル銀行ヲシテ損失補償ノ契約ヲ爲スニ付必要ト認ムル書類ヲ提出セシムルコトアルベシ

第三條 農林大臣損失補償ノ契約ヲ爲シタルトキハ契約ヲ爲シタル銀行ノ資金ノ融通ヲ爲スベキ營業所ノ名稱及所在地ヲ告示ス

第四條 銀行絲價安定融資補償法第五條第一項ノ認可ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

- 一 處分セントスル事由
- 二 處分セントスル生絲ノ數量、品質及保管ノ場所
- 三 處分ノ時期、場所及方法

第五條 銀行損失ノ補償ヲ受ケントスルトキハ請求書ニ損失ニ關スル計算書及必要ナル證據書類ヲ添ヘ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

第六條 銀行損失ノ補償ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク債權ノ取立ヲ爲スベシ但シ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ノ事業ノ經營ヲ困難ナラシムルノ虞アル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テハ銀行ハ其ノ債權ニ付絲價安定融資補償法第九條第二項ノ規定ニ依リ取立ヲ爲スベシ

絲價安定融資補償法施行期日 絲價安定融資補償法施行規則

絲價安定融資補償法施行期日

昭和四年八月十二日勅令第二百五十六號

絲價安定融資補償法ハ昭和四年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

絲價安定融資補償法施行規則

昭和四年八月三十一日農林省令第二十號

第一條 農林大臣絲價安定融資補償法第一條ノ規定ニ依リ損失補償ノ契約ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキハ絲價委員會ノ議ヲ經テ左ノ事項ヲ定メ之ヲ告示ス

- 一 損失補償ノ條件
- 二 銀行(產業組合中央金庫ヲ含ム以下同ジ)ノ爲ス資金融通ノ條件
- 三 絲價安定融資補償法第一條第二項各號ノ一ニ該當スル者ノ爲ス資金融通ノ條件
- 四 其ノ他必要ナル事項

農林大臣前項各號ノ事項ヲ變更スルトキハ絲價委員會ノ議ヲ經テ之ヲ告示ス

第二條 銀行損失ノ補償ヲ受クルノ契約ヲ爲サントスルトキハ申請書ニ融通セントスル資金ノ總額、補償ヲ受ケントスル總金額並ニ資金ノ融通ヲ爲スベキ營業所ノ名稱及所在地ヲ記載シ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

前項ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ銀行ハ別ニ債權ノ取立方法ヲ定ムベシ

前二項ノ場合ニ於テハ銀行ハ其ノ取立方法ニ付農林大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第七條 農林大臣ハ銀行ニ對シ債權ノ取立方法ノ變更ヲ命ジ其ノ他取立ニ關シ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第八條 銀行絲價安定融資補償法第九條第二項ノ規定ニ依リ債權ノ取立ヲ爲サントスルトキハ生絲ノ問屋其ノ他債務者ノ爲ニ生絲ノ販賣ヲ爲ス者ニ債務者ノ氏名又ハ名稱、債權ノ金額、取立ヲ爲サシメントスル金額其ノ他取立ニ關シ必要ナル事項ヲ通知スベシ

第九條 銀行債權ノ取立ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク取立金ヲ政府ニ納付スベシ但シ銀行補償ヲ受ケザル損失アル場合ニ於テハ政府ニ納付スベキ額ハ補償ヲ受ケタル額ト之ヲ受ケザル額トノ割合ニ應ジ之ヲ定ム
銀行農林大臣ノ認可ヲ受ケ手數料其ノ他取立ニ必要ナル費用ヲ支拂ヒタルトキハ取立金ヨリ先ヅ之ヲ控除スルコトヲ得

附 則

本令ハ絲價安定融資補償法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭和四年九月一日ヨリ施行)

絲價安定融資擔保生絲買收法

昭和七年七月一日法律第十八號

- 第一條 政府ハ生絲ノ價格ノ安定ヲ圖ル爲左ニ掲グル生絲ヲ一括シテ買入ルコトヲ得
 - 一 銀行ガ絲價安定融資補償法第一條ノ規定ニ依リ本法施行前ニ政府ト爲シタル損失補償ノ契約ニ基キ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ニ對シテ爲シタル資金融通ノ擔保タル生絲七千四百四十一荷口
 - 二 銀行ガ帝國蠶絲株式會社ニ對シ同社ガ絲價安定ノ爲昭和四年十一月ヨリ昭和五年六月迄ノ間ニ於テ行ヒタル生絲共同保管事業ノ資金トシテ爲シタル資金融通ノ擔保タル生絲二千三百九十荷口
- 第二條 生絲ノ買入代價ハ一荷口四千五百二十二圓二十五錢トス
 - 政府ノ買入レタル生絲中検査ノ結果品質著シク不良ナリト認ムルモノアルトキハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ買入代價ノ一部ヲ返還セシム
- 第三條 政府ハ其ノ買入レタル生絲ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條ノ銀行ヲシテ保管セシムルコトヲ得
 - 前項ノ保管ニ要スル經費ハ銀行ノ負擔トス

- 第四條 生絲ノ買入代價ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ買入ノ日ヨリ五年間ニ之ヲ分割シテ支拂フコトヲ得
- 第二條第二項ノ返還金ハ前項ノ支拂金額ヨリ之ヲ控除スルコトヲ得
- 第五條 生絲ノ買入代價ハ五分利附國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得
- 第六條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得
- 第七條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ主務大臣之ヲ定ム
- 第八條 政府ノ買入レタル生絲ノ處分ハ命令ノ定ムル所ニ依リ新規ノ用途又ハ販路ニ向ケラルベキ場合ニ限り之ヲ爲スコトヲ得
- 第九條 前條ノ規定ニ依ル生絲ノ處分ニ依ル收入金ニ相當スル金額ハ國債整理基金特別會計法第二條ノ規定ニ依リ繰入ノ外國債ノ元金償還ニ充ツル爲之ヲ一般會計ヨリ國債整理基金特別會計ニ繰入ルベシ但シ本法ニ依リ發行シタル公債ノ前年度首ニ於ケル未償還額ノ萬分ノ百十六ニ相當スル金額ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第十條 本法ノ適用ニ付テハ産業組合中央金庫ハ之ヲ銀行ト看做ス

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第九條但書ノ規定ニ依リ繰入ヲ要セザル金額ハ當分ノ内本法ニ依リ發行シタル公債ノ前年度首ニ於ケル未償還額ノ萬分ノ百十六ニ相當スル金額ノ三分ノ一トス

絲價安定融資擔保生絲買收法施行規則

昭和七年七月一日 農林省令

- 第一條 農林大臣ハ買入生絲ノ荷口ニ付絲價安定融資擔保生絲買收法第二條第二項ノ規定ニ依ル検査ヲ生絲検査所ヲシテ行ハシメ當該荷口中左ノ各號ノ一ニ該當スル生絲アリト認ムルトキハ買收生絲審査會ノ議ヲ經テ其ノ買入代價ノ一部返還金額ヲ決定ス
 - 一 切絲、蟲喰絲其ノ他著シク損傷シタルモノ
 - 二 著シク強伸力ヲ失ヒタルモノ
 - 三 著シク微ノ附著シタルモノ
 - 四 著シク總ノ膠著シタルモノ
- 前項ノ規定ニ依リ返還金額決定シタルトキハ農林大臣ハ遲滞ナク銀行（産業組合中央金庫ヲ含ム以下同ジ）ニ之ヲ通知ス

絲價安定融資補償法關係法規

又農林大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

附 則

本令ハ絲價安定融資損失善後處理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭和七年七月一日ヨリ施行)

絲價委員會官制

昭和四年八月十三日勅令第二百五十七號

第一條 絲價委員會ハ農林大臣ノ監督ニ屬シ絲價安定融資補償法第一條第二項第二號、同條第三項及第五條第二項ノ規定ニ依リ其ノ權限ニ屬セシメタル事項ヲ調査審議ス

第二條 絲價委員會ハ會長一人及委員十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 會長ハ農林大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ左ニ掲グル者ノ中ヨリ農林大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

- 一 關係各廳高等官
二 日本銀行副總裁

絲價安定融資補償法ニ依ル資金ノ融通ニ因リテ銀行(產業組合中央金庫ヲ含ム)ノ受ケタル損失ニ付政府ノ補償スベキ額ヲ決定ス

絲價安定融資補償審查會ハ前項ノ外絲價安定融資損失善後處理法ニ依ル損失補填ノ契約ニ基キ政府ノ補填スベキ額ヲ決定ス(昭和七年七月一日勅令第七號追加)

第二條 絲價安定融資補償審查會ハ會長一人及委員十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 會長ハ農林大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ農林大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ農林大臣ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第五條 絲價安定融資補償審查會ニ幹事ヲ置ク農林大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條 絲價安定融資補償審查會ニ書記ヲ置ク農林大臣之ヲ命ズ

書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

絲價委員會官制 絲價安定融資補償審查會官制

買收生絲審查會規則

- 三 橫濱正金銀行頭取
四 產業組合中央金庫理事長
五 蠶絲業同業組合中央會會長
六 社團法人大日本蠶絲會會頭
第四條 會長ハ會務ヲ總理ス
會長事故アルトキハ農林大臣ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第五條 絲價委員會ハ農林大臣ヲ經テ蠶絲業者其ノ他蠶絲ニ關シ知識經驗アル者ヨリ意見書ヲ徵シ又ハ其ノ出席ヲ求メテ意見ヲ聽クコトヲ得

第六條 絲價委員會ニ幹事ヲ置ク農林大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第七條 絲價委員會ニ書記ヲ置ク農林大臣之ヲ命ズ

書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

附 則
本令ハ絲價安定融資補償法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

絲價安定融資補償審查會官制
昭和六年三月二十六日勅令第十八號
改正昭和七年七月一日勅令第七號

第一條 絲價安定融資補償審查會ハ農林大臣ノ監督ニ屬シ

本令ハ絲價安定融資損失善後處理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭和七年七月一日勅令第七號追加)

附 則
昭和七年七月十六日決議ニヨリ設置
昭和七年七月十五日閣議承認

買收生絲審查會規則

第一條 買收生絲審查會ハ農林大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジ絲價安定融資擔保生絲買收法ニ依ル買入生絲ノ買入代價ノ一部返還ニ關スル事項ヲ調査審議ス

第二條 審查會ハ會長一人及委員七人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 會長ハ農林大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ左ニ掲グル者ノ中ヨリ農林大臣之ヲ命ジ又ハ囑託ス

- 一 大藏省高等官
二 農林省高等官
三 日本中央蠶絲會會長
四 橫濱正金銀行頭取
五 生絲輸出業者
六 生絲問屋業者

買收生絲審查會規則

附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

絲價委員會官制 絲價安定融資補償審查會官制

買收生絲審查會規則

附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

絲價委員會官制 絲價安定融資補償審查會官制

絲價安定融資補償法關係法規

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ農林大臣ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス

第五條 審査會ニ幹事ヲ置ク關係各廳高等官ノ中ヨリ農林大臣之ヲ命ジ又ハ囑託ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條 審査會ニ書記ヲ置ク農林省判任官ノ中ヨリ農林大臣之ヲ命ズ
書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

生絲需要増進調査會官制

昭和七年七月二十三日勅令第七十二號

第一條 生絲需要増進調査會ハ農林大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジ生絲ノ新規ノ用途又ハ販路ノ開拓其ノ他繭絲ノ需要増進ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

調査會ハ前項ノ外農林大臣ノ諮問ニ應ジ絲價安定融資擔保生絲買収法ニ依リ政府ノ買入レタル生絲ノ處分ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

第二條 調査會ハ會長一人及委員十五人以内ヲ以テ之ヲ組織ス
特別ノ事項ヲ調査審議スル爲必要アルトキハ臨時委員ヲ

置クコトヲ得

第三條 會長ハ農林大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員及臨時委員ハ農林大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ農林大臣ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第五條 調査會ニ幹事ヲ置ク農林大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條 調査會ニ書記ヲ置ク農林大臣之ヲ命ズ
書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

五 輸出生絲檢查法並生絲檢查所關係法規

輸出生絲検査法

大正十五年三月二十九日法律第三十五號
改正 昭和六年三月二十八日法律第二十六號

第一條 生絲ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ正量及品位ニ付
國ノ生絲検査所ノ検査ヲ受ケタルモノニ非サレハ之ヲ輸
出スルコトヲ得ス

主務大臣必要アリト認ムルトキハ公共團體ノ設クル生絲
検査所ヲシテ前項ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二條 生絲ハ前條ノ検査ニ依ル正量及品位ニ依ルニ非サ
レハ輸出ノ目的ヲ以テ其ノ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス
輸出ヲ業トスル者ノ主務大臣ノ指定スル地ニ於テ買入ノ
爲ニ爲ス生絲ノ賣買取引ハ之ヲ輸出ノ目的ヲ以テ爲スモ
ノト看做ス

第三條 主務大臣特別ノ事情ニ依リ前二條ノ規定ヲ適用ス
ル必要ナシト認ムル場合ハ命令ヲ以テ其ノ適用ヲ除外ス
ルコトヲ得

第四條 當該官吏取締上必要アリト認ムルトキハ店舗、倉
庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況及帳簿、生絲其ノ他
ノ物件ヲ検査スルコトヲ得其ノ場合ニ於テハ其ノ證票ヲ
携帯スヘシ

輸出生絲検査法

第五條 第一條及第二條ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下
ノ罰金ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第六條 正當ノ理由ナクシテ當該官吏ノ臨檢検査ヲ拒ミ、
妨ケ若ハ忌避シ又ハ其ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛
偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七條 生絲ヲ輸出シ又ハ輸出ノ目的ヲ以テ生絲ノ賣買取
引ヲ爲ス者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其
ノ他ノ從業者カ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之
ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テ
サルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第八條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ生絲ヲ輸
出シ又ハ輸出ノ目的ヲ以テ生絲ノ賣買取引ヲ爲ス者ニ適
用スヘキ罰則ハ其ノ者カ法人ナルトキハ理事、取締役其
ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治
產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ
關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ
限ニ在ラス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
生絲検査所法ハ之ヲ廢止ス

輸出生絲檢查法並生絲檢查所關係法規

本法施行前ノ賣買契約ニ因ル生絲ノ受渡及其ノ生絲ノ輸出ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ヲ適用セザルコトヲ得
輸出ヲ業トスル者カ本法施行前輸出ノ目的ヲ以テ買入ヲ了シ又ハ輸出ノ委託ヲ受ケタル生絲ノ輸出ニ付亦同シ

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行前ノ賣買契約ニ因ル生絲ノ受渡及其ノ生絲ノ輸出ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ヲ適用セザルコトヲ得
輸出ヲ業トスル者ガ本法施行前輸出ノ目的ヲ以テ買入ヲ了シ又ハ輸出ノ委託ヲ受ケタル生絲ノ輸出ニ付亦同ジ

輸出生絲檢查法施行期日ノ件

大正十五年八月二十日勅令第二百八十七號
輸出生絲檢查法ハ大正十六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和六年七月八日勅令第七十六號
昭和六年法律第二十六號ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

輸出生絲檢查法施行規則

昭和六年十二月十八日農林省令第二十九號

第一條 輸出生絲檢查法第一條第一項ノ規定ニ依ル正量及品位ノ檢查ヲ請求セントスル者ハ様式第一號ニ依ル檢查

請求書ニ檢查ヲ受クベキ生絲ヲ添ヘ之ヲ生絲檢查所ニ提出スベシ

前項ノ檢查請求ハ正量及品位ニ付各別ニ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第二條 生絲檢查所ニ於テ前條第一項ノ生絲ヲ受理シタルトキハ預證ヲ檢查請求者ニ交付スベシ

第三條 檢查ヲ受クベキ生絲ハ製造(外装ヲ施サザルモノ)トシテ之ヲ提出スベシ

第四條 檢查ハ生絲ノ各荷口ニ付之ヲ行フ

前項ノ場合ニ於ケル一荷口ハ十俵ヲ超エザルモノトス

第五條 品位檢查ハ肉眼檢查及器械檢查ニ依リ之ヲ行フ

肉眼檢查ハ一荷口全部ノ生絲ニ依リ左ノ項目檢查ヲ行フ

一 荷揃檢查

荷揃ノ状態ヲ檢查シ優、良、並又ハ稍劣ヲ以テ其ノ成績ヲ表ス

二 整理檢查

揚返、仕上及荷造ニ關スル缺點竝ニ荷傷ノ有無及程度ヲ檢查シ優、良、並又ハ稍劣ヲ以テ其ノ成績ヲ表ス

三 性状檢查

(一) 色相ニ付其ノ種類及程度ヲ檢查シ其ノ種類ハ白繭絲ニ在リテハ白、笹味、黃味、褐味又ハ黝味ヲ以テ、

黃繭絲ニ在リテハ黃、赤味又ハ黝味ヲ以テ之ヲ表シ其ノ程度ハ淡、中、濃又ハ極濃ヲ以テ之ヲ表ス

(二) 光澤ニ付其ノ種類及程度ヲ檢查シ其ノ種類ハ底光、並又ハ上光ヲ以テ、其ノ程度ハ強、並又ハ弱ヲ以テ之ヲ表ス

(三) 手觸ニ付其ノ硬軟及滑粗ヲ檢查シ其ノ硬軟ハ硬、並又ハ軟ヲ以テ、其ノ滑粗ハ滑、並又ハ粗ヲ以テ之ヲ表ス

器械檢查ハ肉眼檢查ヲ行ヒタル後五十本ノ供試料絲ヲ採取シ之ニ依リ左ノ項目檢查ヲ行フ

一 再繰檢查

五十本中ノ二十本ハ總ノ表ヨリ、他ノ二十本ハ總ノ裏ヨリ、他ノ十本ハ總ノ内部ヨリ各本ニ付左ノ區分ニ依ル卷取速度ヲ以テ繰返シ一時間ノ絲條切斷數ヲ檢查シテ其ノ總切斷數ヲ求メ之ヲ以テ再繰成績ヲ表ス

目的 織 度	一分間ノ卷取速度
十二「デニール」以下	百十メートル
十三「デニール」乃至十七「デニール」	百四十メートル
十八「デニール」以上	百六十五メートル

二 平均織度檢查

輸出生絲檢查法施行期日ノ件 輸出生絲檢查法施行規則

各本ヨリ絲長四百五十メートルノ織度絲四口宛合計二百口ヲ採リ之ヲ同時ニ乾燥シテ無水量ヲ求メ之ニ其ノ百分ノ十一ヲ加算シタル正量ニ依リテ平均織度ヲ求ム

三 織度偏差檢查

各本ヨリ絲長四百五十メートルノ織度絲四口宛合計二百口ヲ採リ各口ノ織度ヲ秤定シ其ノ總平均ト各口ノ織度トノ差ヲ求メ之ヲ平均シタルモノヲ以テ織度偏差ノ成績ヲ表ス

四 絲條斑檢查

各本ヨリ左ノ區分ニ依ル絲長ノ絲條二口宛合計百口ヲ採リ「セリブレン」ヲ使用シ一口ヲ一區劃トシテ板ニ卷附ケ各區劃ニ付絲條斑標準寫眞ト對照シテ附點ス

目的 織 度	絲 長
十三「デニール」以下	六百六十六メートル
十四「デニール」乃至十六「デニール」	五百メートル
十七「デニール」乃至二十二「デニール」	四百メートル
二十三「デニール」以上	三百三十三メートル

五 類節檢查

絲條斑成績ハ全區劃ノ平均點數及四分ノ一劣等區劃ノ平均點數ヲ以テ之ヲ表ス

各本ヨリ絲條斑検査ト同絲長ノ絲條ニ口宛合計百口ヲ採リ「セリアレン」ヲ使用シ一口ヲ一區劃トシテ板ニ卷附ケ各區劃ニ付左ノ類節區別ニ從ヒ大類及中類ニ在リテハ其ノ數ヲ檢定シ小類ニ在リテハ小類標準寫眞ニ對照シテ附點ス

類節區別		類別
大類	純節、大ズル節、撚附節、大繫節、大ビリ節	大類
中類	小ズル節、中繫節、中ビリ節、大環節及裂節	中類
小類	毛羽節及之ニ類スルモノ	小類

類節検査ノ成績ハ大中類成績及小類成績ニ分チ大中類成績ハ大類一箇ニ付〇・四點、中類一箇ニ付〇・一點ノ失點ヲ附シ全區劃ノ總失點數ヲ算出シ之ヲ百點ヨリ控除シタル點數ヲ以テ之ヲ表シ小類成績ハ全區劃ノ平均點數ヲ以テ之ヲ表ス

六 強力及伸度検査

十本ヨリ絲條一口宛合計十口ヲ採リ各口ノ織度ヲ秤定シタル後「セリアレン」ヲ使用シテ絲條切斷ノ際ニ於ケ

ル強力及伸度ヲ検査シ強力ハ「デニール」ニ對スルグラムヲ以テ、伸度ハ絲條ノ伸長割合ヲ以テ之ヲ算定シ各其ノ平均ニ依リ強力及伸度ノ成績ヲ表ス

七 抱合検査

十本ヨリ絲條一口宛合計十口ヲ採リ「コデニエラン」式抱合検査器ニ依リ一分間百四十回ヲ超エザル速度ヲ以テ絲條ヲ摩擦シ其ノ分裂ニ要スル摩擦回数ヲ検査シ其ノ平均ニ依リ抱合成績ヲ表ス

第六條 前條ノ規定ニ依リ検査ヲ爲シタル荷口ニハ附録ノ定ムル所ニ依リ格ヲ附ス

前項ノ格ノ等級ハA A A格、A A格、A格、B格、C格、D格、E格、F格、G格ノ順トス

第七條 正量検査ハ第五條第三項ノ供試料絲ヲ採取シタル後左ノ各號ニ掲グル方法ニ依リ之ヲ行フ

一 荷口全部ノ生絲ニ對シ各俵毎ニ其ノ全量ヲ秤量シ各俵ノ全量中ヨリ其ノ風袋量(第二號ノ供試料絲ヲ採取シタル俵ニ在リテハ其ノ風袋量及其ノ供試料絲ノ重量)ヲ控除シテ各俵ノ生絲ノ原量ヲ定ム

二 一荷口ノ總俵數ノ十分ノ四(端數ハ之ヲ切上グ)ニ相當スル俵數ノ生絲ニ付各俵毎ニ其ノ異レル括ヨリ採取シタル供試料絲八本ヲ同數ノ二區ニ分チ各區ニ付原

第十條 第五條第三項ノ供試料絲ニシテ検査ノ爲線取りタル部分ハ之ヲ還付セズ

第十一條 生絲検査所検査ヲ終リタルトキハ其ノ生絲ノ荷口ノ各俵ニ様式第二號ニ依ル検査照合票ヲ挿入シ様式第三號ニ依ル検査済證書ヲ結附シ且封印ヲ施スベシ封印ニハ様式第四號ニ依ル證明印ヲ捺捺スベシ

第十二條 生絲検査所前條ノ手續ヲ終リタルトキハ検査請求者ニ對シ検査終了ノ旨ヲ通知シ様式第五號乃至第八號ニ依ル檢定證各一通ヲ交付スベシ

第十三條 検査請求者前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク預證ト引換ニ生絲ノ引取ヲ爲スベシ

検査請求者前項ノ生絲ノ引取ヲ爲サザルトキハ生絲検査所長ハ検査請求者ノ負擔ニ於テ之ヲ返送スルコトヲ得

第十四條 検査請求者其ノ他検査ヲ受ケタル生絲ニ付利害關係アル者ハ檢定證ノ謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第十五條 汚損其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ検査済生絲ヲ改裝セントスル場合又ハ商標挿替ノ爲検査済生絲ヲ開封セントスル場合ニ於テハ申請書ニ生絲並ニ正量及品位ノ檢定證ヲ添ヘ之ヲ生絲検査所ニ提出シ検査済證書

ノ再結附及封印ノ再施行ヲ受クベシ

前項ノ検査済生絲ノ開封、改裝及商標ノ挿替ハ生絲検査

第八條 生絲検査所長検査ノ爲メ必要アリト認ムルトキハ荷口ノ整理ヲ爲スコトヲ得

第九條 生絲検査所長検査ニ關シ必要アリト認ムルトキハ検査請求者ヲシテ生絲ノ解裝又ハ包裝ヲ爲サシムルコトヲ得

輸出生絲検査法並生絲検査所關係法規

所ノ職員ノ指揮ニ從ヒ之ヲ爲スベシ

第十六條 生絲検査所長ハ前條ノ申請者ノ申請ニ依リ生絲検査所ノ所在地ニ於ケル申請者ノ店舗、倉庫其ノ他ノ場所ニ於テ前條ノ検査済證書ノ再結附及封印ノ再施行ヲ爲スコトヲ得前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス第十七條 生絲ヲ輸出ノ爲ニ於テハ検査済證書ノ票ノ證明ノ部分ハ之ヲ包裝ノ外部ニ表スベシ第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ輸出生絲検査法第一條及第二條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

- 一 玉絲又ハ野蠶絲ヲ輸出セントスルトキ
- 二 玉絲又ハ野蠶絲ヲ賣買取引セントスルトキ
- 三 本邦産ニ非ザル生絲ヲ賣買取引シ又ハ輸出セントスルトキ

四 商品見本用生絲ヲ賣買取引シ又ハ輸出セントスルトキ但シ見本ノミニ適スル數量ノモノニ限ル

五 博覽會、展覽會、品評會、共進會等ヘノ出品用、標本用、學術研究用其ノ他營利ノ目的ニ供セラレザル生絲ヲ賣買取引シ又ハ輸出セントスルトキ

前項第一號ノ場合ニ於テハ生絲ノ外装ニ玉絲又ハ野蠶絲ナル旨ヲ表示スベシ

第十九條 検査請求者生絲検査所ノ所在地ニ住所又ハ營業

看做ス
昭和六年農林省令第三十號ニ依ル改正前ノ生絲検査所検査及鑑定規則又ハ昭和四年十一月三十日神戸市告示甲第二十三號ニ依リ一荷口ニ付行ヒタル品位検査ハ検査ヲ受ケタル生絲ガ其ノ検査ニ基ク封印附ナル場合ニ限り之ヲ本則ニ依リ爲シタルモノト看做ス

昭和六年法律第二十六號施行前ノ賣買取約ニ因リ昭和七年一月三十一日以前ニ生絲ノ受渡ヲ爲ス場合ニハ同法ニ依ル輸出生絲検査法第二條ノ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ輸出生絲検査法第二條ノ規定ヲ適用ス但シ昭和六年法律第二十六號施行ノ際現ニ生絲検査所ノ所在地ニ存スル生絲ニ付其ノ受渡前豫メ生絲検査所長ノ承認ヲ受ケタル場合ニ限ル

左ノ各號ノ一ニ該當スル生絲ヲ輸出スル場合ニハ昭和六年法律第二十六號ニ依ル輸出生絲検査法第一條ノ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ輸出生絲検査法第一條ノ規定ヲ適用ス但シ輸出前豫メ生絲検査所長ノ承認ヲ受ケ且昭和七年六月三十日迄ニ關稅法第三十一條ノ規定ニ依ル免許ヲ受ケタル場合ニ限ル

- 一 前項ノ規定ニ依リ從前ノ輸出生絲検査法第二條ノ適用アルモノ
- 二 輸出ヲ業トスル者ガ昭和六年法律第二十六號施行前

輸出生絲検査法施行規則

所ヲ有セザルトキハ検査ノ請求ニ關シ其ノ地ニ住所又ハ營業所ヲ有スル代理人ヲ定メ之ヲ生絲検査所長ニ届出ツベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ

第二十條 輸出生絲検査法第四條ノ證書ハ様式第九號ニ依ル

第二十一條 農林大臣輸出生絲検査法第二條第二項ノ指定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示ス之ヲ取消シタルトキ亦同ジ

第二十二條 輸出生絲検査法第一條第一項ノ規定ニ依ル検査ニ關シ必要ナル事項ハ本則ニ規定スルモノノ外生絲検査所長ノ定ムル所ニ依ル

第二十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一 不正ノ手段ニ依リ検査ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者
- 二 檢定證又ハ検査済證書ヲ不正ニ使用シ又ハ使用セントシタル者

附 則

本令ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス


從前ノ規定ニ依リ爲シタル正量検査(從前ノ第十九條ノ規定ニ依ルモノヲ含ム)ハ検査ヲ受ケタル生絲ガ其ノ検査ニ基ク封印附ナル場合ニ限り之ヲ本則ニ依リ爲シタルモノト

輸出ノ目的ヲ以テ買入ヲ了シ又ハ輸出ノ委託ヲ受ケタル生絲ニシテ同法施行ノ際現ニ生絲検査所ノ所在地ニ存スルモノ

前二項ノ生絲ノ正量検査ニ付テハ仍從前ノ例ニ依リ出張検査ヲ爲スコトヲ得


第一條第二項ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニハ之ヲ適用セズ

- 一 第二項ノ生絲ニ付品位検査ノ請求ヲ爲ス場合
- 二 第三項ノ生絲ニ付正量検査ノ請求ヲ爲ス場合
- 三 第四項又ハ第五項ノ生絲ニ付正量検査又ハ品位検査ノ請求ヲ爲ス場合

 <p>THE JAPANESE GOVERNMENT SILK CONDITIONING HOUSE (Location)</p>			
		IDENTIFICATION TEST TICKET	
Test No.			
Colour	White (Yellow)		
Bales in Lot	No.	Bale of	Bale Lot

備考 檢定證ニ記號、俵番號又ハ商標ノ記入ヲ欲スル場合ニハ檢定證記載欄ニ其ノ記號、俵番號又ハ商標ヲ記載スベシ

輸出生絲檢查請求書					
手 數 料 額 計	檢 查	品 位			
	正 量			收 入 印 紙	
	牌 位	英 文 通 和 文 通			
	本 量	英 文 通 和 文 通			
計					
檢 查 番 號				受 付 番 號	
種 別	春 秋 黃 白	數 量			
目 的 織 度				原 料 生 產 年	
製 造 工 場 所 在 地				製 造 工 場	
記 番 號	商 標	檢 定 證 記 載	記 號	俵 番 號	
備 考					
上記ノ生絲檢查請求候也 年 月 日 住 所 氏 名(名稱) 印 何々生絲檢查所長宛					

 THE JAPANESE GOVERNMENT SILK CONDITIONING HOUSE					
CONDITIONED WEIGHT CERTIFICATE					
Test No.		Mark & Bale Nos.			
(Location)	(Date)	Chop			
Raw Silk Conditioned Weight of		Bale Lot		Kilos	
Original Weight of		Sample Skeins		Grams	
Absolute Weight of		Sample Skeins		Grams	
Bales in Lot	Books	Net Weight		Conditioned Weight	
		Kilos.	Lbs.	Kilos.	Lbs.
No.					
No.					
No.					
No.					
No.					
No.					
No.					
No.					
No.					
Total		Kilos.		Kilos.	Increased or Diminished % on Conditioned Weight
		Lbs.		Lbs.	
		Kin		Kin	
Director					

第五號

第四號

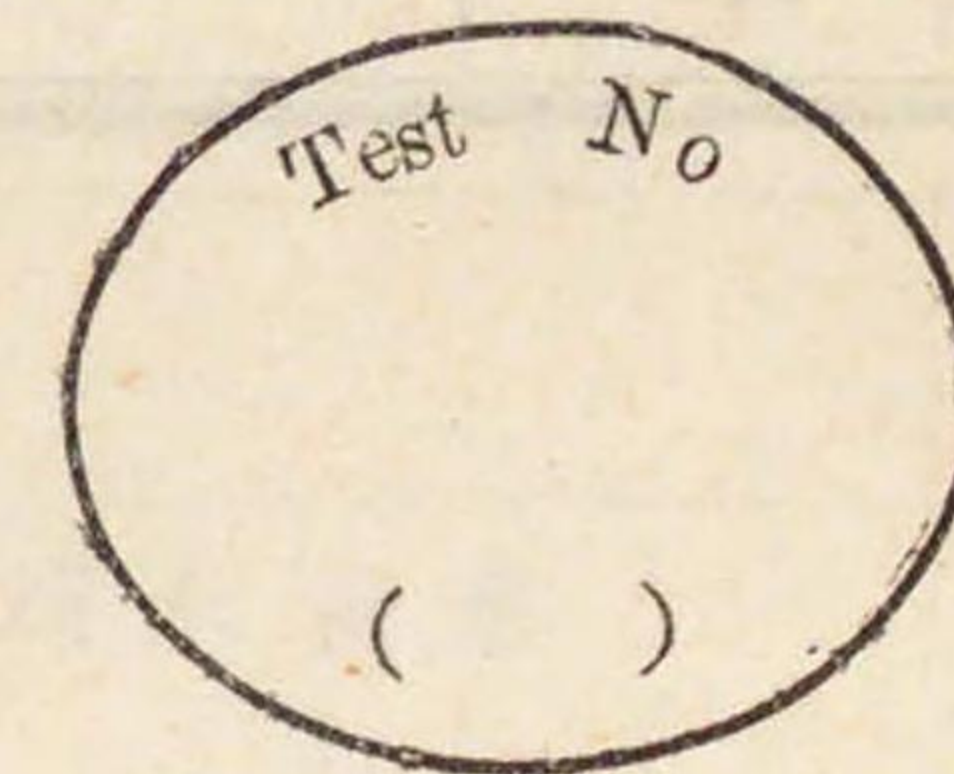


直徑 一、二種


樣式中楕圓ノ大サ
短長徑 二、四、八種



(Location)



第三號

 THE JAPANESE GOVERNMENT
SILK CONDITIONING HOUSE

CERTIFICATE OF QUALITY TEST FOR GRADING

Test No. (Location)	Raw Silk (Date)	Bale Lot	Mark & Bale No. Chop
------------------------	--------------------	----------	-------------------------

GRADE	AVERAGE SIZE (Conditioned)	Denier
EVENNESS	SIZE DEVIATION	Denier
LOW EVENNESS	WINDING	Eranks
NEATNESS	TENACITY	Grams
CLEANNES	ELONGATION	%
COMPOSITE PERCENTAGE	COHESION	Strokes

EVENNESS TEST			NEATNESS TEST		CLEANNES TEST	
Percentage	Number of Panels	Number of Low Panels	Percentage	Number of Panels	Defects	Number
100			100		Waste	
95			95		Large Slugs	
90			90		Bad Coils	
85			85		Very Long Knots	
80			80		Heavy Corloscrews	
75			75		Total	
70			70		Penalty	%
65			65		Small Slugs	
60			60		Long Knots	
55			55		Corloscrews	
50			50		Long Loops, Loose Ends	
40			40		Total	
30			30		Penalty	%
20			20			
10			10		Total Penalties	%
Average Percentage	%	%	Average Percentage	%	Cleannes Percentage	%


VISUAL INSPECTION

Uniformity	General Finish	Colour		Lustre		Hand	
		Shade	Degree	Kind	Degree	Nature	Smoothness

Director

Part One

第七號

 大日本政府
生絲検査所

正量檢定證

検査番號 (場所)	記帳番號 商標	(年月日)
--------------	------------	-------

生絲一荷口	俵ノ正量	斤
供試料絲	本ノ原量	瓦
同上無水量		瓦

俵番號	括數	總原量		正量	
		斤	封度	斤	封度
番號					
番號					
番號					
番號					
番號					
番號					
番號					
番號					
番號					
番號					
番號					
計		斤		斤	正量ニ對スル 増減量歩合 %

何々生絲検査所長氏名

第六號

項目	格 付 表							別 記	
	AAA	AA	A	B	C	D	E		F
總 合 點	88.0 ^{以上}	85.5 ^{以上}	83.5 ^{以上}	81.5 ^{以上}	80.0 ^{以上}	77.0 ^{以上}	72.0 ^{以上}	67.0 ^{以上}	67.0 ^{未満}
絲 條 斑 平 均 (點)	89	86	84	82	80	77	72	67	67
絲 條 斑 劣 等 (點)	80	77	74	72	69	65	60	54	54
小 類 (點)	89	86	85	83	80	77	72	67	67
中 類 (點)	85	85	80	75	70	65	60	60	60
大 類 (點)	85	85	80	75	70	65	60	60	60
總 度 偏 差 (チニール) {15チニール以下 18チニール以上}	1.20 ^{以下} 1.40 ^{以上}	1.20 ^{以下} 1.50 ^{以上}	1.25 ^{以下} 1.60 ^{以上}	1.30 ^{以下} 1.70 ^{以上}	1.40 ^{以下} 1.80 ^{以上}	1.50 ^{以下} 1.90 ^{以上}	1.60 ^{以下} 2.10 ^{以上}	1.60 ^{以下} 2.30 ^{以上}	1.60 ^{未満} 2.30 ^{以上}
項 目	a		b		c		d		e
再 繰 (回) {17チニール以下 18チニール以上}	50 ^{以下} 40 ^{以上}		60 ^{以下} 50 ^{以上}		70 ^{以下} 60 ^{以上}		80 ^{以下} 70 ^{以上}		80 ^{未満} 70 ^{以上}
強 力 (瓦)	3.20 ^{以上}		3.00 ^{以上}		3.00 ^{以上}		3.00 ^{以上}		3.00 ^{未満}
伸 度 (%)	18.0 ^{以下}		17.0 ^{以下}		17.0 ^{以下}		16.0 ^{以下}		16.0 ^{以下}
抱 合 (回) {15チニール以下 18チニール以上}	25 ^{以下} 35 ^{以上}		20 ^{以下} 30 ^{以上}		15 ^{以下} 25 ^{以上}		15 ^{以下} 25 ^{以上}		15 ^{以下} 25 ^{以上}

生絲檢查手数料令

昭和六年十二月二十二日勅令二百九十三號

第一條 國ノ生絲檢查所ニ輸出生絲檢查法第一條第一項ノ規定ニ依ル生絲ノ正量又ハ品位ノ檢查ノ請求ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手数料ヲ納ムベシ

一 正量檢查 一俵ニ付 一圓

二 品位檢查 六俵以上ノ荷口ニ付行フ檢查 一荷口ニ付 十五圓

五俵以下ノ荷口ニ付行フ檢查 一荷口ニ付 十圓

輸出生絲檢查法第一條第一項ノ檢查ヲ受ケタル生絲ニ付 檢查濟證書ノ再結附及封印ノ再施行ノ申請ヲ爲ス者ノ納ムベキ手数料ハ農林大臣之ヲ定ム

第二條 輸出生絲檢查法第一條第一項ノ規定ニ依ル生絲ノ正量又ハ品位ノ檢查ノ請求ヲ爲ス場合ヲ除クノ外國ノ生絲檢查所ニ生絲ノ檢查又ハ生絲ノ檢查ニ關スル器具、機械其ノ他ノ物件ノ檢查若ハ鑑定ヲ依頼スル者ノ納ムベキ手数料ハ農林大臣之ヲ定ム

第三條 國ノ生絲檢查所ニ檢查又ハ鑑定ニ依ル檢定證又ハ成績書ノ謄本ヲ請求スル者ノ納ムベキ手数料ハ農林大臣 生絲檢查手数料令 輸出生絲檢查法第二條第二項ノ地指定ノ件 生絲檢查所ノ名稱及位置

之ヲ定ム

第四條 前三條ノ規定ニ依ル手数料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムベシ

附 則

本令ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和六年法律第二十六號附則第二項ノ生絲ニ付輸出生絲檢查法第一條第一項ノ正量檢查ヲ受ケタル爲檢査員ノ出張ヲ請求スル者ノ納ムベキ增加手数料ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

輸出生絲檢查法第二條第二項ノ

地指定ノ件

昭和二年七月一日農林省告示第七十九號

輸出生絲檢查法第二條第二項ノ地ヲ指定スルコト左ノ如シ

橫濱市 神戶市

生絲檢查所ノ名稱及位置

昭和六年四月一日農林省告示第七十四號

生絲檢查所ノ名稱及位置左ノ通定ム

名 稱 位 置

橫濱生絲檢查所 神奈川縣橫濱市

神戸生絲檢查所 兵庫縣神戸市

生絲檢查所官制

- 明治四十年五月一日勅令第七十七號
 - 改正 明治四十二年三月勅令第八十一號
 - 大正二年六月勅令第九十七號
 - 大正五年四月勅令第九十七號
 - 大正六年勅令第四百八十五號
 - 大正七年勅令第四百八十五號
 - 大正八年五月勅令第四百八十五號
 - 大正十年六月勅令第四百八十五號
 - 大正十一年二月勅令第四百八十五號
 - 大正十三年十二月勅令第四百八十五號
 - 大正十四年三月勅令第四百八十五號
 - 昭和二年六月勅令第四百八十五號
 - 昭和四年九月勅令第四百八十五號
 - 昭和六年三月勅令第四百八十五號
 - 昭和六年十二月勅令第四百八十五號
 - 昭和七年四月勅令第四百八十五號
 - 昭和七年七月勅令第四百八十五號
- 第一條 生絲檢查所ハ農林大臣ノ管理ニ屬シ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 生絲ニ關スル各種ノ検査
 - 二 生絲ノ検査及貯藏ニ關スル各種ノ研究及調査
 - 三 生絲ノ検査及整理ニ關スル講習及講話
 - 四 生絲ノ検査ニ關スル器具、機械其ノ他ノ物件ノ検査及鑑定
 - 五 附屬生絲絹物倉庫ノ管理

第二條 生絲檢查所ニ左ノ職員ヲ置ク

- | | | | | | |
|------|----|-----|-----|-------|-----|
| 所長 | 技師 | 事務官 | 理事官 | 技手 | 屬 |
| 專任 | 專任 | 專任 | 專任 | 專任 | 專任 |
| 二十八人 | 二人 | 一人 | 一人 | 百五十五人 | 十三人 |
| 奏任 | 奏任 | 奏任 | 奏任 | 判任 | 判任 |
- 所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ
- 所長タル技師ハ之ヲ勅任ト爲スコトヲ得
- 第三條 所長ハ農林大臣ノ指揮監督ヲ承ケ所中全般ノ事務ヲ掌理ス
- 第四條 技師ハ上官ノ指揮ヲ承ケ所務ヲ分掌ス
- 第五條 事務官及理事官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ掌ル
- 第六條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ所務ニ從事ス
- 第七條 屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス
- 第八條 生絲檢查所ノ名稱及位置ハ農林大臣之ヲ定ム
- 附 則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 明治二十九年勅令第一號ハ之ヲ廢止ス
- 附 則 (大正十年六月勅令第二七五號附則) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ生絲檢查所書記タル者別ニ辭令書ヲ交付セラレサルトキハ同俸給ヲ以テ生絲檢查所屬ニ任セラレタルモノトス

- 附 則 (昭和二年六月勅令第一七四號附則) 本令ハ昭和二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (昭和六年三月勅令第二一號附則) 本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (昭和六年十二月勅令第二九六號附則) 本令ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (昭和七年四月二十二日勅令第六二號) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (昭和七年七月十九日勅令第一四六號) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

生絲檢查所検査及鑑定規則

昭和六年十二月十八日農林省令第三〇號

- 第一條 生絲檢查所ハ輸出生絲検査法ニ依ル検査ヲ除クノ外本則ノ規定ニ依リ生絲ノ検査並ニ生絲ノ検査ニ關スル器具、機械其ノ他ノ物件ノ検査及鑑定ヲ行フ
- 第二條 生絲ノ検査ヲ依頼セントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル依頼書ニ現品ヲ添へ之ヲ生絲檢查所ニ提出ス

生絲檢查所官制 生絲檢查所検査及鑑定規則

スベシ

- 一 検査ノ種類及項目
 - 二 検査依頼ノ目的
 - 三 生絲ノ種類及數量
 - 四 生絲ノ種別(春秋及黃白ノ別)及目的織度
 - 五 製産工場ノ名稱及所在地
- 第三條 前條ノ規定ニ依リ生絲ノ検査ノ爲提出スベキ現品ノ數量左ノ如シ但シ生絲檢查所長ノ承認ヲ得タル場合ニ於テハ品位検査ノ爲第四號ニ掲グル數量未滿ノ生絲ト雖モ之ヲ提出スルコトヲ妨ゲズ
- 一 正量検査 每件 一俵又ハ一捆以上
 - 二 原量検査 每件 一俵又ハ一捆以上
 - 三 水分検査 每件 四本又ハ八本
 - 四 品位検査 每件 十本又ハ二十本
 - 五 練減検査 每件 一本乃至三本
- 第四條 生絲ノ検査ハ左ニ掲グル方法ニ依リ之ヲ行フ
- 一 正量検査 輸出生絲検査法施行規則第七條ニ定ムル方法ニ準ズル方法ニ依リ正量ヲ算定ス
 - 二 原量検査 生絲ノ全部ニ付一俵又ハ一捆毎ニ其ノ全量ヲ秤量シ其

輸出生絲檢查法並生絲檢查所關係法規

- ノ全量中ヨリ風袋量ヲ控除シテ其ノ原量ヲ算定ス
- 三 水分検査
 - 生絲ノ全部ニ付其ノ原量ヲ算定シタル後其ノ無水量ヲ求メテ其ノ水分率ヲ求ム
- 四 品位検査
 - 輸出生絲検査法施行規則第五條ニ定ムル方法ニ準ズル方法ニ依リ左ノ項目検査ノ全部又ハ一部ヲ行フ但シ検査依頼者ガ他ノ方法ヲ指定シタルトキハ之ニ依ルコトアルベシ
 - (一) 性状検査
 - (二) 再繰検査
 - (三) 絲條斑検査
 - (四) 類節検査
 - (五) 平均織度及織度偏差検査
 - (六) 強力、伸度及抱合検査
- 五 練減検査
 - 生絲ノ全部ニ付無水量ヲ求メタル後之ヲ精練シテ再ビ其ノ無水量ヲ求メ練減量ヲ算出シテ其ノ練減率ヲ求ム
- 第五條 生絲ノ検査ニ關スル器具、機械其ノ他ノ物件ノ検査又ハ鑑定ヲ依頼セントスル者ハ依頼書ニ現品ヲ添ヘ之ヲ生絲検査所ニ提出スベシ

- 第六條 生絲検査所長検査又ハ鑑定ヲ行フコト能ハザルトキ又ハ其ノ價値ナシト認ムルトキハ依頼ニ應ゼザルコトアルベシ
- 輸出生絲検査法ニ依ル検査ノ施行ニ支障アリト認ムルトキ亦同シ
- 前項ノ場合ニ於テハ依頼者ニ其ノ旨ヲ通知スベシ
- 第七條 生絲検査所ニ於テ検査又ハ鑑定ノ爲提出シタル生絲其ノ他ノ物件ヲ受理シタルトキハ依頼者ニ預證ヲ交付スベシ
- 第八條 生絲検査所長必要アリト認ムルトキハ検査又ハ鑑定ノ依頼者ヲシテ検査又ハ鑑定ニ關シ生絲検査所所在地ニ住所又ハ居所ヲ有スル代理人ヲ定メシムルコトヲ得
- 第九條 生絲検査所長生絲ノ検査ニ關シ必要アリト認ムルトキハ依頼者ヲシテ生絲ノ解裝又ハ包裝ヲ爲サシムルコトヲ得
- 第十條 品位検査ノ爲提出シタル生絲ニシテ検査ノ爲繰取リタル部分ハ之ヲ還付セズ
- 第十一條 生絲検査所ニ於テ検査又ハ鑑定ヲ終リタルトキハ依頼者ニ其ノ旨ヲ通知シ検定證又ハ成績書ヲ交付スベシ
- 正量検査又ハ原量検査ヲ終リタルトキハ生絲ノ各俵又ハ

生絲検査所検査及鑑定手数料規則

昭和六年十二月二十二日農林省令第三十一號

- 第一條 生絲検査手数料令第一條第二項ノ手数料左ノ通定ム
 - 一 生絲検査所ニ於テ検査済證票ノ再結附及封印ノ再施行ヲ爲ス場合 一俵ニ付 十 錢
 - 二 生絲検査所以外ノ場所ニ於テ検査済證票ノ再結附及封印ノ再施行ヲ爲ス場合 一俵ニ付 三十 錢
- 第二條 生絲検査手数料令第二條ノ手数料左ノ通定ム
 - 一 生絲ノ検査ヲ依頼スル場合ノ手数料
 - (一) 正量検査 一俵又ハ一捆ニ付 一 圓
 - (二) 原量検査 一俵又ハ一捆ニ付 七十五 錢
 - (三) 水分検査 一件ニ付 一 圓
 - (四) 品位検査 一件ニ付 一項目ヲ加フル毎ニ 五十 錢
 - (五) 練減検査 一件ニ付 二 圓
 - 二 生絲ニ關スル器具、機械其他ノ物件ノ検査又ハ鑑定ヲ依頼スル場合ノ手数料 一件ニ付一圓以上十圓以下ニ於テ生絲検査所長ノ定ムル所ニ依ル
- 第三條 生絲検査手数料令第三條ノ手数料左ノ通定ム
 - 一 輸出生絲検査法第一條第一項ノ品位検査ノ検定證ノ

生絲検査所検査及鑑定手数料規則

- 各捆ニ検査照合票ヲ挿入シ且封印ヲ施スベシ但シ依頼者ノ請求ニ依リ封印ノ施行ヲ爲サザルコトヲ得
- 前二項ノ検定證、成績書及検査照合票ノ様式ハ生絲検査所長ノヲ定ム
- 第十二條 検査又ハ鑑定ノ依頼者第六條第二項又ハ前條第一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク預證ト引換ニ検査又ハ鑑定ノ爲提出シタル生絲其ノ他ノ物件ノ引取ヲ爲スベシ
- 依頼者前項ノ引取ヲ爲サザルトキハ生絲検査所長ハ依頼者ノ負擔ニ於テ之ヲ返送スルコトヲ得
- 第十三條 検査又ハ鑑定ノ依頼者ハ検定證又ハ成績書ノ謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得
- 第十四條 本則ニ依ル検査又ハ鑑定ニ關シ必要ナル事項ハ本則ニ規定スルモノノ外生絲検査所長ノ定ムル所ニ依ル

附 則

本令ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
 本令施行前ノ依頼ニ依ル検査又ハ鑑定ニ付テハ仍従前ノ例ニ依ル